

ベトナム国
ビズップ・ヌイバ国立公園
管理能力強化プロジェクト
詳細計画策定調査報告書

平成 22 年 9 月
(2010 年)

独立行政法人 国際協力機構
地球環境部

序 文

日本国政府は、2007年5月にプロジェクト形成調査を実施し、住民ベースのエコツーリズムの実施、アグロフォレストリーによる住民の生計向上等を通じた国立公園の管理強化を内容とするビズップ・ヌイバ国立公園管理能力強化のための技術協力のニーズを確認しました。

同調査結果を踏まえ、ベトナム国政府は我が国に対し技術協力を要請し、これを受けて、独立行政法人国際協力機構は、東城 康裕 JICA ベトナム事務所次長を総括とする詳細計画策定調査団を、2008年11月27日～12月21日にかけて派遣し、ビズップ・ヌイバ国立公園管理事務所等ベトナム側関係機関と協議を行い、本プロジェクトの枠組みに関しミニッツにて合意・署名しました。

この報告書が本計画の今後の推進に役立つとともに、この技術協力事業が友好・親善の一層の発展に寄与することを期待します。

終わりに、本調査に対してご協力とご支援を賜りました両国関係者の皆様に、心からの感謝の意を表します。

2010年9月

独立行政法人 国際協力機構
地球環境部長 中川 聞夫

写

真



ビズップ・ヌイバ国立公園本部概観



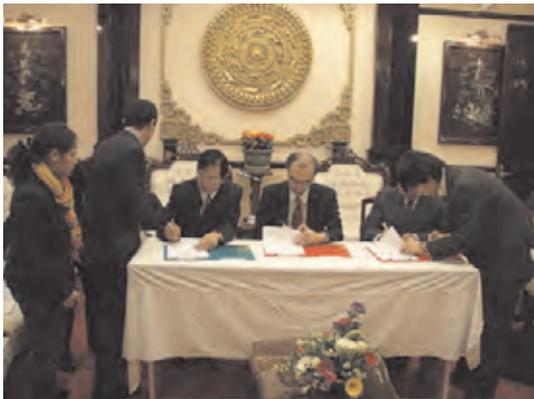
C/P との協議



住民への聞き取り調査



公園内のレンジャー・ステーション



ミニッツ署名



公園の全景

略 語 表

ADB	アジア開発銀行
BNBNP	ビズップ・ヌイバ国立公園
BNBNPMB	ビズップ・ヌイバ国立公園管理事務所
CBET	コミュニティベース・エコツーリズム
C/P	カウンターパート
DARD	農業農村開発局
IUCN	国際自然保護連合
JCC	合同調整委員会
JICA	独立行政法人国際協力機構
JOCV	青年海外協力隊
MARD	農業農村開発省
M/M	協議議事録（ミニッツ）
NTFP	非木材林産物
ODA	政府開発援助
PCM	プロジェクト・サイクル・マネジメント
PD	プロジェクトディレクター
PDM	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PPC	省人民委員会
PO	活動計画
PRA	参加型農村調査法
R/D	討議議事録
VND	ベトナム・ドン

目 次

序文	
写真	
プロジェクト位置図	
略語表	
第1章 詳細計画策定調査の概要	1
1-1 調査の背景	1
1-2 調査の目的	2
1-3 調査団員の構成	2
1-4 調査日程	2
1-5 主要面談者	3
1-6 対処方針	4
1-6-1 要請されたプロジェクト概要	4
1-6-2 調査方針及び留意点	6
1-6-3 調査内容及び対処方針案	6
第2章 調査結果要約	12
2-1 プロジェクト戦略	12
2-2 基本計画	12
2-2-1 基本方針	12
2-2-2 プロジェクト目標／上位目標	12
2-2-3 活動内容	13
2-2-4 ビジターセンター	13
2-2-5 協力期間	13
2-2-6 プロジェクト対象地域	14
2-2-7 実施体制	15
2-2-8 投入計画	16
2-2-9 モニタリングおよび評価	16
2-3 プロジェクト・デザイン	17
第3章 5項目評価	20
3-1 妥当性	20
3-2 有効性	21
3-3 効率性	21
3-4 インパクト	22
3-5 自立発展性	23
第4章 プロジェクト実施の背景	25
4-1 関連セクターの概況	25
4-1-1 ベトナム国の自然保護区の概況	25

4-1-2	関連法規及びガイドライン類	26
4-1-3	関連セクターの政策、戦略及び上位計画	28
4-2	本プロジェクトに関連する政府組織	29
4-2-1	ビズップ・ヌイバ国立公園管理事務所	29
4-2-2	ラムドン省農業農村開発局	32
4-2-3	省農業普及センター	32
4-2-4	ラクドゥン郡農業センター	32
4-2-5	文化・スポーツ・観光局	33
4-2-6	その他の機関	33
4-3	プロジェクト対象地域の現況	34
4-3-1	ラムドン省の現況	34
4-3-2	ラクドゥン郡の現況	36
4-4	ラムドン省又はラクドゥン郡において実施中の関連事業	37
4-5	国立公園及び対象村落の現況	42
4-5-1	国立公園の概況	42
4-5-2	対象候補村落の概況	43
4-5-3	対象候補村落の社会経済状況	44
4-6	問題点	46
4-6-1	公園内の森林／自然資源に与える影響	46
4-6-2	国立公園管理上の課題	46

付属資料

1. 調査日程
2. 調査団が事前に作成した PDM 案
3. M/M (ミニッツ)
4. R/D
5. 事業事前評価表

第1章 詳細計画策定調査の概要

1-1 調査の背景

ベトナム国(以下、「ベ」国)は、地球の全表面積の1%以下を占めるに過ぎないが、23,000種の陸生及び水生の種が確認されるなど、世界の種の約10%を占め、世界的にも極めて生物多様性の豊かな国である。また、植物種の約10%は固有種である等、生物の固有性も他国に比し高い。しかしながら、人口増加や貧困問題等を背景として、焼畑、農地の拡大等により動植物の生息地である森林等の破壊や貴重な野生動植物の違法狩猟・採取等が行われており、世界的にも貴重な生物多様性が急激に失われつつある。

このため、「ベ」国政府は貴重な生物多様性を守るべく、原生的な森林を国立公園等として保全することとし、2000年以降に限っても、18の国立公園を設立した。また、2003年には、2010年までの保全地域の管理のあり方を定めた「保全地域管理戦略」を策定し、天然資源管理、生態系保全のための国立公園事務所の能力向上や、地域住民の生態系保全活動への参画の推進などを主要な目標と定め、国立公園事務所等における人材開発、地域住民参画による国立公園バッファー・ゾーンの持続可能な開発、エコツーリズムの企画・実施、地域住民に対する環境教育の実施等を具体的な活動として提言している。

ビズップ・ヌイバ国立公園(BNBNP: Bidoup-Nui Ba National Park)は、上記の「ベ」国政府の方針に沿って2005年に昇格した国立公園であり、原生的な天然林を中心に、コアエリア64,800ha、バッファー・ゾーン32,300haに及ぶ広大な国立公園である。BNBNPは中部高原の比較的標高の高い地域に位置し、山地熱帯降雨林、針広混交林、高山低木林、低山針葉樹疎林、コケ林、竹広混交林など、様々なタイプの森林生態系が存在していることから、ホアンリエン国立公園等と並んで、ベトナムの生物多様性の重要地区4ヵ所のうちのひとつとされている。また、BNBNPは、この多様な森林生態系に恵まれていることから、生物の多様性も豊かで、動植物相とも、固有性の高い貴重な生物の宝庫となっている。

しかしながら、BNBNPの内外には3,300世帯、約17,500人の主として少数民族が伝統的な農業等により生活を営んでいる一方、森林が全面積の87%を占め、農業用地が5%以下の6,000haに過ぎないことから、1世帯あたりの農業用地が非常に狭く、また、農業の生産性も高くないことから、住民は極めて貧しく、貧困率は70%超と言われている。BNBNPでは、住民と契約を結び、公園管理のための巡視を強化しているものの、貧困を背景とした森林の農地転用、焼畑、貴重な動植物の違法狩猟・採取等は現在も続いており、2006年だけでも50haの森林が農地転用される等、生物多様性は大きく劣化・破壊されかねない状況にある。

また、BNBNPは、毎年約180万人もの観光客が各地から訪れる「ベ」国有数の観光地ダラットに隣接しており、かつ、現在、BNBNPを通過する国道が観光地ニャチャンやダナンに向け建設中であることから、今後同公園を訪れる観光客が飛躍的に増える可能性が高い。しかし、エコツーリズムなど環境負荷の少ないプログラムの開発や公園事務所の管理体制の未整備や、公園維持管理に関するスタッフの経験不足・技術システム開発力不足などから、今後、観光客など入園者の増大による同公園への負の影響の増大も年々懸念される状況となっている。

かかる状況下、上記課題に対処するためとして、我が国により 2007 年 5 月にプロジェクト形成調査が実施され、要請案件の枠組みに関する協議が実施された。同調査結果を踏まえ、「ベ」国政府は、住民ベースのエコツーリズムの実施、アグロフォレストリーによる住民の生計向上等を通じた国立公園の管理強化を内容とする BNNP 管理能力強化を策定し、2007 年度、我が国に対しその実施に関する技術協力を要請し、2008 年度新規案件として採択された。

1-2 調査の目的

本調査では、「ベ」国政府からの要請内容を踏まえ、本プロジェクトの背景及び開発課題を調査・分析し、農業農村開発省 (MARD)、ラムドン省人民委員会 (Lam Dong PPC) 及びビズップ・ヌイバ国立公園管理事務所 (BNNPMB) 等「ベ」国側関係機関との協議及び現地調査を通して、プロジェクトの基本計画 (PDM 及び PO)、投入内容 (専門家派遣、研修員受入、機材供与計画等)、実施体制 (C/P 配置計画、機材・施設整備状況、予算措置等) について検討する。この結果、「ベ」国側関係機関と合意した内容を、最終的な PDM 案、及び PO 案を含む R/D 案として取りまとめ、協議議事録 (M/M) の署名・交換を行う。

また、「JICA 事業評価ガイドライン (改訂版)」に則って、評価 5 項目の観点から、「ベ」国側と合意したプロジェクト計画を評価し、これらを事業事前評価表及び調査報告書に取りまとめることを目的とする。

1-3 調査団員の構成

氏名	担当業務	所属	派遣日程
東城 康裕	総括	独立行政法人国際協力機構 ベトナム事務所 次長	12 月 11 日～14 日
上原 裕雄	国立公園管理	社団法人 道路緑化保全協会 理事	12 月 3 日～16 日
神田 強	協力計画	独立行政法人国際協力機構 地球環境部森林・自然環境保全 第一課	12 月 3 日～16 日
水口 洋二	計画分析	日本工営(株)コンサルタント 海外事業本部 環境技術部 副参事	11 月 27 日～12 月 21 日

尚、現地コンサルタントとして、以下の 2 名が本調査に従事する。

Mr. Nguen Van Lam, Vietnam Green Tours Co. Ltd. (エコツーリズム担当)

Mr. Pham Tuan Anh, Birdlife International (アグロフォレストリー担当)

1-4 調査日程

2008 年 11 月 27 日～12 月 21 日 (官団員、12 月 3 日～16 日)

1-5 主要面談者

ベトナム側

<Bidoup-Nui Ba National Park Management Board>

Mr. Le Van Huong, Director

Mr. Do Manh Hung, Vice Director

Mr. Doan Doan Ai, Vice Director

<Lam Dong Province People' s Committee>

Mr. Hoang Si Son, Vice Chairman

<Department of Agriculture and Rural Development>

Mr. Pham Van An, Director

<Agricultural Extension Center of Lam Dong Province>

Mr. Nguyen Van Tu, Director

<Department of Planning Investment>

Ms. Pham Phuong Dung, Vice Director

<Department of Culture, Sports and Tourism>

Mr. Pham The Hung, Vice Director

<Ministry of Agriculture and Rural Development>

Mr. Ha Cong Tuan, Director General, Forest Protection Department

<Ministry of Natural Resources and Environment>

Mr. Phung Van Vui, Director, Biodiversity Conservation Agency, Vietnam Environment Administration

ドナー

<Birdlife International>

Ms. Pham Tuan Anh, Vietnam Programme Manager

<WWF Greater Mekong>

Ms. Ruth Mathews, Vietnam Programme Manager

Ms. Mac Tuyet Nga, Programme Officer

Ms. Nguyen Minh Huong, Project Coordinator, Co-management of Forest and Wildlife Project Bidoup Nui Ba National Park

日本側

<在ベトナム日本大使館>

由谷 倫也 二等書記官

<JICA ベトナム事務所>

築野 元則 所長

<JICA 長期専門家>

井上 幹博 森林政策実施支援

<JICA ボランティア (JOCV) >

池田 真理子 環境教育

1-6 対処方針

調査開始前に検討された本調査の対処方針は、概ね以下のとおりである。

1-6-1 要請されたプロジェクト概要

2007年5月に実施したプロジェクト形成調査を踏まえ、「ベ」国側から要請されたプロジェクト概要は次のとおりであった。

案件名	ビズップ・ヌイバ国立公園管理能力強化プロジェクト
相手国機関名	責任機関：農業農村開発省森林保護局 実施機関：ビズップ・ヌイバ国立公園管理事務所
対象地域	ビズップ・ヌイバ国立公園及びその周辺のバッファー・ゾーン
上位目標	ビズップ・ヌイバ国立公園の管理が強化されるとともに、同公園内外にて生活している周辺住民の生計が向上する。
プロジェクト目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林・生態系のより良い保全、地域住民の生計向上、環境教育のより良い実施、エコツーリズムの導入のために、国立公園の管理能力が強化される。 ・ アグロフォレストリーとエコツーリズムの導入によりプロジェクトに参加する地域住民のための収入創出のための基盤が整備される。
アウトプット	<ol style="list-style-type: none"> 1. 省及び国レベルの国立公園管理に関する政策や制度の連携が改善される。 2. 森林・生態系保全及び管理の実施、地域住民の生計向上、環境教育の実施、エコツーリズムの導入のための、国立公園管理担当官の能力が改善する。 3. プロジェクトに参加する住民によりアグロフォレストリーが展開され、収入の基盤が出来ている。 4. コミュニティベースのエコツーリズムのソフトが開発されるとともに、そのソフトに基づくコミュニティベースのエコツーリズムがモデル的に実施されている。 5. 住民の環境に対する意識が向上する。
活動	<p>【アウトプット1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現行の国立公園管理に関する政策や制度の連携メカニズムをレビューし、改善のための提案を行う。 ・ 将来的な政策改善やモデル開発に向けて、プロジェクトの成果を取りまとめる。 ・ プロジェクトの成果を中央政府や他の省政府へ共有する。 <p>【アウトプット2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国立公園管理事務所の管理能力をレビューし、取りまとめる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国立公園管理事務所の組織的な計画やビジョンをレビューし、改善する。 ・ 国立公園管理担当官に対し、森林・生態系保全、エコツーリズム、環境教育に関する訓練を実施する。 ・ 国立公園管理担当官に対し、アグロフォレストリーに関する技術や参加型アプローチの訓練を行う。 ・ 生物多様性に関する調査を行い、調査記録を更新する。 ・ 隣接する国立公園との連携強化と情報共有を行う。 ・ 新設された道路沿いの植生回復のための計画を立て、その計画を実施する。 ・ 国立公園管理事務所の管理能力の評価を行う。 <p>【アウトプット 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国立公園内における耕作等の現状を調査する。 ・ 地域住民に対して先進的な耕作技術のトレーニングを行う。 ・ 国立公園と関係者間における土地利用契約を締結する。 ・ 国立公園とバッファー・ゾーンにおける市場を意識したアグロフォレストリーのモデルを提示する。 ・ 現行の土地利用状況をレビューし、地域住民の生計向上と公園の森林・生態系保全のための適切な土地利用について提言を行う。 <p>【アウトプット 4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ラムドン省のエコツーリズム開発戦略・計画をレビューする。 ・ 地域住民に対してエコツーリズムの訓練を実施する。 ・ コミュニティベースのエコツーリズムのソフトを開発する。 ・ エコツーリズムのためのルートを2つ整備する。 ・ 地域住民がエコツーリズムから便益を得られるよう、エコツーリズムのためのインフラを整備し、モデルを開発し、コミュニティベースのエコツーリズムを実施する。 ・ エコツーリズムの戦略的な広報活動を実施する。 <p>【アウトプット 5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民を対象にした環境教育を実施する。
投入	<p>【日本側投入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家（自然公園、森林回復、参加型アグロフォレストリー、マーケティング、エコツーリズム、環境教育等） ・ 機材（車輛、簡易測量機材、造林用機材、エコツーリズム用機材、機器、環境教育用機器等） ・ アグロフォレストリー、エコツーリズム等の実施に関する経費（持続可能性に配慮） ・ 研修（日本あるいは第三国） <p>【ベトナム側投入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ C/P 及び C/P 予算の確保

	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクトオフィスの提供
外部条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然災害や山火事等により、同国立公園が破壊される。 ・ ベトナム政府の国立公園等保護地域に関する現行政策が大幅に変更される。

1-6-2 調査方針及び留意点

上記の要請内容を踏まえ、本調査を実施するに当たって事前に検討された調査方針と留意点は以下のとおり。

- (1) 要請されたプロジェクト概要は、二つのプロジェクト目標が混在している。中心課題（ニーズ）を明確にし、公園全体の管理能力強化と地域住民の生計向上のどちらかに焦点を置くのか戦略を示す。
- (2) 要請された協力内容は範囲が広いので、上記とあわせ、内容の絞込みを行う。また、絞込みに際しては、「ベ」国の貴重な生物多様性を保全するという長期的な課題に向けた道筋を考え、本プロジェクトの位置づけを明らかにする。
- (3) BNNP の抱える課題の特徴は、公園内及び周辺に多数の住民が居住すること。また、彼らの多くが少数民族であり、貧困率が高いことである。従って、効果的なプロジェクト実施のためには、ローカル NGO 等の現地事情に精通した専門家との連携が不可欠と考えられることから、活動内容に即した現地専門家の確認を行う。
- (4) 対象者及び対象地域を明確にする。BNNP はコアエリアとバッファー・ゾーンに分けられるが、どちらにも住民が居住している。2008 年 10 月にベトナム事務所が行った現地関係者へのヒアリングの結果、コアエリア内には約 800 世帯が居住しており、そのうち約 260 世帯が住む 4 地域をプロジェクト対象地域にしてほしい旨要望された。また、約 200 世帯に対して 600ha の土地を分与する計画がある。活動内容に即して、対象者と対象地域を明らかにする。
- (5) 協力内容の計画策定に際しては、誰が、どのように、いつ（どのくらいの期間で）、どこで実施するのかを念頭に、計画の妥当性を検証する。特に、活動内容は時間軸に落として慎重に検討し、協力期間との整合性を図る。
- (6) アグロフォレストリーの導入が要請されているが、「アグロフォレストリー」という単語は多義的であり研究・技術開発偏重の傾向があるので、本プロジェクトでは「アグロフォレストリー」に代わり、「環境保全型生産技術（environment-friendly farming technique）」を用語として使用することを提案する。
- (7) 少数民族を対象にしたコミュニティベースの協力となることから、社会経済調査及び参加型アプローチに時間をかける必要がある。本調査で不足する詳細な社会経済状況の把握や参加型プロセス支援については、プロジェクト開始後の活用として取り組む。
- (8) 他事業との連携を図る。JICA ボランティア及び他ドナー（ADB、WWF、Birdlife）がラムドン省にて関連事業を展開していることから、効果的な事業実施に向けた連携の可能性を検討する。

1-6-3 調査内容及び対処方針案

上記の全般的な調査方針を踏まえ、更に、協力内容の具体化に際し検討すべき主な調査項目を整理し、各項目に対する対処方針案を次表のとおりまとめた。

調査項目	事前情報／要請内容	確認事項／対処方針案
プロジェクト実施の背景／対象開発課題と現状	<ul style="list-style-type: none"> 対象セクターの現状と課題は上記「1-1 調査の背景」に記載のとおり。 	<ul style="list-style-type: none"> 要請内容が、「ベ」国、地域及び社会のニーズに合致するか確認する。 「ベ」国の開発政策（少数民族に対する政策を含む）との整合性があるか確認する。 保護地域 128 ヶ所（うち国立公園は 30 ヶ所）の中での BNNP の特徴及び位置づけを確認する。
プロジェクト戦略	<ul style="list-style-type: none"> 世界的にも生物多様性が豊かな「ベ」国において、保護地域の核である国立公園を適切かつ包括的に管理する能力向上は、貴重な生物多様性を保全するという長期的な課題に対処するために不可欠である。 一方、政府による国立公園に対する予算的、技術的支援は限られており、多くの国立公園は管理が十分に行えているとは言い難い。特に、ほとんどの国立公園には住民が居住しているため、政府は、従来の住民を排除した管理体制から、自然環境を保全しつつ地域住民の生計向上を図る管理体制へ移行したいと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 上記「対象開発課題と現状」や「ベ」国側関係機関との協議により、喫緊の課題である地域住民への生計向上支援に焦点を絞り、まずは地域住民との協働による公園管理能力を強化するアプローチが適切であるか確認する。
基本計画	<ul style="list-style-type: none"> <u>基本方針</u>：要請内容において明確な方針は示されていないが、プロジェクトの実施により、住民支援策としてのエコツーリズムと環境保全型生産技術の導入を図り、BNNP 職員を中心とする C/P が対象住民と協働 	<ul style="list-style-type: none"> 左記の基本方針について「ベ」国側と合意した上で、この基本方針に基づいてプロジェクトの内容や実施体制を、協議及び現地視察の結果を踏まえ、決定する。

	<p>し、公園管理に資する事業の企画・運営を実施できるよう、C/Pのキャパシティ・デベロップメントを目指すプロジェクト設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>プロジェクト名</u>： ビズupp・ヌイバ国立公園管理能力強化プロジェクト Project for Strengthening Community-based Management Capacity of Bidoup-Nui Ba National Park ・ <u>協力期間</u>：3年間 ・ <u>対象地域</u>：ビズupp・ヌイバ国立公園及びその周辺のバッファゾーン ・ <u>ターゲットグループ</u>：ビズupp・ヌイバ国立公園管理事務所、ラムドン省農業農村開発局、プロジェクト対象地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要請どおりとする。 ・ 要請どおり3年間とする。 ・ 公園周辺部を対象地域に含めることは、関係する行政機関が増えるためにプロジェクト管理体制が複雑になり、また協力規模も鑑み、プロジェクト対象地域はBNBNP内に限定する。 ・ また、公園内部においてもコアエリアとバッファゾーンの区別があると思われ、例えばバッファゾーンの森林についてはダニム水源保全林管理事務所が管理する等、ゾーンの境界画定状況及び各ゾーンにおける管理主体（土地、森林、生計向上活動）を確認する必要がある。 ・ 左記ターゲットグループの規模を確認する。また、対象地域をコアエリアに限定した場合、ラムドン省農業農村開発局（DARD）はどのような役割で関与するのか、「環境保全型
--	---	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>PDM 案及び PO 案（上位目標、プロジェクト目標、アウトプット、活動など）</u>：1-6-1「要請されたプロジェクト概要」に記載のとおり。 	<p>生産技術」と関連して、DARD 職員がプロジェクトによる能力向上の直接の対象者となるか確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査団が作成する PDM 案（付属資料 2）を協議のたたき台とし、現地視察及び「ベ」国側との協議を踏まえ、上位目標、プロジェクト目標、アウトプット、活動を決定し、PDM₀ 案及び PO₀ 案としてまとめミニッツにて「ベ」国側と合意する。
プロジェクト対象地域（コミュニケーション）	<ul style="list-style-type: none"> ・ ベトナム事務所が 2008 年 10 月に実施した現地ヒアリングによれば、先方は公園内のコアエリアに対する支援を要望。バッファー・ゾーンの地域住民には既にいくつかの支援が入っており、同時に Investment and Development Buffer Zone 2008 - 2012 が策定中である。 ・ 具体的には次の 4 地域が対象候補地。①Da Chays commune、②Lat commune、③Da Sar commune（以上、公園西側）、④Lac Duong Commune（公園東側）、計約 260 世帯。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的なプロジェクト対象コミュニケーションは、プロジェクト開始後のベースライン調査等を踏まえ決定するが、先方より提案のあったコアエリア内 4 地域の適性及び妥当性を確認し、調査団の提言としてまとめる。 ・ Investment and Development Buffer Zone 2008-2012 を含むバッファー・ゾーンでの各種動向を現地調査にて把握する。
投入計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>専門家</u>：分野（自然公園、森林回復、参加型アグロフォレストリー、マーケティング、エコツーリズム、環境教育等） ・ <u>機材</u>：車輛、簡易測量機材、造 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本人専門家：長期 2 名（協働公園管理、業務調整）×3 年 ・ 現地専門家：長期 2 名（エコツーリズム、環境保全型生産技術）×3 年 ・ 日本人／現地専門家：短期複数名（PCM、社会・経済調査、参加型計画等） ・ 協議の結果合意するプロジェ

	<p>林用機材、エコツアーリズム用機材・機器、環境教育用機器等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ <u>研修</u>：未定 	<p>クトの基本計画との整合性に鑑み、資機材の妥当性・必要性を確認する。現地調達の可能性、スペック費用等についても情報収集を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 本邦及び第三国での研修の機会を提供する旨の説明に留め、現時点では人数や研修内容等については確定しない。
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ▪ <u>責任機関</u>：農業農村開発省森林保護局 ▪ <u>実施機関</u>：ビズップ・ヌイバ国立公園管理事務所 ▪ <u>協力機関</u>：ラムドン省人民委員会、ラムドン省農業農村開発局 <ul style="list-style-type: none"> ▪ <u>合同調整委員会</u>： ▪ <u>プロジェクト事務所</u>： 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 実施機関については左記のとおり。ただし、関係組織の役割を確認の上、責任機関については、農業農村開発省森林保護局あるいはラムドン省人民委員会のどちらが適切か確認する。 ▪ また、天然資源・環境省、DARDの各 Sub-department、及びダニム水源保全林管理事務所については、その権限とプロジェクト活動範囲との関係を整理する。 ▪ プロジェクトディレクター、マネージャー等、活動の実施に必要な C/P 人員を明確化し、「ベ」国側にその人員配置を求め、合意を得る。 ▪ 合同調整委員会の構成について協議を行い、決定する。 ▪ 事務所の設置について協議し、合意を得る。
プロジェクト管理	<ul style="list-style-type: none"> ▪ モニタリングと評価 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 合同評価については、協力期間が3年間のため、終了時のみとし、基本的に中間評価は実施しないこととする。
プロジェクト実施の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 5項目評価 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 予測・見込みに基づき、5項目評価のうち妥当性(必要性、優先度、適切性)を中心に評価を行い、本プロジェクトの

		実施が妥当であるか検証する。
JOCV の活動状況と今後の派遣動向	<ul style="list-style-type: none"> ダラット森林公園公社をC/Pに「環境教育」分野1名を派遣中(2008.3-2010.2)。 	<ul style="list-style-type: none"> 本プロジェクトにおける活動との連携の可能性を確認する。
他の援助機関の支援動向	<ul style="list-style-type: none"> ADB、WWF、及び Birdlife 等がラムドン省 (BNBNP を含む) で関連事業を実施している。北部に隣接するチューヤンシン国立公園には世銀・バードライフが支援を行っている。また、GTZ も他省にて国立公園支援を展開している。 	<ul style="list-style-type: none"> 左記の支援状況や今後の予定を確認し、プロジェクトとの重複の有無や連携の可能性を確認する。

第2章 調査結果要約

2-1 プロジェクト戦略

実施機関となる BNBPNMB の他、主な関係機関である MARD、ラムドン省人民委員会 (Lam Dong PPC: Lam Dong Provincial Peoples' Committee) 及びラムドン省農業農村開発局 (DARD: Department of Agriculture and Rural Development) との協議により、BNBNP が直面する喫緊の課題として地域住民による公園内への侵入が引き起こす森林及び生物多様性の劣化が確認された。

これに対しベトナム側は、強制的な手段による住民侵入の排除ではなく、生計向上支援による侵入圧力の軽減を通じて、BNBNP の自然環境を保全したい旨確認し、本プロジェクトの戦略である地域住民への生計向上支援に焦点を当てた住民との協働管理 (co-management) 能力強化が適切なアプローチであることを確認した。

2-2 基本計画

2-2-1 基本方針

BNBNPNMB との協議において、本プロジェクトの基本方針を次のとおり確認した。

プロジェクト実施により、住民支援策として「コミュニティベース・エコツーリズム (CBET: Community-based Ecotourism)」及び「環境保全型生計向上手段 (ecologically-friendly livelihood options)」¹のモデル開発を行い、BNBNP 職員が中心となるカウンターパートが地域住民と協働でこれらを企画・実施できるように能力向上を図ることとする。

ただし BNBPNP 所長からは、留意点として、国立公園の第一義的な役割は生物多様性及び自然資源の保全であり、CBET 及び環境保全型生計向上手段の導入はあくまでも目標達成のための手段であって、コミュニティに便益をもたらしつつも、最終的には公園管理にフィードバックさせることが重要との指摘がなされ、調査団もこれに同意した。

2-2-2 プロジェクト目標／上位目標

調査団から提示した PDM 案 (付属資料 3) に対し、同所長から特にプロジェクト目標及び上位目標が要請書で提案した内容と異なっており、ラムドン省人民委員会の了解を取り付けた内容を簡単には変更できないこと、また本プロジェクトは BNBPNP の能力向上が主題であるから、能力向上の視点をプロジェクト目標に明記すべき、との意見が示された。

これに対し調査団は、プロジェクト活動の実施を通じて BNBPNP 職員を含む C/P の能力向上が図られるようにプロジェクト内容は設計されている旨説明するも、先方の申し出を了解し、プロジェクト目標を能力向上の視点を盛り込んだ表現に変更した。ただし、基本的

¹ 対処方針にて「環境保全型生産技術 (environment-friendly farming technique)」として調査団が提案したコンポーネントは、協議の結果、自然環境保全に配慮したコーヒー等の農業生産性向上や手工芸品の開発等を含む概念として「環境保全型生計向上手段 (ecologically-friendly livelihood options)」として合意した。

な内容及び指標は変更せず、C/P の能力向上を計るための指標（指標 3）を追加した。

上位目標に関しても、調査団案の表現は変更するも達成すべき基本的な内容は変更せず、指標はほぼ調査団案にて合意した。ただし、指標 2 として、開発したモデルの普及を担保する政府文書が承認されることを当初提案したが、BNBNPMB の権限を超えるため困難との理由により、関連政府文書の承認のための提案がなされる、とした。

2-2-3 活動内容

主な活動コンポーネントは、CBET 及び環境保全型生計向上手段の開発とすることで最終的に合意したが、協議過程において BNBNP 所長から以下の点が示された。

要請書において、上記二つのコンポーネント以外にも、国立公園管理に係る中央及び地方府の政策レビュー、生物インベントリー調査等公園職員のキャパシティ・ビルディング、道路建設により侵食された斜面の植生回復、及び環境教育の実施を要望しており、これらについても本プロジェクト活動に含めてほしいと要望があった。これに対し、調査団からは、いずれも BNBNP を適切に管理していくために必要な活動である点を認めつつも、投入できる資源に限られる中では優先順位をつけて長期的に取り組む必要がある旨説明し、上記基本方針にて双方了解した。

また、環境教育については、本プロジェクトの直接の枠組みには含めないものの、現在 BNBNP にて活動中の JOCV 隊員とも連携し、地域住民に対する意識向上に貢献する活動が期待できる旨説明した。これに対し同所長からは、ラムドン省では多くの開発計画が進行中であり、政策決定者に対する意識向上の働きかけも重要との認識が示された。

2-2-4 ビジターセンター

BNBNP 所長から、将来的に、環境教育・エコツーリズムセンターを組織的に設置したい旨表明がなされ、その基盤として本プロジェクトにてビジターセンターを建設してほしい旨要望があった。

これに対し、調査団からは、本プロジェクトにて整備する施設・機材は、プロジェクト活動に直接活用される必要があり、提案のビジターセンターは必ずしも本プロジェクトで想定している CBET での活用ではなく、むしろ BNBNP 全体で活用されることが考えられ、その建設は公園管理計画の中で位置づけられる必要がある点指摘した。

ただし、双方ともに CBET で活用するビジターへの情報提供施設の必要性を認め、BNBNP 所長の提案によりコミュニティーベース・ビジターセンターを本プロジェクトにて整備することで合意した。同センターは、大規模な施設とせず、参加型によるコミュニティーとの共同運営とし、便益は BNBNPMB とコミュニティーで共有することとした。BNBNP 所長からは、ドナー支援や政府による投資は地域住民を直接に対象としているものが多く、BNBNP への直接支援が少ない旨不満が述べられ、本プロジェクトでは地域住民だけを直接の対象とするようなことはせず BNBNP への還元配慮してほしい旨意見があり、調査団もこれを了解した。

2-2-5 協力期間

詳細な活動計画を策定の上検討した結果、要請書どおりの 3 年間ではプロジェクト目標

の達成は困難と判断し、協力期間を4年間とすることで合意した。

特に、2年目以降に本格稼働を迎えるCBET及び環境保全型生計向上手段のパイロット活動が効果的に実施されるためには、1年目に対象候補村落の状況を把握するベースライン調査、詳細活動計画の見直し、ワーキンググループの形成、及び地域住民の参加による基本方針の確認等を十分に行う必要があり、パイロット活動の実践を通じて得られる成果を基盤にco-management modelを開発することを念頭に、4年間の協力期間が妥当と判断した。

2-2-6 プロジェクト対象地域

事前の情報では、先方からの要望はBNBNP内コアエリアにある4地域(①Da Chays commune、②Da sar commune、③Lat commune、④Lac dung town)をプロジェクト対象候補地にしてほしいということであった。そこで現場踏査にて確認したところ、①及び②はコアエリアとバッファー・ゾーンの境にまたがる様子であったが、③及び④は公園外(バッファー・ゾーン)に位置することが判明した²。

BNBNP 所長によれば、154世帯余りの住民がコアエリア内に分散して居住しており、彼らに対する生計向上支援を通じて国立公園と共存できるモデルを開発してほしいとの提案がなされた。ベトナムの現行法によれば、国立公園内において住民の居住及び農作業等の活動は違法とされていることから、仮にパイロット活動によりモデルを開発してもモデルの汎用性が担保できないことから、本プロジェクトではバッファー・ゾーンに居住する住民を主なターゲットに活動を行うこととした。

①及び②の住民は、基本的に居住は公園外(バッファー・ゾーン)であるが、一部の住民は公園内を農地として利用していることから、バッファー・ゾーンにおける生計向上支援を通じて、コアエリア内の圧力(農地の拡大等)を軽減することを本プロジェクト活動により期待できる。

また、③及び④においても、バッファー・ゾーンでのコーヒー農園等の拡大によるコアエリアへの侵食、あるいは非木材林産物及び薪等のコアエリア内での収穫が認められ、本プロジェクト実施の意義は高い。

先方から提案された4地域は、いずれもBNBNPを囲むバッファー・ゾーンでは人口が多くコアエリアへの侵食圧力が高い地域と考えられ、調査団としてプロジェクト対象候補地として妥当と判断した。ただし、コミュニン単位をプロジェクト対象とすると世帯数も多くなることから、各コミュニンから1、2村落を対象候補として抽出し、プロジェクト対象候補5か村としてM/M(付属資料4)に記載のとおり特定した。同5か村は、各コミュニンの中でもコアエリアの近傍にあり、BNBNPMBと森林保全契約³を結んでいる住民が比較的多く認められることから、かつてコアエリア内を農地として利用する等BNBNPMBとの関係性が既に存在し、co-management modelの開発に妥当と判断される。

ただし、プロジェクト対象地の最終的な決定は、プロジェクト開始後に実施されるペー

² 事前情報とは異なり、現地調査で確認した結果、BNBNP境界内の全体をコアエリアと称しており、公園内(コアエリア内)は3つのサブ・ゾーンに分かれている。また、公園境界の外側にバッファー・ゾーンが設定されBNBNPを囲んでいる。

³ 住民からの聞き取り調査によれば、この地域における一戸当たりの平均契約面積は約30ヘクタール。同公園内の火災及び違法活動に対するパトロールが主な保全活動。尚、住民に支払われる1ヘクタール・年あたりの契約金は、VND 100,000(ベトナム・ドン)(2009年4月現在、JPY1≒VND177)。

スライン調査の結果も踏まえ慎重に検討し、必要に応じて対象村落の絞込みも必要と思われる。この点に関し、各コミュニティの人民委員会代表との意見交換（①の代表は当日欠席）にて、ベースライン調査の結果によりプロジェクト対象地域は変更される可能性があることについて調査団から言及したところ、先方からもベースライン調査結果を踏まえた選定の手続きに対して了解を得た。

また、事前の分析では BNBPNP 周辺部をプロジェクト対象地域に含むことは、BNBNPMB の管轄外に及ぶ上に関係機関が複雑になることが懸念されたが、ベトナム側関係機関との協議の結果、バッファ・ゾーンに居住する地域住民がコアエリアに侵食圧力を与えているという観点から、バッファ・ゾーンの住民への生計向上支援策は BNBPNPMB の重要な役割になっていることが確認された。

2-2-7 実施体制

合同調整委員会（JCC: Joint Coordinating Committee）の構成を含む実施体制の概要は M/M（付属資料 4）に添付の R/D 案及び実施体制図に記載のとおり⁴であるが、M/M 署名直前まで先方と議論のあったプロジェクトディレクター（PD: Project Director）の配置に関し、協議経緯及び結果を以下に記す。

調査団からは、JCC の議長（Chairperson）及び PD をラムドン省 PPC の副議長（Vice Chairman）とすることを提案。これに対し先方は、JCC 議長は受け入れるも PD をラムドン省 PPC が担うことは、ラムドン省のルール上受け入れられないことから、PD は BNBPNP 所長が適当との回答あり。

これに対し調査団は、PD は本プロジェクト実施の全体責任を負う統括者であることから、BNBPNP 所長の立場では、他の協力機関である DARD 等に指示を与えることができずプロジェクトの円滑な実施に支障を来す旨懸念を示し再考を求めた。

先方は、PD の役割の重要性に理解を示すも、ラムドン省 PPC の Vice Chairman が Director と称する役職を担うことは、ラムドン省内の組織体系に従えば Vice Chairman に従属する各関係機関（DARD 等）の Director と同等の並びになることから矛盾を来すとの説明がなされた。

そこで調査団から、PD の名称に代わり Project Supervisor の使用を提案したが、Project Supervisor の名称はなじみがなく混乱の原因になるとの指摘がなされ、代わりに Provincial Steering Committee をラムドン省が独自に設置し、これの Chairperson にラムドン省 PPC の Vice Chairman が就き、PD の果たすべき役割を担うことを提案された。また、JCC は年に 1 回程度の開催頻度であり、効果的なモニタリングができないので、ラムドン省独自に Steering Committee を設置して本プロジェクトを管理していく必要がある旨進言があった。

先方の提案を調査団内で検討した結果、Provincial Steering Committee の Chairperson が実質的に PD の役割を果たすと考えられること、また先方が独自に Steering Committee を設置してプロジェクトを管理していきたい意欲を示したことに鑑み、本プロジェクトで

⁴ 最終的に合意した R/D（付属資料 5）協議の結果、ミニッツ署名当時から若干の変更がなされ、プロジェクトの全体責任はラムドン省 PPC 副議長が負うことで変わらないものの、BNBPNP 所長が PD に就くこととした。

は PD を置かず代わりに Chairperson of Provincial Steering Committee が全体責任を負うこととした。

以上の協議の結果、責任機関はラムドン省 PPC とし、実施機関は BNBPNMB とした。

2-2-8 投入計画

プロジェクト活動を精査した結果、必要となる日本人／現地専門家及び資機材の投入要素は M/M に添付の R/D 案に記載のとおりである。日本人専門家はプロジェクト・マネジメントに徹し、現場のオペレーションは現地専門家を中心に展開する方針である。

現地専門家のリソースは、BNBNPMB やローカルコンサルタントのネットワークを通じて、複数の候補があることが確認された。ただし、コンサルタントの多くが、ハノイ又はホーチミンの大学や政府機関に勤めながら業務を行っているため、あまり地方に常駐しながらない傾向がある。従って高い専門性を必要とする専門家については、常駐でなくパートタイムにてプロジェクトに参加してもらい、Project Coordinator レベルの若手スタッフを常駐させ、事業管理を行うようにするのも一案である。特に CBET は未だベトナムでの新しい専門性であるため人材に限られ、このようなアレンジメントも視野に入れて検討する必要がある。

またプロジェクト活動の実施先としては、以下の機関が対応可能であると考え

BirdLife International :

ベースライン調査、PRA 調査、CBET モデルの試験的实施、環境保全型生計向上手段の導入・普及に技術的には対応が可能と思われる。(参加可否については、案件の目的及び内容が、BirdLife International のミッションと合致していること、BNBNP が BirdLife International の重要地区の一つであることから、参加について前向きに検討したいとの発言を得ている。)

ダラット大学村落開発学部 :

ベースライン調査及び PRA 調査に対応が可能と考える。同学部は社会経済調査や農家聞き取り調査の経験を有し、PRA のファシリテーターとして従事した経験を有する講師もいるとのこと。ただし、調査においては必要なマテリアルの作成やガイダンスは必要。

Sustainable Tourism Support Center (STSC) :

ベースライン調査、PRA 調査、CBET モデルの試験的实施に対応が可能と思われる。今回現地コンサルタントとして参加した CBET 専門家が運営する Lam & Green Tour Company 内の NGO 的な組織。エコツーリズムプロジェクトの計画、実施や評価に関わるコンサルタントサービスの提供や関連調査の実施を行う。これまでも多くの国立公園のエコツーリズム事業に関わっている。

この他、現地リソースの調達に関しては、JICA ベトナム事務所のサポートが不可欠である。

2-2-9 モニタリングおよび評価

合同評価については、協力期間を 4 年間としたことから、中間評価及び終了時評価を実施することとした。

他ドナー等（BirdLife International）との意見交換においても、プロジェクトの効果的な実施のためにはモニタリングと評価が肝要であること、またそのためのベースライン調査を十分に行う必要があることが指摘され、本プロジェクトの設計において考慮した。

また、協力期間の項で述べたとおり、効果的なパイロット活動の実施のためには 1 年目の準備期間が重要であることから、プロジェクト開始後 1 年以内の適当な時期に運営指導調査団を派遣し、ベースライン調査の結果を踏まえた対象村落の状況把握、必要に応じた対象村落の絞込み、詳細活動計画及び PDM 指標の見直し、詳細な投入計画の検討等を実施する必要がある。

2-3 プロジェクト・デザイン

上述の協議結果を踏まえ、BNBNPMB と合意した本プロジェクトの協力内容の概要は下表のとおり⁵。

要約	概要
上位目標	ビズップ・ヌイバ国立公園管理事務所が、対象村落の住民と協働で、公園の一部の自然資源を管理することができる。
プロジェクト目標	ビズップ・ヌイバ国立公園管理事務所の国立公園の自然資源管理能力が、対象村落での協働管理モデルの開発を通じて強化される。
アウトプット	<ol style="list-style-type: none"> 1 プロジェクトで導入する 2 つのコンポーネント（住民主導型エコツーリズム及び環境保全型生計向上手段）を運営する実施体制が構築される。 2 公園の自然資源管理に関わる基本的な原則及びルールが対象村落住民と BNBNPMB との間で合意される。 3 選定された地区において、CBET のモデル事業が開発される。 4 対象村落の住民に受け入れられる環境保全型生計向上手段が開発され、村落内への普及準備が整う。 5 CBET 事業や環境保全型生計向上手段を中心とする協働管理を、対象村落の住民グループが継続的に実施するための対処すべき課題や必要な活動が明確にされる。
活動	<ol style="list-style-type: none"> 1-1 CBET の実施及び環境保全型生計向上手段の普及に関わる作業グループを形成する。 1-2 形成された作業グループメンバーに対し、事業実施に必要な研修を実施する。 2-1 対象村落の住民と共同で、村落の現状に関し参加型手法を用いて評価・分析する。 2-2 対象村落の住民と共同で、自然資源の利用に関する基本的な原則及びルールを作成する。 3-1 現場にて CBET モデル事業を実施するパートナーを選定する。 3-2 対象村落での CBET の試験的实施に関わる実施計画を策定する。

⁵ 尚、より詳細な協力内容に関しては、R/D（付属資料 5）及び事業事前評価表（付属資料 6）を参照。

要 約	概 要
	<p>3-3 潜在的な負の環境影響について評価・分析し、必要に応じて講じるべき対策を実施計画に反映する。</p> <p>3-4 CBET モデル事業実施に関わる体制を構築すると共に、組織化した住民グループが CBET モデル事業を実施できるよう能力強化を図る。</p> <p>3-5 CBET の試験的实施を行う。</p> <p>3-6 実施されたモデル事業を評価する。</p> <p>4-1 対象村落にて導入できる環境保全型生計向上手段を同定する。</p> <p>4-2 環境保全型生計向上手段を導入するための作業計画を策定する。</p> <p>4-3a (農業生産向上などが手段の場合) 篤農家の圃場にて実地研修 (Field Farmers' Schools: FFSs) を実施する。</p> <p>4-3b (植林プログラム¹の導入を想定した場合) 公園内のコーヒー農園又は裸地に、郷土樹種の植林プログラムの展示圃場を設置する。</p> <p>4-3c (手工芸などの家内工業を手段とした場合) 生計向上手段に関わる実地研修を実施する。</p> <p>4-4 実施されたコンポーネントを評価する。</p> <p>4-5 導入した手段を他の住民に普及するための普及促進計画を策定する。</p> <p>5-1 [3-6] 及び [4-4]での評価結果を基に、CBET 及び環境保全型生計向上手段を、対象村落が事業終了後も継続的に実施するために必要な支援活動を明らかにする。</p> <p>5-2 公園の自然資源の協働管理に関わる BNBPNMB と対象住民グループ間の合意文書案を検討する。</p> <p>5-3 協働管理の継続的な実施を支援する省レベルでの政府文書案を検討する。</p>
投入	<p>日本側</p> <p>【専門家派遣】</p> <p>長期専門家 ・ チーフアドバイザー／協働管理 (日本人) ・ 業務調整／村落開発 (日本人) ・ 住民主導型エコツーリズム (現地専門家) ・ 生計向上 (現地専門家)</p> <p>短期専門家 ・ コーヒー生産等の複数分野 (日本人／現地専門家)</p> <p>【研修員受け入れ】</p> <p>本邦研修：年間 4 名程度</p> <p>【供与機材】</p> <p>車両、モーターバイク、GPS、双眼鏡、事務機器一式、トランシーバー/無線機、発電機</p> <p>【在外事業強化費】</p>

要 約	概 要
	<p>ベースライン調査、PRA 調査、CBET パイロット事業の試験的实施、環境保全型生計向上手段の開発と普及、コミュニティーベース・デジタルセンター設置等</p> <p><u>ベトナム側</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・カウンターパート配置 ・ラムドン省ステアリング委員会の設置 ・プロジェクト事務所 ・事務所施設 ・事務管理経費

第3章 5 項目評価

5 項目評価によるプロジェクト実施の妥当性に関わる評価結果は以下の通り。

3-1 妥当性

(1) ベトナム政府の政策及び戦略との整合性

本プロジェクトは、以下の点からベトナム政府が掲げる戦略及び上位計画の達成に貢献するものと判断する。

- a. 「Management Strategy for a Protected Area System in Vietnam to 2010」では、自然管理及び生物多様性保全を強化することを戦略の一つとして掲げ、その達成のために以下の活動を含む「実施すべき活動」を定義している。
 - 村落における自然資源保全と生物多様性保全に関する合意書の作成
 - バッファー・ゾーンにおける持続的な社会経済活動モデルの開発
 - エコツーリズムからの収益の分収に関する合意形成
 - 森林の農業転換の抑制これらの活動は、本プロジェクトの成果の達成や活動の実施を通じて、達成されると予想される。
- b. また同管理戦略では、自然保全分野の人材育成を6つの主要戦略の一つと定義している。本プロジェクトは、同管理戦略が掲げる人材育成に関する目標の内、以下の2つの目標達成に貢献する。
 - 2010年までに、全ての森林官に対して生物多様性保全に関する研修・訓練を実施する。
 - 2010年までに、自然保護地区に対して人的プレッシャーの脅威を与えている全ての村落のリーダーや長老に対して、生物多様性に関わる研修・訓練を実施する。
- c. 本プロジェクトは、「2010年に向けた生物多様性に関わる国家活動計画」において目標とされた「生物資源の持続的利用」と「生物多様性とバイオセーフティーに関する国家管理能力の強化」の達成に貢献する。
- d. 本プロジェクトにおいて計画されているCBET事業の開発やコーヒー生産の改善、植林活動、手工芸品の開発などの活動は、ラムドン省の社会経済開発5カ年計画(2005-2010)の内容と十分整合性がある。
- e. 本プロジェクトは、少数民族の社会経済状況の改善を目指しており、それは山岳部の少数民族や貧困村落に対して支援を行うという政府の現行の政策に沿ったものである。実際、本プロジェクトの効果を高めるために、現在政府が実施中の支援プログラム(135プログラム)と協調することが望ましい。

(2) JICA 戦略との妥当性

本プロジェクトは、ベトナム国に対するJICAの援助方針における自然環境保全分野の包括的プログラムの達成に直接的に貢献するものである。具体的には、地域住民とBNBNPMBによる公園の自然資源の協働管理に関わる仕組みを確立することを通じて、「自然環境保全

プログラム」に貢献する。従って、JICA の現在の援助戦略における妥当性も極めて高いと言える。

(3) その他

また本プロジェクトは以下に示すように、事業実施の必要性が高いと判断される。

- a. 対象候補村落として選定された公園に接する 5 つの村落は、バッファー・ゾーンに位置するものの、その住民の多くは公園内に農地を有し、現在も農地として利用している。更に、一部の住民は公園内の森林に侵入し、コーヒー園を拡大させていることから、本プロジェクトを通じて、地域住民が公園の自然資源の協働管理に参加することは極めて重要と判断する。
- b. 本プロジェクトの実施期間中に確立される協働管理メカニズムは、将来的には BNNBP の他の場所又は他の国立公園にて適用されると予想される。従って本プロジェクトの成果は、ベトナムの保護区における生態系保全に極めて重要であると判断する。
- c. BNNBP は 3 つの保護区（2 つの国立公園及び一つの景観保護区）の中央に位置する。BNNBP はそれらの特別利用林区内に生息する野生動物にとって重要な回廊となっており、公園内の森林保全は、公園内に生息する野生動物だけでなく、周囲の特別利用林区内に生息する野生動物にとっても極めて重要である。

3-2 有効性

本プロジェクトの 5 つのアウトプットとプロジェクト目標の因果関係が明確であることから、有効性は高いと見込まれる。

つまり、アウトプット 1「プロジェクト実施体制の整備」は、アウトプット 2~4 のための前提条件として位置付けられ、アウトプット 2「公園内の自然資源管理に係る基本的な原則及びルール」は、アウトプット 3「住民主導型エコツーリズムの実施」及びアウトプット 4「環境保全型生計向上活動の実施」が、自然資源の保全と調和するための基礎となるものである。そしてアウトプット 2、3 及び 4 の結果を基に、アウトプット 5 の「今後の課題と必要な対策」が明らかになると期待される。

これらのアウトプットが達成されることによって、「住民グループとの合意文書の草案」と「協働管理に係る政府文書の草案」が作成され、BNNPMB の能力向上を図るというデザインになっている。

以上のことから、5 つのアウトプット間の関係、並びにプロジェクト目標との因果関係は明確であり、本プロジェクトの有効性は高いと見込まれる。

3-3 効率性

計画では、できる限り現地リソースを活用することを想定していることから、本プロジェクトの効率性は高くなるものと見込まれる。具体的には、以下の活動を現地の機関に委託して実施する。

- ベースライン調査
- PRA 調査

- CBET の試験的運用
- 環境保全型生計向上手段の導入（環境保全型生計向上手段に関わる研修の実施）

更に、本プロジェクトは以下の専門家をベトナムにて調達する計画である。

- 住民参加型エコツーリズム専門家
- 生計向上専門家
- コーヒー専門家

これらの調整によって、本プロジェクトに関わる経費は、国際的又は日本のリソースを活用した場合と比較して大幅に低くなる。

3-4 インパクト

1) 以下の観点から、プロジェクト目標達成の後、3～5 年以内には上位目標は達成可能なものであると考える。

a. 因果関係

上位目標とプロジェクト目標は直接的な関係にあると言える。上位目標は、BNBNPMB が協働管理モデルの適用により自然資源を管理することを目指す表現となっており、明確であるといえる。

また、上位目標の指標は「住民グループとの合意文書の締結」「協働管理に係る政府文書の承認」「住民グループと BNBNPMB による活動の継続」という上位目標の最も主要なコンポーネントにつき測定するものであり、目標の内容を的確に捉えていると考えられる。

2) その他の潜在的インパクト

CBET の試験的実施は、公園の自然環境と対象村落の社会環境に悪影響を及ぼす可能性があるかもしれない。従って CBET の実施前に、潜在的な環境影響について評価・分析すると共に、必要に応じて緩和策を CBET の実施計画に盛り込むことを計画している。なお CBET の実施に際しては、以下の原則を守ることを念頭に置く。

- 住民の組織化と CBET の作業計画の策定は住民参加の下で実施する。
- トレッキング歩道や案内所等の施設整備は、地域住民が運営・維持管理できるよう、最小限又は適正なものとする。
- 国立公園の自然環境に影響を与えるようないかなる活動（例えば外来種の導入など）も実施しない。

(1) 上位目標の達成可能性

上位目標の指標は、上位目標の内容と達成すべきゴールを明確に示していると考えられる。またそれらは、プロジェクト目標達成の後、3～5 年以内には達成可能なものと考えられる。

(2) 因果関係

上位目標とプロジェクト目標は直接的な関係にある。

(3) その他の潜在的インパクト

CBET モデルの試験的実施は、国立公園の自然環境と対象村落の社会環境に悪影響を及ぼす可能性があるかもしれない。従って CBET モデル実施前に、潜在的な環境影響について評

価・分析すると共に、必要に応じて緩和策を CBET モデルの実施計画に盛り込む必要がある。
なお CBET の実施に際しては、以下の原則を守ることを念頭に置く。

- 住民の組織化と CBET の作業計画の策定は住民参加の下で実施する。
- トレッキング歩道や案内所等の施設整備は、最小限又は適正なものとする。
- 国立公園の自然環境に影響を与えないかなる活動も実施しない。

3-5 自立発展性

(1)政策支援

本プロジェクトは国家戦略に沿ったものであることから、プロジェクトの成果を他の地区や他の公園に適用する際には、政府の政策支援を受けやすいと予想する。また協働管理メカニズムの適用に関わる省レベルでの政府文書が承認された場合は、プロジェクト終了後も BNBPNMB は継続的な政策的な支援が得られると考える。

(2)財務的観点

BNBPNMB の財務支援を確保することが、プロジェクト活動の持続性を確保する上での重要な鍵となる。もしプロジェクトが持続的な公園協働管理の成功事例を省政府に提示することができれば、省政府から財政支援も確保しやすくなると想像する。

(3)技術的観点

本プロジェクトでは、BNBPNMB 職員がプロジェクト実施に主体的に関わることができるよう、職員に対して様々な研修を実施する予定である。またカウンターパートは、CBET モデルの試験の実施と環境保全型生計向上オプションの普及に関わる全ての活動を経験することができることから、協働管理に関わる能力強化に貢献すると予想する。

(4)JOCV との連携

池田 JOCV 隊員が環境教育分野で同国立公園の Ecotourism and Environmental education Team のスタッフをカウンターパートに活動を実施している。同セクションは本プロジェクト活動と直接に関係することから、同隊員の活動によるスタッフの能力向上が、本プロジェクトにも資することが期待される。

(5)他ドナーの動向

現在、以下に示す事業が、国立公園周辺で関連ドナーの支援を受けて実施中である。

- ① Co-management of Forests and Wildlife, Bi Doup-Nui Ba National Park
- ② Piloting an Approach to Multiple-Use Forest Management in Lam Dong Province
- ③ Forests for Livelihood Improvement in the Central Highlands Sector Project
- ④ Asian Regional Biodiversity Conservation Program
- ⑤ Vietnam Conservation Fund Project

この内、①の事業が本プロジェクトとの関連性が極めて高い。住民と BNBPNMB の共同管理メカニズムの確立を通じて、森林と野生生物の協働管理を達成することを目的に、バッファ・ゾーンに居住する住民をターゲットに活動を実施中。現在 1 年目を終了し、社会調査を踏まえ将来の活動計画を提案中。想定活動は、小規模エコツーリズムと NTFP の導入。

WWF 現地プロジェクトスタッフからは、本プロジェクトと目的、手段、対象地域が重なることが指摘された。その後 WWF ハノイ事務所と協議した結果、WWF のプロジェクトも小規模なものであることから、お互いに情報を共有した上で、協調しながら共通の課題に取り組むことを確認した。

なお NTFP については、公園管理局側から WWF の支援がすでにあることを理由に、JICA プロジェクトの活動からは除外するように指摘があり、除外することで合意した。

第4章 プロジェクト実施の背景

4-1 関連セクターの概況

4-1-1 ベトナム国の自然保護区の概況

ベトナムにおける保護区は、その立地環境に応じて下表のように区分される。

立地環境	保護区分	下位区分
内陸部/ 山岳部	特別利用林 (Special Use Forest)	国立公園 (National Parks) 自然保護区 (Nature Reserves) 生物棲息保護地区 (Species, habitat conservation zone) 景観保護地区 (Landscape Protection Area)
海域部	海洋保護区 (Marine Protected Area)	同左
平野部湿地 又は海岸沿 岸	湿地保護区 (Wetland Reserves)	ラムサール指定地区 (Ramsar Reserves) 自然保護区 (Nature Reserves) 種保護区、ビオトープ、保護区 (Species, biotope reserves)

以下に各区分の概況を示す。

(1) 特別利用林

特別利用林の下位区分である国立公園、自然保護区、生物棲息保護地区及び景観保護地区は、下記のように定義される (Regulation on Criteria for Classification of Special Use Forests (No. 62/2005/QĐ-BNN) に基づく)。

①国立公園	国立公園は、典型的または代表的な生態系がその大部分を占めている陸地内の自然地域、または、湿地ならびに海洋部がその一部をなす地上部からなり、固有種ならびに絶滅危惧種の保全・保護を目的とする。
②自然保護区	自然保護区は、固有種もしくは絶滅危惧種が変わることなく生息できる生態系を継続的に保全することを目的として設定され、地上部の自然地域、並びに、湿地もしくは海洋部がその一部をなす地上部の自然地域からなる。
③生物棲息保護地区	生物棲息保護地区は、絶滅が危惧される種の永続的な生存を保障する生息地を維持管理することを目的として設定され、地上部の自然地域、ならびに、湿地もしくは海洋部がその一部をなす地上部の自然地域からなる。

④景観保護地区	景観保護地区は、長い年月にわたる自然と人間の相互作用による、文化的、生態的、歴史的、生物多様性的な高い価値を持つ地域で、この伝統的な景観を保全することを目的として設定され、地上部の自然地域、ならびに、湿地もしくは海洋部がその一部をなす地上部の自然地域からなる。
---------	--

(2)湿地

①ラムサール指定区 (Ramsar reserves)	ラムサール条約の指定区。特別利用林の国立公園に該当する。
②自然保護区 (Nature reserves)	特別利用林の自然保護区のうち、湿地にある自然保護区が該当する。
③種保護区、ビオトープ保護区 (Species, biotope reserves)	特別利用林の生物棲息保護地区のうち、湿地にある生物棲息保護地区が該当する。

4-1-2 関連法規及びガイドライン類

ベトナムにおける国立公園管理並びに公園内外での活動に関わる既存法規及びガイドラインを以下に示す。

- a. Law on Forest Protection and Development (No. 29/2004/QH11)
- b. Decree on the Implementation of the Law on Forest Protection and Development (No. 23/2006/ND-CP)
- c. Law on Environmental Protection (No. 52/2005/QH11)
- d. Regulation on Forest Management (No. 186/2006/QD-TTg)
- e. Law on Tourism (No. 44/2005/QH11)
- f. Regulation on Criteria for Classification of Special Use Forests (No. 62/2005/QD-BNN)
- g. Regulations on Management of Ecotourism Activities in National Parks and Natural Resources (No. 104/2007/QD-BHH)

上記法規及びガイドラインの概要並びに要約を示す。また既存法規及びガイドラインで定義されたもので、本プロジェクトに関連が深い事項を以下に示す。

- a. 国立公園はベトナムの林地区分の一つである特別利用林に属する下位区分である。Law on Forest Protection and Development の第 4 条では、「特別利用林は、主に自然及び天然林の生態系並びに森林生物遺伝資源の標本区の保全、科学的調査、歴史的且つ文化的遺産と景観の保護、環境保全と両立したリクリエーション及び観光サービスに利用される。」と定義される。
- b. Decree on the Implementation of the Law on Forest Protection and Development (Decree No. 23) の第 44 条では、「国立公園として区分される特別利用林は、管理局を有するこ

とができる」とし、「特別利用林の管理局は、森林保全と開発のために、森林保全、植林、維持管理に関わる業務を地域住民、個人、軍隊などに対して委託することができる」としている。併せて同条項では、「特別利用林内の Strictly-protected sub-zone への一切の移住は認められず、同 zone での植林保全開発にかかわる短期業務委託行為のみが認められる」と明記している。

- c. 同 Decree の第 52 条においては森林産物の収穫について規定し、「特別利用林での収穫活動は、特別利用林内の森林生態系、希少固有種や貴重な動植物の生息環境、景観や歴史的並びに文化的価値等の保全・維持・開発を確実にした上で行われる」とし、併せて「特別利用林内の Service-administrative sub-zone における貴重・希少森林植物以外の枯死木や倒木の収集・除去行為のみが許される」としている。
- d. Regulations on Forest Management (Decision 186) の第 13 条では、「国立公園は、内陸部、湿地、或いは島嶼部において、その域内にある典型的又は代表的な生態系が外部環境に影響を受けないほど広大で、且つ絶滅危惧種又は地域の固有種を含んだ自然地域とする。」と定義される。
- e. 同 Decision の第 14 条では、「国立公園は、①Strictly-protected sub-zone、②Ecologically restoration zone、③Service-administrative sub-zone の 3 つのゾーンに区分される。」とし、また第 15 条では「省人民委員会がその管轄内に位置する国立公園及び景観管理ゾーンに関わる管理を行う。」と定義している。
- f. 同 Decision 第 18 条では、特別利用林の Strictly-protected sub-zone と Ecologically restoration zone 内での禁止活動を以下のように定めている。

- 森林景観を変えるような活動
- 野生動物や生物種に影響を与えるような活動
- 公園内に外来種を導入すること
- 自然資源の収奪
- 環境汚染の原因となるような活動
- 森林の焼き払い
- 家畜の放牧

- g. 同 Decision 第 23 条では、「特別利用林地内にある農地や居住地が、地図上に明記されると共に現地にて明確な標識が設置されれば、特別利用林地として含まれず、利用者は土地法に従う限りは自由に利用できる」としている。また第 24 条では、「国立公園管理局は、バッファ・ゾーンの住民が林産物及び自然資源を適正に利用・保全・保護するのを支援すると共に、エコツーリズム活動に参加できるよう関係者と調整する」とし、更に「バッファ・ゾーンにおける政府機関は、地域に居住する住民の生活の安定と特別利用林の保全と保護の推進を目的に、バッファ・ゾーンにおける農業生産振興とインフラ開発に関わる投資計画を策定する」としている。
- h. Regulations on management of ecotourism activities in National Parks and Nature Reserves (Decision No. 104) は、国立公園でのエコツーリズム活動に関わる活動に関連して、以下のようなガイドラインを定めている。

- 地域に居住する先住民のコミュニティがエコツーリズム活動に参加し、活動から便益を受けられるようにする。(第4条)
- 林産物の収穫、野生生物の違法狩猟、その他国立公園及び自然保護区内の生態系に悪影響を与える活動を禁止する。(第5条)
- 国立公園及び自然保護区には、エコツーリズム並びに環境教育センターを設立することを可能とする。(第6条)
- エコツーリズムを実施・運営する組織又は個人は、その実施に際して先住民コミュニティを優先的に参加させるようにする。(第7条)
- 国立公園及び自然保護区の管理局は、エコツーリズムに利用される森林の保護と管理、森林火災の抑制、入場者数と入場者による宿泊の制限、観光客管理のための規則の設定を主な責務としている。

4-1-3 関連セクターの政策、戦略及び上位計画

関連セクターの既存の政策、戦略及び上位計画は以下のとおりである。

- a. Management strategy for a protected area system in Vietnam to 2010
- b. National Forest Strategy for 2006-2020
- c. Decision on approval of the socio-economic development program for extremely difficult communes in ethnic minority and mountainous areas for 2006-2010
- d. Decision to approve the national action plan on biodiversity up to 2010 and orientations towards 2020 for implementation of the convention on biological diversity and the cartagena protocol on bio-safety
- e. Decision to approve results of resurveying and re-planning forests of three kinds of forests in Lam Dong Province for the period from 2006 to 2020
- f. Lam Dong province for the period from 2006 to 2020
- g. Report on social economic development plan five years 2006-2010

以下に、本プロジェクトと関係があると思われる主な事項について記述する。

- a. 「Management strategy for a protected area system in Vietnam to 2010」では、保護区 (Protected Area) の管理者の能力強化と保全活動への地域住民の参加の促進を、喫緊の優先事項としている。
- b. Decision 79 又は「Decision on approval of the national action plan on biodiversity up to 2010 and orientations towards 2020 for implementation of the convention on biological diversity and the cartagena protocol on biosafety」では、生物多様性条約とバイオセイフティに関するカルタヘナ議定書の実施のために、2020年に向けた目標活動を設定している。①内陸、湿地及び沿岸地における開発と保全、②環境保全上、脆弱な地区での農業生態系の保全、③生物資源の持続的利用、④生態系保全と遺伝子組み換え生物/生産物の規制に関わる国家管理能力の改善が、その主たるものである。
- c. Decision 1350/QD-UBND 又は「Decision on approval of results of resurveying and re-planning forests of three kinds of Lam Dong province for the period from 2006

to 2020」にて、ラムドン省人民委員会は、国立公園面積を 64,800 ha から 55,968 ha への変更を承認した。(この変更は現在大統領の承認待ちとなっている。)

- d. ラムドン省の「2006年から2010年の5ヵ年計画の社会経済開発計画」では、コーヒー生産の改善、裸地の植林、小規模な手工芸品の開発、自然及び生態系資源と文化的資産を活用した包括的な観光開発を省の開発重点課題としてあげている。
- e. 135プログラム又は「Decision on approval of the socio-economic development program for extremely difficult communes in ethnic minority and mountainous areas」は、困難な環境下にある少数民族の生活環境改善プログラムの実施促進を目的としている。この目的のため、同プログラムでは、少数民族に対する農業生産性向上生産技術に関わる研修、村落の基本インフラ整備、コミュニティーリーダーの行政管理能力の向上などを計画している。
- f. 661プログラム又は「Decision on Approval of the Five Million Hectare Reforestation Program」は、2010年までに国土の43%に当たる森林の再生を図ると共に、貧困改善並びに国家の社会経済発展に貢献することを目的としている。この目的のため、プログラムは以下の成果を達成することを目指している。

-2 百万 ha の保護林と 3 百万 ha の生産林の植林

-年間 15 百万 m³ の木材と 20m³ の薪材の供給確保と供給を通じた天然林への人的プレッシャーの削減

-2 百万人を対象とした林業関係の雇用機会の創出と林産物の加工産業の育成による貧困削減、飢餓撲滅、山村振興の支援

4-2 本プロジェクトに関連する政府組織

ビズップ・ヌイバ国立公園管理事務所（以下、BNBNPMB）が、本プロジェクトの実施機関となり、ラムドン省人民委員会が、事業実施の責任機関としてプロジェクトの全体的な支援と省内の関連機関・部署との調整を行う。一方中央政府レベルでは、Ministry of Natural Resources and Environment、Ministry of Agriculture and Rural Development、Vietnam National Parks and Protected Areas Association などがプロジェクトの JCC のメンバーとして召集される。以下に本プロジェクトの実施に主体的に関係する BNBNPMB、ラムドン省農業農村開発局及び農業普及センター、文化・スポーツ・観光局及びラクドゥン郡農業農村開発局などについて詳述する。

4-2-1 ビズップ・ヌイバ国立公園管理事務所（BNBNPMB）

(1) 組織と職員

BNBNPMB は、局長と 3 人の副局長の管理の下、5 つの部門、9 つの分署及び 1 つの特別レンジャーチームで構成される。2008 年時点では、計 96 人の職員が従事し、各レンジャーステーションには 5~11 人のレンジャーが配置されている。以下に、その職員構成を示す。

BNBNPMB の職員構成 (2008 年 11 月時点)

部署	職員数
局長及び副局長	4
管理部門	5
財務・会計部門	5
技術部門 <1	11
計画・国際協力部門	5
森林保全部門	9
9 レンジャーステーション及び 1 移動式レンジャーチーム	57
合計	96

備考：<1 技術部門は、研究、エコツーリズム、環境教育に関わる。

出所：BNBNPMB (2008)

(2) 業務分掌と主要活動

BNBNPMB の主な業務分掌は以下の通りである。

- 国立公園の森林及び生態系の保全
- ドンナイ川及び公園下流に位置する湖の水源林保全
- ダラット市の美しい景観を構成する原生林景観の保全
- 農村部の伝統的文化の保全
- 熱帯林に関する科学研究と環境教育への貢献
- 国立公園内でのエコツーリズムの開発と促進

上記の業務分掌に沿って BNBNPMB は以下の事項を主要活動として定めている。

- a. 森林保全と生物多様性保全
- b. 生態系の回復
- c. 森林火災の抑制
- d. エコツーリズム開発
- e. 科学研究
- f. 環境教育と森林保全に関わる啓蒙普及
- g. バッファゾーンにおける社会経済開発の支援
- h. インフラ開発と能力向上
- i. 国際協力

(3) 年間予算状況

2010 年までの五ヵ年投資計画が 2005 年に承認されて以来、BNBNPMB の予算は大幅に増加したと言われる。BNBNPMB によると、2008 年には約 40 億ドンの運営予算に加え、約 91 億ドンの事業実施予算の配分を受けたとのことである。下表に過去 2 年間の予算配分状況を

示す。

過去2年間のBNBNPMBの予算状況

項目	2007年度		2008年度	
	VND 1000	%	VND 1000	%
1. 森林保全契約活動	1,280,350	10	1,153,950	9
2. 森林維持管理活動	606,700	5	808,310	6
3. 5百万ha植林事業	1,630,044	13	2,103,999	16
4. 森林火災予防	262,922	2	308,399	2
5. 公園管理支援	5,000,000	39	4,000,000	30
6. Decision 304/2005	630,450	5	756,045	6
7. 公園管理局運営経費（給与、燃料費など）	3,500,000	27	4,032,452	31
合計	12,910,466	100	13,163,155	100

出所：BNBNPMB

(4)施設及び機材

下表に2008年11月現在の公園管理局が保有している施設及び機材状況を示す。

BNBNPMBが所有する施設及び機材（2008年11月時点）

施設／機材	単位	数量	備考
建物（公園管理局本部）	軒	1	
建物（分署）	軒	8	
車両（4WD）	台	2	
モーターバイク	台	24	
コンピューター	セット	27	2セットはVCFプロジェクトに属する。
プリンター（白黒又はカラー）	台	17	
コピー機	台	2	
ビデオカメラ及びカメラ	台	3	
スキャナー	台	1	
GPS	台	13	6台はVCFプロジェクトに属する。
トランシーバー	セット	13	使用不能
双眼鏡	台	21	9台はVCFプロジェクトに属する。
プロジェクター	台	1	VCFプロジェクトに属する。
除草機	機	1	VCFプロジェクトに属する。

出所：BNBNPMB

4-2-2 ラムドン省農業農村開発局（DARD）

省農業農村開発局（DARD）は、行政的にはラムドン省人民委員会の管理下に位置し、省内の農業、林業、畜産及び水産開発に関する責任を有する。ただし技術的な支援やガイダンス、又は国家レベルプログラムの実施支援は、中央政府組織である MARD からも得ている。DARD の主な役割・責務を以下に示す。

- a. 農業、林業、灌漑、水産及び農村開発に関わる事業・活動の実施における省人民委員会への技術アドバイスの提供
- b. 農業及び農村開発に関わるサービスの提供
- c. 農業、林業、灌漑、水産及び農村開発に関わる決議案及び省令案の作成
- d. 省の社会経済開発計画の沿った、農業、林業、灌漑、水産及び農村開発に関わる計画、プログラム、及びプロジェクトの作成
- e. 農業、林業、灌漑、水産及び農村開発に関わる戦略、開発計画、プログラム、プロジェクト、基準、コスト基準、関連法規の実施のための編成、ガイダンス、監督、規制
- f. 農業活動に関わる情報提供及び研修実施

4-2-3 省農業普及センター（Provincial Agricultural Extension Center: PAEC）

ラムドン省農業普及センターは DARD 下の 7 つのセンターの一つであり、省内の農林水産業に関わる技術・情報普及の役割を有する。2003 年に DARD の一部の職務が各郡人民委員会に譲渡される以前は、DARD は州全体の農業普及の責任を有していた。2003 年の分権化に伴い、郡及びコミュンレベルの農業普及活動は郡人民委員会に移管されたことを受け、PAEC の現在の役割は以下のとおり。

- a. 郡及びコミュンレベルの普及員に対する技術ガイダンスの実施
- b. 農林業開発に関わる新規モデルの開発
- c. 農林業に関わる様々な最新技術の供給

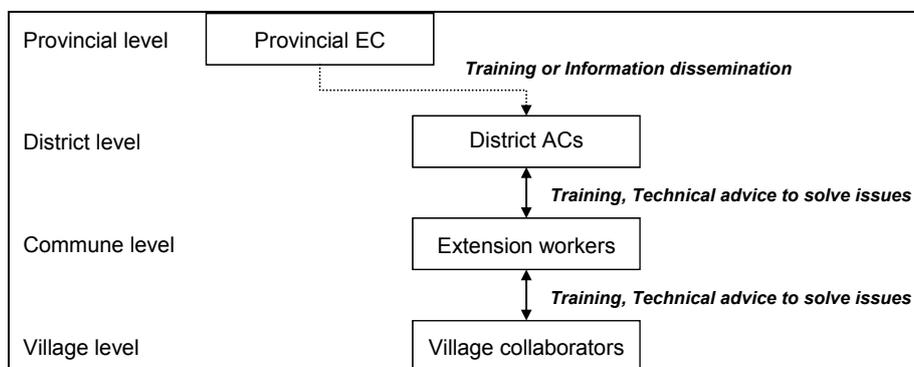
2008 年 11 月時点では、20 名の職員が PAEC にて働いている。その内訳は、①林業 2 名、②園芸 4 名、③畜産 4 名、④農林業経済 2 名、⑤漁業 1 名、⑥その他管理部門 7 名（センター長及び副センター長を含む）である。

4-2-4 ラクドゥン郡農業センター（District Agricultural Center: DAC）

DAC は、郡人民委員会の技術下部組織として、郡内の農業、林業、畜産、園芸に関わる普及プログラムの作成と実施の責任を有する。特に郡内のバッファー・ゾーンにおけるコーヒー栽培の技術支援も行っていることから、本プロジェクトの実施においては、DAC との連携も重要となる。DAC には 14 名の職員がおり、①農業 4 名、②獣医 1 名、③畜産 1 名、④アグロフォレストリー 2 名、⑤研究調査 3 名、⑥その他管理部門 3 名で構成される。また各コミュンには普及員 1 名が、そして各村には村落協力者が 1 名配置されている。普及員

は毎月1回はDACに集まり、各自が抱える技術的な問題などを協議することとなっている⁶。

農業普及に関わる PAEC と DAC の省内での農業普及に対する関わりを下図に示す。



省内の農林業普及体制（2008年11月時点）

4-2-5 文化・スポーツ・観光局（Department of Culture, Sports, and Tourism; DoCST）

文化・スポーツ・観光局（DoCST）は DARD 同様、行政上はラムドン省人民委員会下部の技術部門として、省政府に対する関連分野に関わる技術サービスの提供を行っている。DoCST の観光部門に関わる主な業務分掌を以下に示す。

- a. 省の観光開発に関わる計画の作成・提案
- b. 観光開発に関わる法規及びガイドラインなどの作成・提案
- c. 観光資源の保全と開発に関わる計画の実施
- d. ホテルや他の宿泊施設の認定
- e. 国際観光業務のライセンスの供与
- f. 観光ガイド業務のライセンスの供与

4-2-6 その他の機関

この他本プロジェクトの実施に際しては、下表に示す機関が関係する可能性がある。

その他関係がありそうな機関

機関／組織／グループ	可能性のある関わり方
ダラット大学生物学部	公園内の生態系及び生物多様性の研究・調査のパートナーとして
ダラット大学社会事業及び村落開発学部	ベースライン調査、社会調査、PRA 調査の委託先として
花卉及び野菜研修センター	対象村落の住民に対する野菜や花卉栽培に関する研修の講師の派遣先として

⁶ PAEC での聞き取りに基づく。

ラムドン省アグロフォレストリーセンター	対象村落の住民に対するアグロフォレストリーに関する研修の講師の派遣先として
---------------------	---------------------------------------

4-3 プロジェクト対象地域の現況

4-3-1 ラムドン省の現状

(1)位置及び行政単位

ラムドン省は中部高原の南部に位置し、東部で Khanh Hoa 省と Ninh Thuan 省に、南西部で Dong Nai 省に、南東部で Binh Thuan 省にそして北部で Dak Lak 省に接する面積 9,772km² の省である。省は 10 の郡と Dalat City 及び Bao Loc Town によって構成され、それらは更に 115 コミューンと 30 特別区に分かれる。

(2)地形

ラムドン省は概して高地に位置するが、北から南に向かって段階的に地形が変化する特徴を有する。北部は標高 1300m から 2000m 以上に亘る Lang Bian 高原が広がり、Bidoup 山 (2,287m) や Lang Bian 山 (2,167m) を含む。東部及び西部にかけては標高 500m から 1,000m 程度の高原となり、南部は Bao Loc 高原及び Di Linh 高原から、ホーチミン市北部の平野部へとなだらかに変移していく地形となっている。

(2)気候条件

地域は、熱帯モンスーン地帯に属する。省全体をみると、複雑な地形条件のために、気候条件も多様であるが、概して年間を通じて温暖な気候と言える。年間平均気温は高地部で 18 度、平野部で 25 度と異なり、年間降雨量も 1,750mm から 3,150mm と地域差がある。なお降雨の 90%は、5月から10月の雨季に集中する。

(3)土壌

ラムドン省は、肥沃な玄武岩質土壌を有し、コーヒー、お茶、カシューナッツ、桑、柿などの樹木作物／果樹と高原野菜と花卉栽培に適した高原地域として有名である。FAO の土壌区分に従うと、地域は 8 つの土壌タイプ (Fluvisols、Gelysols、Cambisols、Luvisols、Ferrasols、Acrisols、Alisols、Leptosols) で構成される。

(4)農林業

省の主要農産物は、コーヒー、お茶、野菜、米、トウモロコシ、桑、花卉である。DARD は気候及び土壌条件に応じて、地域を以下の 4 つの区分に分類し、生産振興を行っている。

省内の地域の生産タイプ区分と主要作物

区分	郡／地域	主要作物
食用作物及び工芸作物栽培地区	Duc Trong、Lam Ha、Don Duong	コーヒー、野菜、トウモロコシ、桑

食用作物栽培地区	Da Teh、Cat Tien	米
工芸及び多年生作物栽培地区	Bao Loc、Bao Lam、Di Linh	コーヒー、お茶、桑
ダラット市周辺	Dalat	野菜、果樹、花卉

ラムドン省には、未だ森林資源が豊富に残っており、その大部分（約 60%）は天然林である。下表にてラムドン省での林地区分と森林被覆タイプの要約を示す。

ラムドン省の林地区分と森林被覆タイプの面積（2007年）

林地区分	面積 (ha)
1. 特別利用林	91,770
1.1 天然林	79,802
1.2 植林地	2,539
1.3 裸地	9,429
2. 保護林	211,975
2.1 天然林	176,813
2.2 植林地	16,167
2.3 裸地	18,095
3. 生産林	346,524
3.1 天然林	285,704
3.2 植林地	31,218
3.3 裸地	29,602
4. 合計	649,368
4.1 天然林	542,319
4.2 植林地	49,924
4.3 裸地	57,126

出展：MARD（2007）

(5)人口

2005年の人口センサスによると、省内には1,169,851人が居住する。その大部分（77%）は、Kinhグループが占め、残りは少数民族（Kohoグループ、Maグループ、M' Nongグループ、Churuグループなど）によって構成される。

(6)地域経済及び主要産業

地域の主要産業は、農業、繊維産業、観光業、鉱工業である。コーヒーやお茶などの輸出産物のもとより、近年は野菜、花卉、カシューなども国内の主要都市に輸送販売されている。また多様で豊富な自然資源・景観と温暖な気候は、国内外の多くの観光客を引き付け、ダラットを中心に観光業が発展している。観光業の発展と共に、地元産のワイン、果樹シロップ、刺繍、焼き画、ニット製品などと共に、伝統的な手工芸品の製造も増加しつ

つある。

4-3-2 ラクドゥン郡の現状

ラクドゥン郡は、ラムドン省の北部に位置する面積 130,963ha の郡である。郡は 6 つのコミューンから構成され、6 つのコミューンは更に 33 の村落から構成される。

(1) 土地利用

ラクドゥン郡の現況土地利用を下表に示したように、郡全体面積の約 90%は林地に属し、農地は全体面積 4%に過ぎない。また林地の約 50%は特別利用林に属する。

ラクドゥン郡の現況土地利用

土地利用	面積 (ha)
1. 農地	4,690
1.1 単年生作物	2,364
1.2 多年生作物／果樹／樹木作物	2,326
2. 林地	117,447
2.1 特別利用林	61,077
2.2 保護林	55,902
2.3 生産林	468
3. 養魚池	5
4. 非農地	1,383
5. 放棄地／未利用地	7,439
5.1 平坦地	381
5.2 傾斜地	7,058
合計	130,963

出所：Lac Dong District

(2) 農業生産

ラクドゥン郡の主要農産物の生産状況を下表に示す。

ラクドゥン郡の主要農産物の生産状況

農作物	作付け面積 (ha)	生産 (ton)	収量 (ton/ha)
米	313	651	2.1
トウモロコシ	1,344	2,391	1.8
キャッサバ	24	176	7.3
タロイモ	49	294	6.0
大豆	48	34	0.7

農作物	作付け面積 (ha)	生産 (ton)	収量 (ton/ha)
野菜	2,103	45,016	21.4
コーヒー	1,944	2,340	1.2
柿	433	775	1.8
イチゴ	60	60	1.0
花卉 <1	85	16,000,000	188,235.3

備考：<1 数値は本数を示す

出所：Lac Dong District

野菜、コーヒー及びトウモロコシが、ラクドゥン郡の主要農作物と言える。特に野菜とコーヒーは、重要な換金作物である。一方、トウモロコシは主に山村部の自家消費用として栽培されている。近年は花卉栽培もダラットを中心に広がり、イチゴや柿などの果物と同様、地域の特産品になりつつある。

(3)人口

2006年の時点で、ラクドゥン郡の総戸数は3,274戸及びその人口は17,765人であった。少数民族の1部族であるCi1グループが、全人口の58%（10,389人）を占め、次いでやはり少数民族の1部族であるLackグループが、全人口の約19%（3,327人）を占めている。ベトナムの主流民族であるKinhグループは全人口の6%（1,123人）に過ぎない。

4-4 ラムドン省又はラクドゥン郡において実施中の関連事業

現在ラムドン省又はラクドゥン郡では、以下に示すような事業が他ドナー又は国際機関（NGOも含む）によって実施されている。

- ① Co-management of Forests and Wildlife, Bi Doup-Nui Ba National Park
- ② Piloting an Approach to Multiple-Use Forest Management in Lam Dong Province
- ③ Forests for Livelihood Improvement in the Central Highlands Sector Project
- ④ Asian Regional Biodiversity Conservation Program
- ⑤ Vietnam Conservation Fund Project

その中で、本プロジェクトと関連が深い3つの事業概要を下表に示す。

プロジェクトと関連が深い実施中の事業

a. Co-management of Forests and Wildlife, Bi Doup-Nui Ba National Park

Items	Outlines
Title of the project	Co-management of Forests and Wildlife, Bi Doup-Nui Ba National Park
Duration of project	3 years (2007-2010)
Source of Fund	Darwin Initiative

Items	Outlines
Field implementer	WWF-Greater Mekong Program – Vietnam Country Office
Partner organizations	DARD and BNBPNMB
Target villages	2 villages in Da chays commune 2 villages in Lat commune
Purpose of the project	To conserve threatened biodiversity in BBNP through introduction of collaborative forest and wildlife stewardship models based on negotiated tenure and access rights
Outputs	<ol style="list-style-type: none"> 1. Appropriate legal framework for community-management are in place. 2. Communities in the buffer zone have the institutional capacity to negotiate, benefit from and monitor co-management agreement. 3. Core protection zone and surrounding land use boundaries are established and community enforcement groups are also established. 4. An economic feasibility study is completed and a community sustainable financing plan is developed and implemented. 5. Communities monitor their natural resource use and enhance their knowledge of managing the resources and core area. 6. Project results and lessons are publicized nationally and internationally for replication and policy change on national and international levels.
Major Activities	<ol style="list-style-type: none"> 1. Develop an appropriate legal framework. 2. Develop the capacities of the relevant stakeholders 3. Conduct participatory land use planning and zoning 4. Study and develop sustainable livelihood models 5. Document the project activities and establish firm links with other co-management projects in the country to share the results of the projects
Current status	<p>WWF completed several field surveys at the target villages and is being preparing an implementation plan of the field interventions. Accordingly, the following activities are to be carried out at the target villages.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction of sustainable use/harvest of NTFPs 2. Trial production of NTFPs 3. Organization of joint protection and management teams 4. Introduction of a community-based ecotourism model 5. Introduction of alternative livelihood options (e.g., swine

Items	Outlines
	raising)
Relation to the JICA' s project	The concepts and major activities of the WWF project are quite similar with the proposed JICA project. In fact, two of the target villages of the WWF project are also selected as the potential target villages under the proposed project. There is a need to closely coordinate with the WWF project prior to and during implementation of the proposed project.

b. Project being carried out by Tropical Forest Fund

Items	Outlines
Title of the project	Piloting an Approach to Multiple-Use Forest Management in Lam Dong Province
Duration of project	3 years (2007-2010)
Source of Fund	Tropical Forest Foundation
Field implementer	Bird Life International and other National Research Institutions (e.g., Forest Science Institute)
Partner organizations	DARD BNBNPMB
Target villages	n. a.
Purpose of the project	To pilot and define necessary parameters for establishment and replication of a multiple-use approach to forest management that reconciles biodiversity conservation, environmental protection, and production objectives with poverty reduction for poor and forest-dependent communities.
Outputs	<ol style="list-style-type: none"> 1. Capacities of the stakeholders (Lam Dong DARD and FD, and selected FMUs, districts and communes) in multiple-use forest planning and management, forest valuation, and collaborative management are increased. 2. Multiple-use management is piloted at selected FMUs in Lam Dong Province 3. Mechanisms for enhancing community participation in planning, development, management and benefit sharing are established at selected watershed protection forests and production forests, and possibilities for collaborative planning, management and benefit sharing are explored at selected special-use forests. 4. Best practices models of multiple-use forest management are documented and disseminated to encourage replication of the

Items	Outlines
	approach.
Major Activities	<p>1. Conduct a series of training courses for DARD, FD, FMUs, districts and communes.</p> <p>2.1 Assess the present FMU plans and management documents to analyze their characteristics (SWOT)</p> <p>2.2 Conduct forest surveys to identify high conservation value forests and define multiple-use zonation with management prescription for each zone.</p> <p>2.3 Agree with stakeholders on defined multiple-use forest zoning plans.</p> <p>3.1 Assess opportunities and constraints for participation of local communities in planning and management of FMUs.</p> <p>3.2 Define and develop mechanisms for enhancing community-based forest management and facilitate the signing and implementation of the collaborative management agreements.</p> <p>3.3 Conduct surveys and studies inside WPFs and SFEs on specific NTFPs to estimate sustainable harvests, enrichment planting possibilities, and to establish protocols for sustainable use.</p> <p>3.4 Conduct training for local communities to ensure sustainable harvest of NTFPs in agreed locations.</p> <p>4.1 Define and establish a system to review multiple-use forest management activities</p> <p>4.2 Document lessons learned and prepare case studies and guidelines for dissemination through policy briefs and workshops.</p>
Current status	There are not much information available about the status of the project. Training need assessment of DARD and FMUs was completed and parts of capacity development activities have apparently been conducted. However, no outputs related to Output 3 was observed during the field survey of the expert.
Relation to the JICA' s project	Activities under Output 1 (Capacity development of SMUs) and Output 3 (Development of mechanisms for enhancing community participation) may be related to the proposed project. Therefore, the progress and status of the project should be reviewed in the beginning of the project.

c. Project being carried out by ADB

Items	Outlines
Title of the	Forests for Livelihood Improvement in the Central Highlands Sector

Items	Outlines
project	Project
Duration of project	8 years (2007–2014)
Source of Fund	ADB and Trust Fund given by other donors
Field implementer	Consultants
Partner organizations	MARD PPC of six provinces
Target villages	60 communes in six provinces (10 commune each for province)
Purpose of the project	State-owned and other forests are sustainably managed in the central highlands.
Outputs	<ol style="list-style-type: none"> 1. Technically sound and socially relevant sustainable forest management plans for over 3 million ha of natural forests and plantations are formulated. 2. Wage generating and livelihood improvement opportunities /investments are provided for forest-dependent ethnic minorities in 60 communes. 3. Technical and operational capacities of the stakeholders in sustainable forest management are enhanced. 4. The MARD's capacity to implement and manage the project is strengthened.
Major Activities	<ol style="list-style-type: none"> 1. Carry out i) forest use planning, ii) forest delineation and zoning, iii) forest allocation, iv) inventory of protection and production forests, and v) preparation of provincial forest management and business plans. 2. Establish commune development funds in 60 communes to support income generating activities. 3. Develop the capacities of the stakeholders in the following technical and operational fields: i) GIS use, ii) forest inventory and assessment, iii) business model development for community forestry and SMEs, iv) CDF accounting and administration support, and iv) clean development mechanism. 4. Assist MARD in i) preparation of a project implementation plan, ii) mobilization of staff and consultants, iii) implementation of community-level projects, and iv) making CDFs operational.
Current status of the project	According to Project Director of MARD, the project has prepared several guidelines and manuals for project implementation for the last two year. Activities related to livelihood support for the target communes will be designed by a consultant team in December

Items	Outlines
	2008.
Relation to the JICA' s project	One of the target communes selected under Output 2 is Da chays commune in Lam Dong Province. It is expected that a commune development fund with some income generating activities would be introduced in the commune by FLICH. The proposed JICA' s project should review the activities introduced (or to be introduced) by FLICH in the beginning of the project.

この他、政府資金によって、以下の 2 つのプログラムが事業対象地区内外で実施されている。

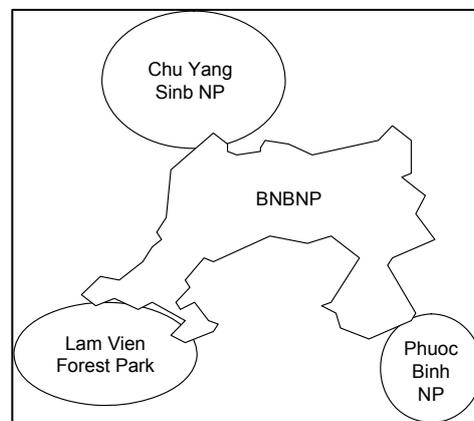
- ①Reforestation program (661 program)
- ②Socio-economic Development program (135 program)

これらの実施中の事業に加えて、BNBNPMB は BNBNP のバッファ・ゾーンの 5 ヶ年投資計画を作成し、ラムドン省人民員会に 2008 年 12 月に提出している⁷。同投資計画が承認されれば、バッファ・ゾーンに居住する住民に対して、更なる社会経済開発事業が実施されることになる予想される。

4-5 国立公園及び対象村落の現況

4-5-1 国立公園の概況

BNBNP は、1986 年に自然保護区に指定され、そして 2005 年には国立公園に昇格している。公園の総面積は 64,800ha と国内でも有数の大きな保護地区である。また BNBNP は、3 つの自然保護地区（北部で Chu Yang Sinb 国立公園、東部で Phuoc Binh 国立公園、南部 3 つの保護地区を結ぶ回廊としての役割も有し、中部地域の生物多様性保全の観点からは極めて重要な価値を有する。



BNBNP は亜熱帯高山気候の典型的な森林生態系を有し、山地熱帯降雨常緑林、針広混交林、高山低木林、低山針葉樹疎林、コケ林、竹広混交林が分布する。その豊富な森林資源のために、国立公園は多様性に富んだ動植物相が生息している。既往の調査結果によると、97 の植物固有種（内 62 種はベトナムのレッドデータブックに記載され、また 28 種は地域の固有種でラテン名を得ている）と 95 属又は 385 種の動物（内 36 種がベトナムのレッドデータブックに、また 26 種が IUCN の絶滅危惧種リストに記載されている）が生息していると報告されている。また同国立公園は野鳥保護区としても有名で、世界的に地域固有種の鳥類が生息すると認められている 221 箇所の 1 地区に指定されている。

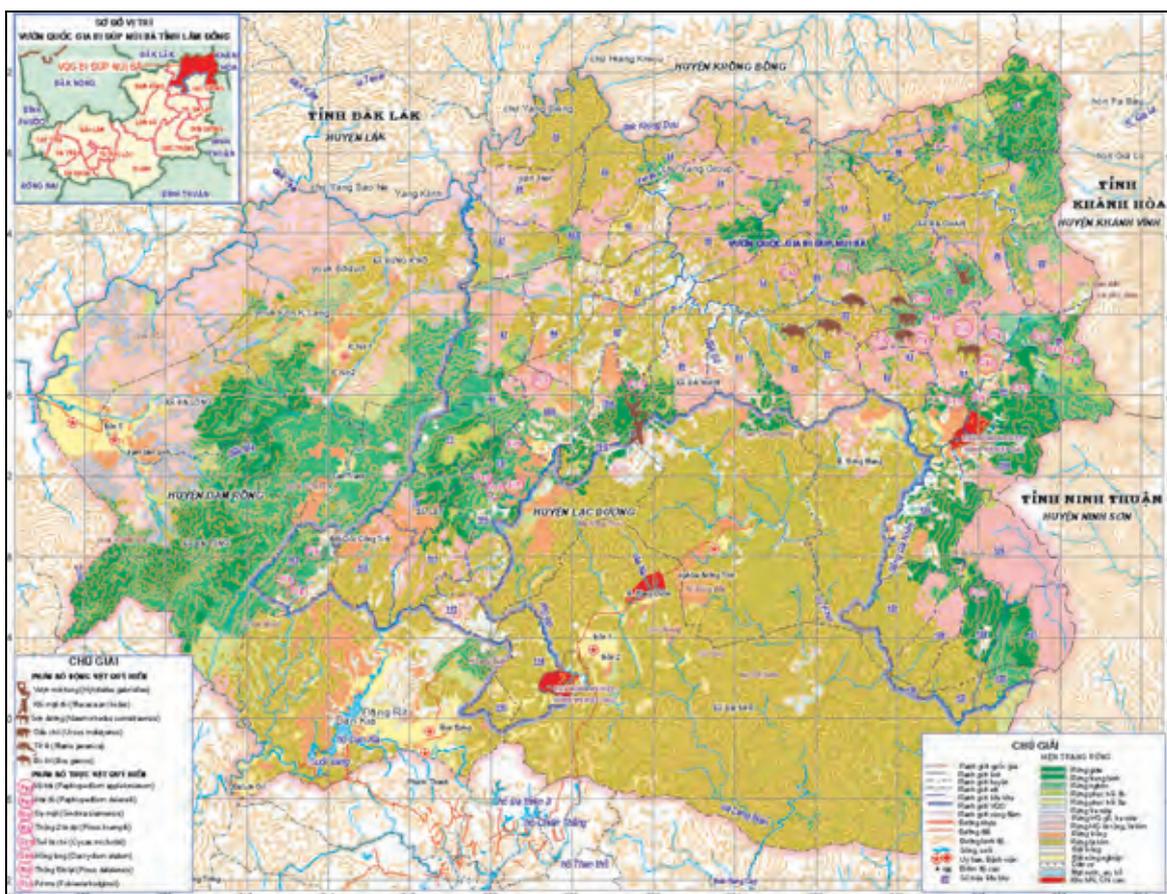
4-5-2 対象候補村落の概況

(1) 対象候補村落

BNBNPMB と協議、対象地域の視察、他ドナーの現在の活動状況のレビュー結果を基に、BNBNPMB が提案してきた 6 つの村落の内、以下の 5 つの村落を事業対象候補村落とすることで合意した。

- a. Da Chays コミューン の Dung k' si 村
- b. Da Chays コミューン の Klong klan 村
- c. Da Sar コミューン の Thon 1 村
- d. Lat コミューン の Bnor B 村
- e. Lac Dung town の Bang dung 1 村

上記 5 つの村落は 3 つのコミュニティと 1 つの町に行政的に属する。対象候補村落の位置を下図に示す。



BNBNP と対象候補村落位置図

また下表に、各関連コミュニティにおけるコアエリア及びバッファ・ゾーンの面積を示す。

郡内のコミューン及び町におけるコアエリアとバッファー・ゾーンの面積

コミューン／町	コアエリア (ha)	バッファー・ゾーン (ha)	全面積 (ha)
Lac Duong	790	2,810	3,600
Da Nhim	16,650	7,253	23,903
Dung K' No	9,560	9,780	19,340
Da Sar	2,120	22,700	24,820
Da Chays	25,320	8,784	34,104
Lat	9,310	11,270	20,580
Da Tong	1,050	13,510	14,560
Total	64,800	76,107	140,907

出所：BNBNPMB (2008)

特に Da Chays コミューンは、多くのコアエリアを含んでいることがわかる。

4-5-3 対象候補村落の社会経済状況

(1) 世帯数及び人口

2008年4月時点での対象候補村落の世帯数と人口は下表のとおり。

対象候補村落の世帯数及び人口

対象候補村落	コミューン /Town	世帯数	人口	主要民族
Bon dung 1	Lac Duong	189	873	Lack group
Thon 1	Da sar	150	841	Cil group
Dung K' si	Da chays	79	411	Cil group
Klong klanh	Da chays	99	483	Cil group
Bnor B	Lat	152	706	Lack group

出所：BNBNPMB (2008)

(2) 経済状況

対象候補村落の住民へのインタビュー並びに簡易な質問表を用いた調査の結果、対象候補村落の住民の多くが平均以下の経済状況にあることがわかった。なお、一戸当たり年間平均収入は5百万ドンから18百万ドンの範囲にあると推定された。

対象候補村落の経済状況

対象候補村落	住民の経済状況構成 <1				一戸当たりの年間平均収入<3 (VND/HH/year)
	貧困 <2 戸数 (%)	平均 戸数 (%)	裕福 戸数 (%)	合計 戸数 (%)	

Bon dung 1	22 (12)	148 (80)	15 (8)	185 (100)	12-13 million
Thon 1	35 (22)	109 (70)	12 (8)	156 (100)	17-18 million
Dung K' si	81 (95)	4 (5)	0 (0)	85 (100)	5 million
Klong klanh	36 (35)	47 (46)	20 (19)	103 (100)	5-7 million
Bnor B	25 (16)	105 (66)	28 (18)	160 (100)	n. a.

Note:

- <1 The numbers of households of the villages are not the same with the data of BNBPNMB.
 <2 The government sets the criteria for classification, namely, those who use only 2,000 m² for farming or whose head is sick are categorized as poor.
 <3 The information was given by the key informants that the Expert interviewed.

上表に示すように、Da Chays コミューンの Dung K' si 村及び Klong klanh 村は、他の村の中でも特に貧困状況あると言える。

(3) 主要な収入源／生計機会

コーヒー生産・販売と BNBPNMB との契約に基づく森林保全活動からの収入が、5つの村の主要な収入源であった。特にダラットから遠く（約 50km）離れている Da Chays コミューン の Dung K' si 村及び Klong klanh 村では、上記二つの収入源以外の収入機会は極めて限られていると思われる。一方、ダラットから比較的近い村（Bon dung 1 村、Thon 1 村、及び Bnor B 村）では、野菜生産・販売、付近の農家での農業労働者としての賃金、炭の生産・販売などから収入を得ていた。

表 2-13 対象候補村落の主要収入機会

村落	主要収入源				
Bon dung 1	コーヒー	森林保全活動契約	野菜生産	炭生産	労賃
Thon 1	同上	同上	同上	-	-
Dung K' si	同上	同上	-	-	-
Klong klanh	同上	同上	-	-	-
Bnor B	同上	同上	野菜生産	家畜販売	-

出所: Interviews to members of the target villages and a simple questionnaire survey done in the course of the survey

(4) 生計改善上の問題点

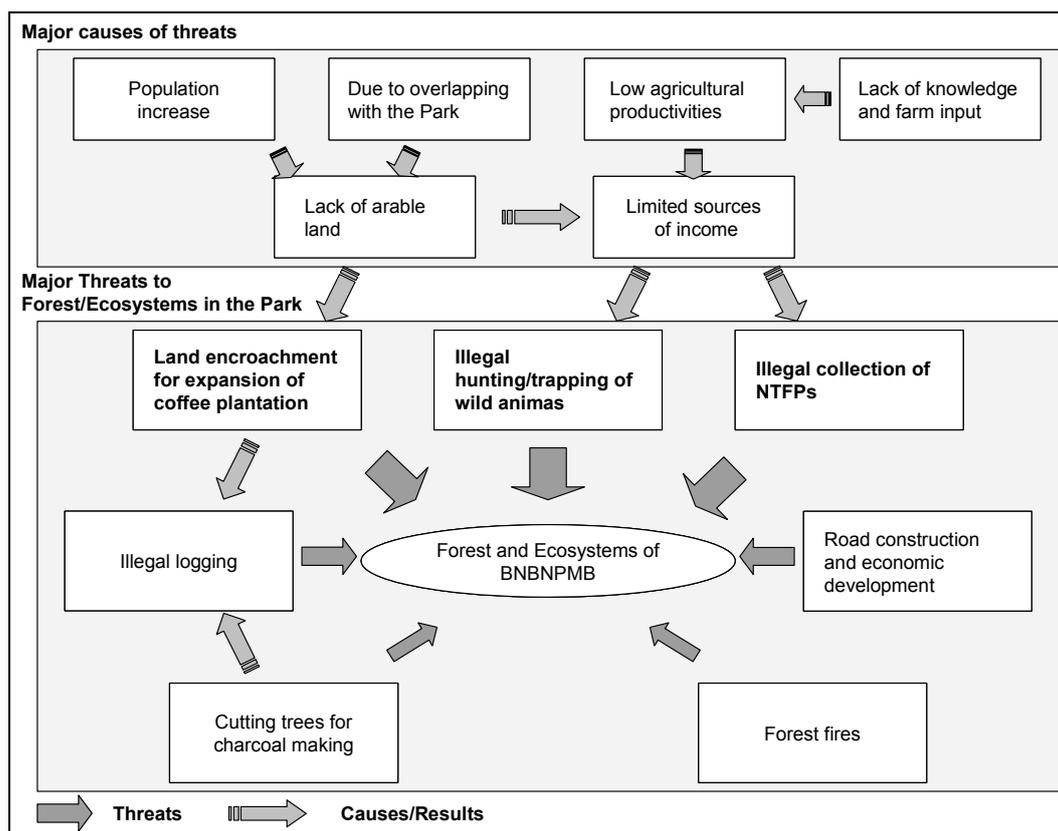
地域住民によると、「低い農業生産性」と「限られた耕作地」が、生計改善上の大きな障害になっていると考えられ、一方、「農業資機材を購入するための資金不足」、「農業技術の不足」及び「農業普及サービスのアクセス不足」が低い農業生産性の原因であった。

4-6 問題点

4-6-1 公園内の森林／自然資源に与える影響

公園内の森林への圧力は、政府が焼畑を禁止した1990年中ごろから軽減されてきていると思われる。1990年以前は、公園も制定されていなかったため、地域住民の多くは公園内の森林にて焼畑耕作を行っていた。しかし政府が焼畑を禁止すると共に、森林保全活動に関わる契約を地域住民と進めたことで、ほとんどの住民は焼畑耕作を行わなくなったと言われる。現在それらの土地は放棄地又は裸地として残されるか、近年価格が上昇しているコーヒー園に置き換わっていると考えられる。

従い現在は、「コーヒー生産地拡大のための森林伐採」と「地域住民による野生生物やNTFPの捕獲・収穫」が、公園内の森林及び生態系に対する脅威となっていると考える。この他には炭生産のための木の伐採や、地域の経済開発（道路建設や土地区分の変更）に伴う環境破壊も、地域の生態系に多少なりとも影響を与えている。また下図に示すように、「コーヒー生産地拡大のための森林伐採」と「地域住民による野生生物やNTFPの捕獲・収穫」は、地域住民が抱える生計維持上の問題と密接に関わっていることは想像に難くない。



公園内の森林及び生態系に影響を与える問題

4-6-2 国立公園管理上の課題

BBNPMB が抱える国立公園管理上の主な問題点は以下のとおり。

(1) 地域住民協働での自然資源管理に関わる経験不足

地域住民による国立公園の土地の農業利用が、公園内の森林及び生態系への大きな脅威となっている。農業生産は、地域住民の重要な生計機会であるために、BNBNPMB が公園内部の農業活動を規制することは極めて難しい状況にある。そのため BNBNPMB は、単に地域住民の活動を規制するのではなく、より包括的な対策実施が求められている。公園内資源の協働管理は包括的対策の一つであるが、ベトナム国において導入まもないもので、特に BNBNPMB にとってはまったく初めて試みである。

(2) 住民主導型エコツーリズム (CEBT) に関する知識及び経験の不足

同様に、BNBNPMB には CBET に従事した経験のある職員は存在しない。ベトナム国内においても、CBET も未だ新しいコンセプトで、経験のある専門家は数えるほどであると言われる。BNBNPMB は、本プロジェクトの実施を通じて CBET モデルを開発及び実施するための能力強化を図ることが重要である。

(3) 協働管理を支援する法規制の未整備

現行の法規（法律、省令、ガイドライン等）は国立公園の協働管理、特に土地の管理を認めてはいない。ある地域が国立公園/特別利用林地として制定される際に、域内の農地をその面積から除外しなければ、その土地は特別利用林地として区分され、いかなる農業活動も禁止対象となる。BNBNP の区分及び面積決定はすでになされていることから、現段階で公園内農地を除外することは困難と考える。従って、地域住民が公園内部の自然資源を持続的に利用・管理することを許可するような政府文書（法律又はガイドライン等）を制定する必要がある。

(4) 公園内土地利用に関わる利害衝突

公園内外に居住する住民だけでなく、経済開発又は投資のために公園内の土地を利用したい組織や個人も存在すると思われる。時には、地域の土地利用に関する決定は、省政府の上層部からもたらされる場合もあり、BNBNPMB が、全ての外部からの土地利用に関わる軋轢をコントロールすることは、極めて難しいと判断される。

付 属 資 料

1. 調査日程
2. 調査団が事前に作成した PDM 案
3. M/M (ミニッツ)
4. R/D
5. 事業事前評価表

調査日程

	Date	Day	Mr. Tojo, Mr. Uehara, Mr. Kanda	Mr. Mizuguchi	Stay
1	27-Nov	Thu		11:00 Leave Narita for Hanoi (VN955) 15:10 Arrive in Hanoi 17:00 Meeting with JICA Vietnam Office (including local consultants)	Hanoi
2	28-Nov	Fri		9:30 Leave Hanoi for airport 11:30 VN277 Hanoi- Dalat 13:30 Arrive in Lien Khuong airport 14:30 Arrive in Da Lat 15:00 Meeting with BNBPNMB* (including lecture on PCM method)	Dalat
3	29-Nov	Sat		<ul style="list-style-type: none"> Field survey 	Dalat
4	30-Nov	Sun		<ul style="list-style-type: none"> Data analysis & report writing 	Dalat
5	1-Dec	Mon		8:00 Meeting with relevant Communes PC 14:00 Meeting with DARD* 15:30 Meeting with NGOs (WWF Project Office) Field survey	Dalat
6	2-Dec	Tue		8:30 Meeting with local researchers (discussed and arranged later by BDNBNPMB) 13:30 Meeting with BNBPNMB	Dalat
7	3-Dec	Wed	<Mr. Uehara & Mr. Kanda> <ul style="list-style-type: none"> 0950 Leave Narita for Hong Kong (NH909) 1455 Leave Hong Kong for Hanoi (VN791) 1555 Arrive in Hanoi 	12:00: Leave Dalat for airport 14:00 VN276 Dalat- Hanoi <ul style="list-style-type: none"> Data Analysis & Report Writing 	Hanoi

8	4-Dec	Thu	<p><Mr. Uehara, Mr. Kanda and Mr. Mizuguchi></p> <p>8:30 Meeting with JICA Vietnam Office</p> <p>10:30 Birdlife International</p> <p>14:00 Courtesy call to MONRE (Dept. of Biodiversity under VEA)</p> <p>16:30 Courtesy call to MARD (FPD)</p>	Hanoi
9	5-Dec	Fri	<p>9:30 Leave Hanoi for airport</p> <p>11:30 VN277 Hanoi- Dalat</p> <p>13:30 Arrive in Lien Khuong airport</p> <p>14:30 Arrive in Da Lat</p> <p>15:00 Courtesy call to Lam Dong Provincial Peoples' Committee</p> <p>16:00 Meeting with BNBPNMB (Presentation from BNBPNMB)</p>	Dalat
10	6-Dec	Sat	<p>Field survey</p> <p>8:00 Leave Hotel for Da Chays Commune</p> <p>9:30 Discussion with village people in Dung k'si</p> <p>11:30 Visit a ranger station (Lunch)</p> <p>14:00 Discussion with village people in Da Sar commune</p>	Dalat
11	7-Dec	Sun	<p>· Internal meeting and report writing</p>	Dalat
12	8-Dec	Mon	<p>9:00 Courtesy call to DARD</p> <p><Mr. Mizuguchi></p> <p>10:30 Meeting with Dalat University</p> <p>13:30 courtesy call to Department of Planning and Investment</p> <p>15:00 Courtesy call to Department of Tourism</p>	Dalat
13	9-Dec	Tue	<p>9:00 Meeting with relevant Communes PC (Da Sar, Lac, Lac dung)</p> <p>14:00 Meeting with BNBPNMB</p>	Dalat
14	10-Dec	Wed	<p>9:00 Discussion on the Project framework with BNBPNMB</p> <p>14:00 Discussion on the PDM</p>	Dalat
15	11-Dec	Thu	<p>8:00 Discussion on PDM and M/M</p> <p><Mr. Tojo></p> <p>11:30 Leave Hanoi for airport</p> <p>13:30 VN277 Hanoi- Dalat</p> <p>15:30 Arrive in Lien Khuong airport</p> <p>16:00 Arrive in Da Lat</p>	Dalat
16	12-Dec	Fri	<p>9:00 Meeting with BNBPNMB</p> <p>11:30 Field visit on Bun dong 1 village in Lac dung town</p> <p>15:00 Meeting with Lam Dong People's Committee</p>	Dalat

			17:00 Signing on M/M		
17	13-Dec	Sat	Field visit 8:00 Leave hotel for BBNBP 9:30 Stop by one ranger station 11:00 Arrive at a waterfall 14:00 Return hotel ・ Report writing		Dalat
18	14-Dec	Sun	12:00 Leave Dalat for airport 14:00 VN276 Dalat- Hanoi ・ Report writing		Hanoi
19	15-Dec	Mon	9:00 Report to JICA Vietnam Office 10:30 Meeting with WWF in Hanoi 17:00 Report to Embassy of Japan		Hanoi
20	16-Dec	Tue	<Mr. Uehara and Mr. Kanda> ・ 1105 Leave Hanoi for Hong Kong (VN790) ・ 2015 Arrive in Narita (JL732)	<Mr. Mizuguchi> ・ Supplemental survey, data collection and report writing	Hanoi/ Dalat
21	17-Dec	Wed		・ Supplemental survey, data collection and report writing	Hanoi/ Dalat
22	18-Dec	Thu		・ Supplemental survey, data collection and report writing	Hanoi/ Dalat
23	19-Dec	Fri		・ Supplemental survey, data collection and report writing	Hanoi/ Dalat
24	20-Dec	Sat		・ Supplemental survey, data collection and report writing	Hanoi/ Dalat
25	21-Dec	Sun		・ 0025 Leave Hanoi for Narita (VN954) ・ 0640 Arrive in Narita (on 22 nd Dec.)	

* BBNPMB: Bidoup-Nui Ba National Park Management Board

DARD: Department of Agriculture and Rural Development

MARD: Ministry of Agriculture and Rural Development

MONRE: Ministry of Natural Resources and Environment

VNPPA: Vietnam National Parks and Protected Areas Association

Project title The Project for Strengthening Community-based Management Capacity of Bidoup-Nui Ba National Park
 Period 2009 – 2012 (3 years)
 Target area Bidoup-Nui Ba National Park (BNBNP)
 Target group Bidoup-Nui Ba National Park Management Board (BNBNPMB, Department of Agriculture and Rural Development (DARD), The target communes

NARRATIVE SUMMARY	OBJECTIVELY VERIFIABLE INDICATORS	MEANS OF VERIFICATION	IMPORTANT ASSUMPTIONS
OVERALL GOAL A framework for the co-management of park and natural resources is arranged at the target communes for pursuing sustainable management of BNBNP.	1 Agreements between the target communes and BNBNPMB on use and management of the area allocated to the target communes are concluded within three years of the project termination. 2 Within three years of the project termination, public announcements are made regarding government documents, such as ordinance and guidelines, to support the co-management. 3 The target communes continue to practice the activities introduced by the project.	Agreements Government documents BNBNP Annual Report	
PROJECT PURPOSE A model for the co-management of park and natural resources is developed at the target communes for pursuing sustainable management of BNBNP.	1 Drafts of agreements between the target communes and BNBNPMB on use and management of the area allocated to the target communes are made by the end of the project. 2 Drafts of government documents, such as ordinance and guidelines, to support the co-management are made by the end of the project.	Project Report Project Report	1 There is no significant change in natural environment of the park.
OUTPUTS 1 An implementation structure is developed and enhanced for implementation of the project. 2 A park and natural resource management plan in the target communes is formulated through the participation of the target communes.	1-1 Basic implementation approaches for the project are made within X months of the project commencement. 1-2 Working groups are formulated within X months of the project commencement. 1-3 The level of capacity of working groups members is improved with trainings organized by the project compared to before the trainings be provided. 2-1 Land and natural resource use maps are developed through the participation of the target communes within X months of the project commencement. 2-2 Park and natural resource management plans are developed based on the land and natural resource use maps prepared within X months of the project commencement.	Project Report Project Report Project Report Questionnaire Survey Interview Project Report Project Report	1 There is no significant change in upper level development plans, policies and laws. 2 There is no major change in the organizational structure, upper level plan, policy and regulations of BNBNPMB. 3 Economic situation does not deteriorate dramatically in the local context.

<p>3 A trial run of community-based ecotourism (CBET) is carried out by the target communes.</p>	<p>3-1 Implementation plan of CBET at the target communes (CBET program) is prepared within X month of the project commencement. 3-2 Number of visitors and income generated by the CBET program are kept on record. 3-3 Visitors' satisfaction of the CBET program is grasped and analyzed. 3-4 Results of the evaluation and recommendations on the CBET program are published.</p>	<p>Project Report Registration Book Questionnaire Survey Interview Project Report Workshop Report</p>	
<p>4 The environment-friendly farming techniques that can be accepted by the target communes are developed and ready for dissemination among the communes.</p>	<p>4-1 Environment-friendly farming techniques that are new to the target communes are identified. 4-2 More than X % out of all XX households at the target communes are likely to accept environment-friendly farming techniques introduced by the project. 4-3 Results of the evaluation and recommendations on the pilot site practices are published. 4-4 Plan for dissemination of environment-friendly farming techniques is made by the end of the project.</p>	<p>Project Report Questionnaire Survey Interview Project Report Workshop Report Project Report</p>	
<p>5 Issues to be addressed are clarified so that the target communes will be able to continuously operate a community-based ecotourism and practice the environment-friendly farming techniques introduced by the project.</p>	<p>5-1 Project Manager report issues to be addressed to Joint Coordinating Committee (JCC) until the project termination. 5-2 Necessary actions to be taken are considered at JCC in response to the report from Project Manager.</p>	<p>Project Report M/M agreed by JCC Project Report M/M agreed by JCC</p>	

ACTIVITIES	INPUTS	
<p>0-1 Conduct baseline surveys on basic information to be utilized for implementation, monitoring and evaluation of the project.</p> <p>0-2 Figure out traditional knowledge of the local people, in particular, of ethnic minority groups.</p> <p>0-3 Review and elaborate PO (ver.0) as well as objectively verifiable indicators.</p> <p>0-4 Monitor the progress of activities and important assumptions at the project regular meetings.</p> <p>0-5 Review the progress of activities and important assumptions at JCC, and make necessary modifications on PDM as well as PO.</p> <p>0-6 Carry out additional surveys to update information from the baseline surveys conducted as needed.</p> <p>0-7 Conduct an impact survey of the project on economy, society, culture and ecology.</p> <p>0-8 Establish a broad network and diverse partnerships with stakeholders.</p> <p>0-9 Consider possible options to finance the project activities so as to be continued.</p> <p>0-10 Send the project information out toward both relevant Vietnamese organizations and donors (for instance, FSSP: Forest Sector Support Program and Partnership) through making presentations at ad hoc meetings and/or workshops held by the project.</p> <p>1-1 Make and confirm basic implementation approaches for the project.</p> <p>1-2 Formulate Working Group (WG) for CBET and environment-friendly farming techniques.</p> <p>1-3 Enhance the capacity of WG through trainings.</p> <p>2-1 Select partner(s) for the field operations at the target communes.</p> <p>2-2 Grasp and analyze current situations on land and natural resource use at the target communes with the local people.</p> <p>2-3 Make a basic plan for natural resources management and use.</p> <p>3-1 Prepare an implementation plan of CBET (CBET program) at the target communes.</p> <p>3-2 Make necessary arrangements for conducting the CBET</p>	<p>Japanese Side Japanese Experts (long-term)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Co-management Advisor • Coordinator <p>Local Experts (long-term)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Community-based ecotourism • Environment-friendly farming technique <p>Japanese/Local Experts (short-term)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Project Cycle Management (PCM) • Socioeconomic survey • Participatory planning <p>(Other experts will be determined during the course of the project as needed.)</p> <p>Equipment and machinery</p> <p>Provision of training</p> <p>Local expense</p>	<p>1 Economic situation does not worsen drastically.</p> <p>2 An extensive wildfire does not occur.</p> <p>3 There is no significant transfer of counterpart personnel in WG.</p> <p>4 There is no plan of resettlement for the target communes.</p>
	<p>Vietnamese Side Counterpart Personnel</p> <ul style="list-style-type: none"> • Project Director • Project Manager • Staff of BNBPNPMB • Staff of DARD <p>Facility and equipment</p> <ul style="list-style-type: none"> • Project Office • Other facilities and equipment <p>Administrational and operational cost</p>	

<p>program.</p> <p>3-3 Carry out the CBET program on a trial basis.</p> <p>3-4 Evaluate on the CBET program.</p> <p>4-1 Prepare a program for introduction of environment-friendly farming techniques at the target communes.</p> <p>4-2 Provide local farmers who participate in the program with trainings for introduction of environment-friendly farming techniques.</p> <p>4-3 Make a plan for dissemination of environment-friendly farming techniques.</p> <p>4-4 Evaluate on the program.</p> <p>5-1 Consider necessary actions to be taken so as to continue the operation and practice of CBET as well as environment-friendly farming techniques at the target communes based on the results of 【3-4】 and 【4-4】.</p>		<p>PRECONDITIONS</p> <p>1 Local people reside within the park boundary.</p> <p>2 There is no plan of resettlement that makes all residents move out the park boundary.</p>
--	--	---

**MINUTES OF MEETINGS
BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
AND
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE SOCIALIST REPUBLIC OF VIET NAM
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION PROJECT
FOR
THE PROJECT FOR STRENGTHENING COMMUNITY-BASED
MANAGEMENT CAPACITY OF BIDOUP-NUI BA NATIONAL PARK**

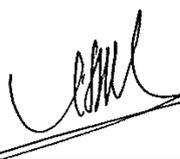
The Japanese detailed planning survey team (hereinafter referred to as “the Team”) organized by Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) and headed by Mr. Yasuhiro TOJO, visited the Socialist Republic of Viet Nam for the purpose of conducting the detailed planning survey on the Project for Strengthening Community-based Management Capacity of Bidoup-Nui Ba National Park (hereinafter referred to as “the Project”).

During its stay, both the Team and authorities concerned of the Socialist Republic of Viet Nam had a series of discussions and exchanged views on the Project based on the field observations. The both sides prepared the drafts of the Project Design Matrix (PDM), the Plan of Operation (PO), the Record of Discussions (R/D) and project management structure.

As a result of the discussions, the both sides agreed to the matters referred to in the documents attached hereto.



Mr. Yasuhiro Tojo
Leader,
Detailed Planning Survey Team,
Japan International Cooperation Agency



Dalat, December 12, 2008

Mr. Hoang Si Son
Vice Chairman,
The People’s Committee of Lam Dong Province



Mr. Le Van Huong
Director
Bidoup-Nui Ba National Park Management Board

The Attached Document

1. Draft of the PDM and the PO

The draft of the PDM (ver.0) and the PO (ver.0) were prepared as attached in Annex 1 and Annex

2. The PDM and the PO will be used as a management tool of the Project in general, and the version 0 of the PDM and the PO will be finalized by the time of signing of the R/D. They can be revised as needed in the course of the Project implementation with mutual consent of the both sides.

2. Draft of the Record of Discussions (R/D)

The Record of Discussions (R/D), which is the official document that defines contents of technical cooperation project, was prepared and confirmed through a series of discussions as attached in Annex 3. It will be finalized by the time of signing.

3. Project Management Structure

A chart of organizational structure was prepared through a series of discussions as Annex 4. It can be revised as needed with mutual consent of the both sides.

4. Target area of the Project

The team identified five villages as the potential target villages, which are administratively under the jurisdictions of three communes and one town in and around Bidoup-Nui Ba National Park. Finalizing the selection of target villages will be done in the course of the Project implementation based upon the results of a baseline survey that will be conducted at the beginning of the Project.

- (1) Dung K'si village and Klong Klanh village in Da Chais commune
- (2) Thon 1 village in Da Sar commune
- (3) Bnor B village in Lat commune
- (4) Bon Dung village in Lac Duong town

5. Schedule until the Project commencement

The following schedule is expected to come.

- (1) Signing of R/D: February to March, 2009
- (2) Commencement of the Project: June, 2009

6. Responsibility of the Vietnamese side

Vietnamese side promised to take following measures.

- (1) Until the signing of the R/D
 - (a) Decision of PPC to assign Vice Chairman as the Chairperson of JCC
 - (b) Assignment of the counterparts and administrative personnel
 - (c) Arrangement and procedure of formulating the Joint Coordinating Committee (JCC)
- (2) Until the beginning of the Project
 - (a) Provision of the Project office
 - (b) Earlier allocation of counter budget

List of Annexes

Annex 1: draft Project Design Matrix (PDM)

Annex 2: draft Plan of Operation (PO)

Annex 3: draft Record of Discussions (R/D)

Annex 4: project management structure



Project Title: The Project for Strengthening Community-based Management Capacity of Bidoup-Nui Ba National Park
Project Period: 2009 – 2013 (4 years)
Target Area: Five villages adjacent to the boundaries of Bidoup-Nui Ba National Park
Target Groups: Bidoup-Nui Ba National Park Management Board(BBNPMB) , Department of Agriculture and Rural Development (DARD), Five Target Villages

NARRATIVE SUMMARY	OBJECTIVELY VERIFIABLE INDICATORS	MEANS OF VERIFICATION	IMPORTANT ASSUMPTIONS
<p>OVERALL GOAL BBNPMB can manage natural resources in part of the national park with the target community groups in a collaborative manner and is ready to apply the model to other communities or villages in and around the park to conserve biodiversity of the national park.</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 Agreements between the target community groups¹ and BBNPMB on management of natural resources in part of the national park are concluded within three years after the end of the project. 2 Local government documents, such as decisions, guidelines, and plans, necessary for the community groups and BBNPMB to co-manage natural resources in part of the national park are proposed for approval of PPC within three years after the end of the project. 3 The target villages continue to practice the activities introduced by the project. 	<p>Agreements</p> <p>Government documents</p> <p>BBNBP Annual Report</p>	
<p>PROJECT PURPOSE The capacity of BBNPMB to manage natural resources in the national park is enhanced through development of a co-management model at the target villages.</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 Draft agreements between the target community groups and BBNPMB on management of natural resources in part of the national park are prepared by the end of the project. 2 Local government documents, such as decisions, guidelines, and plans, necessary for the community groups and BBNPMB to co-manage natural resources in part of the national park are drafted by the end of the project. 3 More than xx % of the BBNPMB staff who participate in the project understand how to implement the model of co-management of natural resources in the national park. 	<p>Project Report</p> <p>Project Report</p> <p>Interview/Questionnaire Survey</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 There is no significant change in natural environment of the park.
<p>OUTPUTS</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 An implementation structure is developed and enhanced for implementation of the project. 2 Basic principles / rules in management of natural resources in the 	<ol style="list-style-type: none"> 1-1 Basic implementation approaches for the project are made within X months after the commencement of the project. 1-2 Working groups are formulated within XX months after the commencement of the project. 1-3 The capacities of working groups members are enhanced through a series of training courses organized by the project as compared with those before the project. 2-1 Basic information of the target villages, including present 	<p>Project Report</p> <p>Project Report/ Decision</p> <p>Project Report Questionnaire Survey Interview</p> <p>Project Report / Map</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 There is no significant change in upper level development plans, policies and laws. 2 There is no major change in the organizational structure, upper

¹ "Target community groups" are the villagers' groups of communities/households who are living in the same village and willing to take part in the project.

NARRATIVE SUMMARY	OBJECTIVELY VERIFIABLE INDICATORS	MEANS OF VERIFICATION	IMPORTANT ASSUMPTIONS
<p>national park are developed and agreed on by the target community group and BBNPMB.</p>	<p>resource map of the village, is gathered and prepared in a participatory manner within XX months after the commencement of the project. 2-2 Rules and principles on natural resource use in the park are developed in a participatory manner within XX months from the commencement of the project.</p>	<p>Project Report / Plan</p>	<p>level plan, policy and regulations of BBNPMB. 3 Economic situation does not deteriorate dramatically in the local context.</p>
<p>3 A trial run of community-based ecotourism (CBET) is carried out at the selected sites.</p>	<p>3-1 Implementation plans of CBET at the selected sites are prepared within XX month from the commencement of the project. 3-2 More than XX % of the households who have engaged in the forest protection contract with BBNPMB take part in the component. 3-3 Institutional and infrastructure set-ups are developed for implementation of a trial run of CBET model within XX months from the commencement of the project. 3-4 More than XX % of visitors / guests are satisfied with the contents of the CBET model offered by the component. 3-5 Lessons learned and recommendations based on the evaluation of the trial run are shared with the relevant stakeholders.</p>	<p>Project Report / Plan Agreement made among three parties Project Report Questionnaire Survey Interview Workshop Report</p>	
<p>4 The ecologically-friendly livelihood options that can be accepted by the target communes are developed and ready for dissemination among the communes.</p>	<p>4-1 Ecologically-friendly livelihood options are identified with due consideration of social and environmental conditions of the target villages within XX month from the commencement of the project. 4-2 More than XX % of the members of the community groups are likely to accept the ecologically-friendly livelihood options introduced in the component. 4-3 Lessons learned and recommendations based on the evaluation of the trial run are shared with the relevant stakeholders. 4-4 An/A extension plan / promotion plan to disseminate the same options to other villagers as well as other villages is prepared</p>	<p>Project Report Questionnaire Survey Interview Workshop Report Project Report/Extension plan</p>	
<p>5 Issues to be addressed and actions to be taken are clarified so that the target community groups will be able to continuously operate a community-based ecotourism and/or practice the ecologically-friendly livelihood options introduced by the project.</p>	<p>5-1 Issues to be addressed and necessary actions/interventions to be taken are reported by the project management in Joint Coordinating Committee (JCC) by the end of the project. 5-2 An action plan with recommendations to the relevant organizations are approved by JCC by the end of the project.</p>	<p>Project Report M/M agreed by JCC Project Report M/M agreed by JCC</p>	

4

ACTIVITIES	INPUTS	Assumptions
<p>0-1 Conduct baseline surveys on basic information to be utilized for implementation, monitoring and evaluation of the project.</p> <p>0-1-1 Develop the TOR for the survey and invite possible local resources to a bid</p> <p>0-1-2 Select a/ contractor/s for the work</p> <p>0-1-3 Monitor the contractor's work</p> <p>0-1-4 Evaluate the data and information collected</p> <p>0-1-5 Figure out traditional knowledge and activities of local communities, especially ethnic minority groups, relating to their livelihoods as well as natural resource management.</p> <p>0-2 Formulate basic approaches to implementation of the project</p> <p>0-2-1 Review existing legislation, decrees, regulations, policies, and overall plans of the related sectors</p> <p>0-2-2 Collect and review any existing cases of community-based eco-tourism (CBET) and ecologically-friendly livelihood development/improvement activities in the country</p> <p>0-2-3 Draft basic approaches to introduction of CBET and ecologically-friendly livelihood development/improvement activities in BNBNP</p>	<p>Japanese Side</p> <p><u>Japanese Experts (long-term)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> Co-management Advisor Coordinator/Community Development <p><u>Local Experts (long-term)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> Community-based ecotourism Livelihood Development <p><u>Japanese/Local Experts (short-term)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> Project Cycle Management (PCM) Socioeconomic survey Participatory planning Sustainable resource management <p><u>Local Experts (Short-term)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> Office production Reforestation Marketing <p>(Other experts will be determined during the course of the project as needed.)</p> <p><u>Equipment and machinery</u></p> <p><u>Provision of training</u></p> <p><u>Local expense</u></p>	<p>1 Economic situation does not worsen drastically.</p> <p>2 An extensive wildfire does not occur.</p> <p>3 There is no significant transfer of counterpart personnel in WG.</p> <p>4 There is no plan of resettlement for the target communes.</p>
<p>0-3 Review and elaborate PDM (ver.0) and PO based on the results of the baseline survey and monitoring of important assumptions</p> <p>0-3-1 Review of PDM (Ver. 0) and PO</p> <p>0-3-2 Revised PDM if necessary</p> <p>0-3-3 Make up a detailed PO or an implementation plan of the entire project</p> <p>0-3-4 Present the revised PDM and detailed PO at JCC for concurrence of JCC</p> <p>0-4 Coordinate with the relevant stakeholders (Government agencies, INGOs, donors' on-going projects, and other Vietnamese organizations) and develop linkages with them</p> <p>0-4-1 Organize workshops at Hanoi and Dalat inviting relevant stakeholders and present the project plan to exchange views and suggestions on the project</p> <p>0-4-2 Develop a web-page of the project so that anyone can have</p>	<p>Vietnamese Side</p> <p><u>Counterpart Personnel</u></p> <ul style="list-style-type: none"> Chairperson of the Provincial Steering Committee Project Manager Staff of BNBNPMB Staff of DARD Staff of District Agriculture Center <p><u>Facility and equipment</u></p> <ul style="list-style-type: none"> Project office building Office facilities <p><u>Administrational and operational cost</u></p>	

Ver.0 As of December 12, 2008

ACTIVITIES	INPUTS	Assumptions
<p>the information of the project</p> <p>0-4-3 Establish a broad network to explore diverse partnerships with stakeholders</p> <p>1-1 Organize working groups (WGs) for implementation of CBET and extension of ecologically-friendly livelihood development options in the target villages</p> <p>1-1-1 Clarify and define the roles and responsibilities of the relevant divisions and sections under DARD of Lamdong Province</p> <p>1-1-2 Select staffs who can work for the project from the relevant sections and divisions of BBNPMB, DARD of Lamdong Province, and DPC (e.g., District Agriculture Center)</p> <p>1-1-3 Organize working groups and define the roles and responsibilities of the members of the groups</p> <p>1-2 Enhance the capacity of the working groups (WGs) to implement the project</p> <p>1-2-1 Conduct a training need assessment to identify the training needs of the members of WGs</p> <p>1-2-2 Develop a training / capacity development program for the members based on the results of training needs assessment</p> <p>1-2-3 Implement a training / capacity development program</p> <p>2-1 Assess, together with local communities, the current situation of the target villages in a participatory manner</p> <p>2-1-1 Develop the TOR for the survey and invite possible local resources to a bid</p> <p>2-1-2 Select a/ contractor/s for the work</p> <p>2-1-3 Organize and hold socialization and consultation meetings at the target villages to explain the project to local communities of the villages</p> <p>2-1-4 Select community members who would take part in the implementation of the project</p> <p>2-1-5 Conduct a household interview survey and PRA at the target villages</p> <p>2-1-6 Figure out the present natural and social conditions of the target villages, traditional knowledge and practices in natural resource use, issues in natural resources use and agricultural production, any development needs and potentials of the target villages</p> <p>2-2 Develop, together with local communities of the target villages, rules and principles on use of natural resources in the target</p>		

ACTIVITIES	INPUTS	Assumptions
<p>villages</p> <p>2-2-1 Develop a present land use and resource map of the target villages by using aerial photos or satellite images covering the target villages</p> <p>2-2-2 Identify the potential natural resources that can be used for CBET or ecologically-friendly livelihood support</p> <p>2-2-3 Develop rules and principles on use and management of natural resources in the national park so that local communities can gain economic benefits from the resources in a sustainable manner</p> <p>3-1 Select a local partner or contractor that can implement the CBET component on the ground</p> <p>3-2 Develop an implementation plan for a trial run of CBET at the target villages</p> <p>3-2-1 Select local communities/households who will take part in the CBET component considering the resource used for CBET and organize the selected households into group(s)</p> <p>3-2-2 Identify necessary activities for implementation of the CBET component together with the organized community group</p> <p>3-2-3 Identify necessary facilities / equipment / other infrastructure set-ups for implementation of the CBET component and confirm site conditions where the listed facilities / equipment are to be installed/built</p> <p>3-2-4 Develop a work plan including a construction plan for the CBET component in a participatory manner</p> <p>3-2-5 Estimate the total budget required for implementation of the CBET component</p> <p>3-2-6 Build a consensus among all the stakeholders on sharing cost as well as responsibilities in implementation of the CBET component</p> <p>3-3 Establish an institutional set-up for implementation of the CBET component and enhance the capacity of the organized community group to participate in the CBET component</p> <p>3-3-1 Develop a training plan for the members of the community group so that they can take part in the CBET component</p> <p>3-3-2 Organize a variety of training courses for the members in accordance with the training plan</p> <p>3-3-3 Set up fees to be collected from a guest (e.g. payment to a guide, accommodation fee, etc.) in a participatory manner</p> <p>3-3-4 Build a consensus among the stakeholders on sharing</p>		

7

Ver.0 As of December 12, 2008

ACTIVITIES	INPUTS	Assumptions
<p>benefits gained from implementation of the CBET component</p> <p>3-3-5 Construct/install facilities / equipment as planned in [3-2] by the project</p> <p>3-3-6 Make a rule on use of facilities and equipment provided under the CBET component and make an agreement among the community group, BNBPNMB and the project</p> <p>3-3-7 Formulate a marketing strategy for a CBET model (e.g., preparation of simple advertising materials, namely brochure and flyer)</p> <p>3-3-8 Make a contingency plan in preparation of any accidents during implementation of the CBET component</p> <p>3-4 Make a trial run of CBET</p> <p>3-4-1 Assist the target community group in the implementation of a CBET model on trial</p> <p>3-4-2 Check the satisfactory level of guests by using a simple questionnaire</p> <p>3-4-3 Monitor the progress of the component periodically and provide necessary technical assistance to the community group as well as the NGO(s)</p> <p>3-5 Evaluate the component implemented</p> <p>3-5-1 Develop an evaluation plan to evaluate the CBET component together with the working group</p> <p>3-5-2 Organize separate evaluation workshops with the community group and BNBPNMB, respectively</p> <p>3-5-3 Draw lessons learned and present recommendations</p> <p>4-1 Identify ecologically-friendly livelihood options introduced in the target villages</p> <p>4-1-1 Assess the present constraints on agricultural production</p> <p>4-1-2 Short-list the possible livelihood options to be introduced in the target village based on the land use and resource map prepared in [2-2]</p> <p>4-1-3 Assess the possible options easiness, applicability, economic impact, environmental impact, and demonstration effect together with local communities</p> <p>4-1-4 Select the ecologically-friendly livelihood options to be introduced in the target villages</p> <p>4-2 Develop a work plan to introduce ecologically-friendly livelihood support options in the target village</p> <p>4-2-1 Select local communities / households who participate in the program and organize them into a group at each village</p>		

Handwritten marks

Handwritten mark

Handwritten mark

ACTIVITIES	INPUTS	Assumptions
<p>4-2-2 Select core members for demonstration purposes and define the roles and responsibilities of the members of the groups</p> <p>4-2-3 Make a work plan including a hands-on training together with the community group defining responsible persons/bodies for each activity of the work plan and make an agreement among the community group, the work group and the project</p> <p>4-2-4 Facilitate the discussion of sharing benefits/products gained in the program among the members</p> <p>4-2-5 Estimate the total cost necessary for implementation of the component</p> <p>4-3a Organized hand-on training (Field Farmers' schools: FFSs) in the plots of the core members (If the proposed livelihood option is the improvement of agricultural production such as coffee)</p> <p>4-3a-1 Organize study tours for the community group as well as core members (In the case where only the core members are taken to a study tour, a feedback meeting should be organized to share the results of the study tour with other members.)</p> <p>4-3a-2 Organize a series of hands-on training courses (Field Farmers' Schools: FFSs) at the demonstration plots</p> <p>4-3a-3 Provide necessary materials so that other group members could introduce the farming techniques demonstrated in FFSs</p> <p>4-3a-4 Organize an annual monitoring work shop with each community group</p> <p>4-3b Develop (a) demonstration plot(s) on reforestation of indigenous tree species in coffee plantations located within the boundaries of the national park (If the proposed livelihood option is the introduction of a reforestation program in the national park)</p> <p>4-3b-1 Identify indigenous tree species suitable for the area and procure seedlings</p> <p>4-3b-2 Make a three-year contract with the community group or core members for reforestation and maintenance of the plantation</p> <p>4-3b-3 Monitor the plantation and maintenance activities from time to time</p> <p>4-3b-4 Evaluate the survival rate of indigenous tree species planted in the demonstration plots</p> <p>4-3c Organize hand-on training on livelihood options (If the proposed livelihood option is the production of cottage industry, such as handicraft)</p>		

Ver.0 As of December 12, 2008

ACTIVITIES	INPUTS	Assumptions
<p>4-3c-1 Organize study tours for the community group as well as core members (In the case where only the core members are taken to a study tour, a feedback meeting should be organized to share the results of the study tour with other members.)</p> <p>4-3c-2 Organize a series of hands-on training courses on the proposed livelihood options</p> <p>4-3c-3 Provide necessary materials so that other group members could introduce the techniques demonstrated in hands-on training</p> <p>4-3c-4 Conduct a research to market the products to be produced under the component</p> <p>4-3c-5 Organize an annual monitoring work shop with each community group</p> <p>4-4 Evaluate the component implemented</p> <p>4-4-1 Develop an evaluation plan to evaluate the ecologically-friendly livelihood support component together with the working group</p> <p>4-4-2 Organize separate evaluation workshops with the community group and BBNPMB, respectively</p> <p>4-4-3 Draw lessons learned and present recommendations</p> <p>4-5 Develop an/a extension plan / promotion plan to disseminate the same options to other villagers</p> <p>4-5-1 Identify potential difficulties in disseminating the options/techniques to other villages</p> <p>4-5-2 Develop a manual for application of the ecologically-friendly livelihood options so that other local communities in the target villages as well as other villages around the park could introduce such options/techniques in their own farms/plots</p> <p>4-5-3 Formulate a marketing strategy to sell NTFPs / handicrafts / other products produced in the component (Simultaneously examine the possibility of the linkage with the CBET program, such as green tourism and souvenirs)</p> <p>4-3-4 Draft an extension/promotion plan for promotion of the ecologically-friendly livelihood options in the buffer zone of the park</p> <p>5-1 Based on the results of the evaluation workshops in [3-5] and [4-4], draw necessary actions to be taken for the target villages to continue the CBET and ecologically-friendly livelihood support</p>		

ACTIVITIES	INPUTS	ASSUMPTIONS
<p>components even after the end of the project</p> <p>5-1-1 Identify necessary government support (e.g., any legislative arrangement for allocation of long-term resource use rights to the communes, an investment plan to support the target community group as well as other communities to continuously apply the ecologically-friendly livelihood options, etc.)</p> <p>5-1-2 Identify necessary training or capacity development activities for the target community groups to continue the components and manage natural resources in accordance with the rules/principles defined in [2.2]</p> <p>5-1-3 Explore possible funding sources for the target community groups to continue the components</p>		<p>PRECONDITIONS</p> <p>1. Local communities who reside adjacent to the boundaries or currently use natural resources in BNBNP are willing to participate in the project.</p> <p>2. There is no plan of resettlement that makes all residents move out the park boundary.</p>

//

As of December 12, 2008

Ver.0

Plan of Operation (Draft)

Outputs No. Summary	Activities No. Summary	Timeframe																Responsible agencies/bodies
		1st year				2nd year				3rd year				4th year				
		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
0																		JICA Project Team
	0-1 Conduct a baseline survey on basic information to be utilized for implementation, monitoring and evaluation of the project.																	JICA Project Team, BNBPNPMB, DARD
	0-2 Formulate basic approaches to implementation of the project																	JICA Project Team, BNBPNPMB, DARD
	0-3 Review and elaborate PDM (ver.0) and PO based on the results of the baseline survey and monitoring of important assumptions																	JICA Project Team, BNBPNPMB, DARD
	0-4 Coordinate with the relevant stakeholders (Government agencies, INGOs, donors' on-going projects, and other Vietnamese organizations) and develop linkages with them																	JICA Project Team, BNBPNPMB, DARD
1	An implementation structure is developed and enhanced for implementation of the project.																	JICA Project Team, BNBPNPMB, DARD
2	Basic principles / rules in management of natural resources in the national park are developed and agreed on by the target community group and BNBPNPMB.																	JICA Project Team, DARD
3	A trial run of community-based ecotourism (CBET) is carried out at the selected sites.																	JICA Project Team
																		JICA Project Team, BNBPNPMB, Contractor, Community groups
																		JICA Project Team, BNBPNPMB
																		JICA Project Team, BNBPNPMB, Contractor, Community groups
																		JICA Project Team, BNBPNPMB, Contractor, Community groups
																		JICA Project Team, BNBPNPMB, Contractor, Community groups

[Handwritten signature]

12

[Handwritten signature]

Plan of Operation (Draft)

Ver.0

As of December 12, 2008

Outputs No. Summary	Activities No. Summary	Timeframe																Responsible agencies/bodies		
		1st year				2nd year				3rd year				4th year						
		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4			
4	The ecologically-friendly livelihood options that can be accepted by the target communes are developed and ready for dissemination among the communes.	4-1	Identify ecologically-friendly livelihood options introduced in the target villages																	JICA Project Team, BNBPNMB, DARD
		4-2	Develop a work plan to introduce ecologically-friendly livelihood support options in the target village																	JICA Project Team, BNBPNMB, DARD, Contractor, Community groups
		4-3a	Organized a hand-on training (Field Farmers' schools: FFSS) in the plots of the core members (If the proposed livelihood option is the improvement of agricultural production such as coffee)																	JICA Project Team, BNBPNMB, DARD, Contractor, Community groups
		4-3b	Develop (a) demonstration plot(s) on reforestation of indigenous tree species in coffee plantations located within the boundaries of the national park (If the proposed livelihood option is the introduction of a reforestation program in the national park)																	JICA Project Team, BNBPNMB, DARD, Contractor, Community groups
		4-3c	Organized a hand-on training on livelihood options (if the proposed livelihood option is the production of cottage industry, such as handicraft)																	JICA Project Team, BNBPNMB, DARD, Contractor, Community groups
		4-4	Evaluate the component implemented																	JICA Project Team, BNBPNMB, DARD, Contractor, Community groups
		4-5	Develop an/a extension plan / promotion plan to disseminate the same options to other villagers as well as other villages																	JICA Project Team, BNBPNMB, DARD, Contractor, Community groups
5	Issues to be addressed and actions to be taken are clarified so that the target community groups will be able to continuously operate a community-based ecotourism and/or practice the ecologically-friendly livelihood options introduced by the project	5-1	Based on the results of the evaluation workshops in [3-5] and [4-4], draw necessary actions to be taken for the target communes to continue the CBET and ecologically-friendly livelihood support components even after the end of the project																	JICA Project Team, BNBPNMB, DARD

(DRAFT)

Annex 3

**RECORD OF DISCUSSIONS
BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
AND
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE SOCIALIST REPUBLIC OF VIET NAM
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION PROJECT
FOR
THE PROJECT FOR STRENGTHENING COMMUNITY-BASED
MANAGEMENT CAPACITY OF BIDOUP-NUI BA NATIONAL PARK**

In response to the request of the Government of Viet Nam, the Government of Japan has decided to cooperate Japan-Viet Nam Technical Cooperation Project: the Project for Strengthening Community-based Management Capacity of Bidoup-Nui Ba National Park (hereinafter referred to as “the Project”) in accordance with the Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the Government Viet Nam, signed on October 20, 1998, (hereinafter referred to as “the Agreement”).

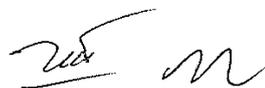
Accordingly, Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred as to “JICA”), the official agency responsible for the implementation of the technical cooperation project of the Government of Japan, will cooperate with the authorities concerned of the Government of Viet Nam for the Project. JICA and the Vietnamese authorities concerned had a series of discussions on the framework of the Project. As a result of the discussions, JICA and the Vietnamese authorities concerned agreed on the matters referred to in the document attached hereto.

Dalat, February , 2009

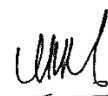
Mr. Motonori Tsuno
Resident Representative,
Viet Nam Office,
Japan International Cooperation Agency

Mr. Hoang Si Son
Vice Chairman,
The People’s Committee of Lam Dong Province

Mr. Le Van Huong
Director
Bidoup-Nui Ba National Park Management Board



14



(DRAFT)

THE ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION BETWEEN JICA AND VIETNAMESE GOVERNMENT

1. The Government of Socialist Republic of Viet Nam will implement the Project in cooperation with the Government of Japan.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan given in ANNEX I.

II. MEASURES TO BE TAKEN BY JICA

In accordance with the laws and regulations in force in Japan and the provisions of Article III of the Agreement, JICA, as the executing agency for technical cooperation by the Government of Japan, will take, at its own expenses, the following measures according to the normal procedures of its technical cooperation scheme.

1. EMPLOYMENT OF JAPANESE AND OTHER EXPERTS

JICA will provide the services of Japanese experts as well as Vietnamese and/or international experts as listed in ANNEX II.

2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

JICA will provide such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as “the Equipment”) necessary for the implementation of the Project as listed in ANNEX III. The provision of the Agreement will be applied to the Equipment.

3. TRAINING OF VIETNAMESE PERSONNEL IN JAPAN

JICA will receive the Vietnamese personnel connected with the Project for training in Japan.

III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF VIETNAM

1. The Government of Viet Nam will take necessary measures to ensure that the self-reliant operation of the Project will be sustained during and after the period of Japanese technical cooperation, through full and active involvement in the Project by all related authorities, beneficiary groups and institutions.
2. In accordance with the provisions of Article IV of the Agreement, the Government of Viet



15



(DRAFT)

Nam will ensure that the technologies and knowledge acquired by the Vietnamese side as a result of Japanese technical cooperation will contribute to the sustainable economic and social development of Viet Nam.

3. In accordance with the provision of Article VI of the Agreement, the Government of Viet Nam will grant in Vietnamese privileges, exemptions and benefits to the Japanese experts referred to in II-1 above and their families.
4. In accordance with the provisions of Article VIII of the Agreement, the Government of Viet Nam will ensure that the Equipment referred to in II-2 above will be utilized effectively for the implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to in ANNEX II.
5. The Government of Viet Nam will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Vietnamese personnel from technical training in Japan will be utilized effectively in the implementation of the Project.
6. In accordance with the provision of Article V of the Agreement, the Government of Viet Nam will take necessary measures to provide at its own expense for the Project:
 - (1) Service of the Vietnamese counterpart personnel and administrative personnel as listed in ANNEX IV.
 - (2) Buildings and facilities as listed in ANNEX V.
 - (3) Supply or replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools other than the Equipment provided through JICA under II-2 above.
 - (4) Means of transport and travel allowance for Japanese experts for official trips required by the Vietnamese side in Viet Nam.
 - (5) Assistance to find suitable furnished accommodations for the Japanese experts and their families.
7. In accordance with the provision of Article VIII of the Agreement, the Government of Viet Nam will take necessary measures to meet:
 - (1) Expenses necessary for transportation within Viet Nam of the Equipment referred to in II-2 above as well as for the installation, operation and maintenance thereof.
 - (2) Customs duties, internal taxes and any other charges imposed in Viet Nam on the Equipment referred to in II-2 above.
 - (3) Running expenses necessary for the implementation of the Project.



16



(DRAFT)

IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. Vice Chairman of the People's Committee of Lam Dong Province, as the Chairperson of the Provincial Steering Committee¹, will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project.
2. Director of Bidoup-Nui Ba National Park Management Board, as the Project Manager, will be responsible for the managerial and technical matters of the Project.
3. Director of Department of Agriculture and Rural Development in Lam Dong Province will provide necessary assistance for the Project on any matters pertaining to the implementation of the Project.
4. The Japanese Co-management Advisor will provide necessary recommendations and advice to the Chairperson of the Provincial Steering Committee and the Project Manager on any matters pertaining to the implementation of the Project.
5. The Japanese and other experts will give necessary technical guidance and advice to Vietnamese counterpart personnel on technical matters pertaining to the implementation of the Project.
6. For the effective and successful implementation of technical cooperation for the Project, a Joint Coordinating Committee will be established whose functions and composition are described in ANNEX VI.

V. JOINT EVALUATION

Evaluation of the Project will be conducted jointly by the two Governments through JICA and the Vietnamese authorities concerned, at the middle and during the last six months of the cooperation term in order to examine the level of achievement.

VI. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

¹ The Provincial Steering Committee is to be established within Vietnamese side to direct, coordinate, supervise and facilitate the Project in order to ensure that the Project is to be implemented according to Vietnamese laws and terms of Japanese technical cooperation.



(DRAFT)

In accordance with the provision of Article VIII of the Agreement, the Government of Viet Nam undertakes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in Viet Nam except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

VII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between JICA and Vietnamese Government on any major issues arising from, or in connection with this attached document.

VIII. MEASURES TO PROMOTE UNDERSTANDING AND SUPPORT FOR THE PROJECT

For the purpose of promoting support for the Project among the people of Viet Nam, the Government of Viet Nam will take appropriate measures to make the Project widely known to the people of Viet Nam.

IX. TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project under this attached document will be four (4) years from June 2009.

- ANNEX I MASTER PLAN
- ANNEX II LIST OF JAPANESE AND OTHER EXPERTS
- ANNEX III LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT
- ANNEX IV LIST OF VIETNAMESE COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL
- ANNEX V LIST OF BUILDINGS AND FACILITIES
- ANNEX VI JOINT COORDINATING COMMITTEE



18



(DRAFT)

ANNEX I: MASTER PLAN

1. Project Title

The Project for Strengthening Community-based Management Capacity of Bidoup-Nui Ba National Park

2. Objectives of the Project

(1) Overall Goal

BNBNPMB can manage natural resources in part of the national park with the target community groups in a collaborative manner and is ready to apply the model to other communities or villages in and around the park to conserve biodiversity of the national park.

(2) Project Purpose

The capacity of BNBNPMB to manage the natural resources in the national park is enhanced through development of a co-management model at the target villages.

3. Outputs of the Project

- (1) An implementation structure is developed and enhanced for implementation of the project.
- (2) Basic principles / rules in management of natural resources in the national park are developed and agreed on by the target community group and BNBNPMB.
- (3) A trial run of community-based ecotourism (CBET) is carried out at the selected sites.
- (4) The ecologically-friendly livelihood options that can be accepted by the target communes are developed and ready for dissemination among the communes.
- (5) Issues to be addressed and actions to be taken are clarified so that the target community groups will be able to continuously operate a community-based ecotourism and/or practice the ecologically-friendly livelihood options introduced by the project.

4. Activities of the Project

- 0-1 Conduct baseline surveys on basic information to be utilized for implementation, monitoring and evaluation of the project.
 - 0-2 Formulate basic approaches to implementation of the project
 - 0-3 Review and elaborate PDM (ver.0) and PO based on the results of the baseline survey and monitoring of important assumptions
 - 0-4 Coordinate with the relevant stakeholders (Government agencies, INGOs, donors' on-going projects, and other Vietnamese organizations) and develop linkages with them
-
- 1-1 Organize working groups (WGs) for implementation of CBET and extension of



19



(DRAFT)

ecologically-friendly livelihood options in the target villages

- 1-2 Enhance the capacity of the working groups (WGs) to implement the project

- 2-1 Assess, together with local communities, the current situation of the target villages in a participatory manner
- 2-2 Develop, together with local communities of the target villages, rules and principles on use of natural resources in the target villages

- 3-1 Select a local partner or contractor that can implement the CBET component on the ground
- 3-2 Develop an implementation plan for a trial run of CBET at the target villages
- 3-3 Establish an institutional set-up for implementation of the CBET program and enhance the capacity of the organized community group to participate in the CBET component
- 3-4 Make a trial run of CBET
- 3-5 Evaluate the component implemented

- 4-1 Identify ecologically-friendly livelihood options introduced in the target villages
- 4-2 Develop a work plan to introduce ecologically-friendly livelihood options in the target village
- 4-3a Organized a hand-on training (Field Farmers' schools: FFSS) in the plots of the core members (If the proposed livelihood option is the improvement of agricultural production such as coffee)
- 4-3b Develop (a) demonstration plot(s) on reforestation of indigenous tree species in coffee plantations located within the boundaries of the national park (If the proposed livelihood option is the introduction of a reforestation program in the national park)
- 4-3c Organized a hand-on training on livelihood options (If the proposed livelihood option is the production of cottage industry, such as handicraft)
- 4-4 Evaluate the component implemented
- 4-5 Develop an/a extension plan / promotion plan to disseminate the same options to other villagers as well as other villages

- 5-1 Based on the results of the evaluation workshops in [3-5] and [4-4], draw necessary actions to be taken for the target villages to continue the CBET and ecologically-friendly livelihood support components even after the end of the project



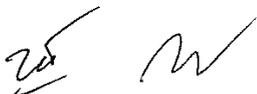

(DRAFT)

The following five villages, which are administratively under the jurisdictions of three communes and one town, were identified as the potential target villages for the project.

- (1) Dung K'si village and Klong klanh village in Da Chais commune
- (2) Thon 1 village in Da Sar commune
- (3) Bnor B village in Lat commune
- (4) Bon dung village in Lac Duong town

The target villages will be selected among the potential villages based upon the results of a baseline survey that will be carried out in the beginning of the project.

Note: In case in which the Master Plan should be changed due to the changes of the situations/environment of the Project, both Governments will agree upon and confirm the necessary changes by exchanging Minutes of Meetings.



21



(DRAFT)

ANNEX II: LIST OF JAPANESE AND OTHER EXPERTS

The Project experts, who are in charge of the following fields, will be employed:

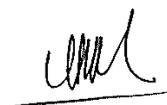
[Long-term assignment]

1. Co-management Advisor (Japanese expert)
2. Coordinator/Community Development (Japanese expert)
3. Community-based Ecotourism (Vietnamese and/or international experts)
4. Livelihood Development (Vietnamese and/or international experts)

[Short-term assignment]

5. Project Cycle Management (Japanese and/or Vietnamese experts)
6. Socioeconomic Survey (Japanese and/or Vietnamese experts)
7. Participatory Planning (Japanese and/or Vietnamese experts)
8. Sustainable Resource Management (Japanese and/or Vietnamese experts)
9. Coffee production (Vietnamese experts)
10. Reforestation (Vietnamese experts)
11. Marketing (Vietnamese experts)

Note: The field and number of short-term experts are subject to change according to the Project activity and available budget.



(DRAFT)

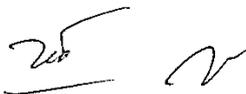
ANNEX III: LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT

Part of machinery and equipment necessary for the effective implementation of the Project will be provided by the Japanese side within the budget allocated for technical cooperation. Main items of machinery and equipment to be provided are as follows:

1. Community-based Visitor Center
2. Vehicle
3. Motor bike
4. GPS
5. Binocular
6. Personal computer
7. Photo copy machine
8. Printer
9. Projector
10. Transceiver
11. Generator
12. Others

Note:

- (1) Item and quantity are contingent upon available budget.
- (2) The use of these items is limited to the Project activities.
- (3) Detail contents, specifications and quantity of the above mentioned equipment will be decided through mutual consultations within the budget to be allocated for every Japanese fiscal year.



23



(DRAFT)

ANNEX IV: LIST OF VIETNAMESE COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

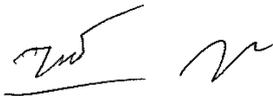
1. Vietnamese Counterpart

- (1) Chairperson of the Provincial Steering Committee is to be Vice Chairman of the People's Committee of Lam Dong Province.
- (2) Project Manager are to be Director of Bidoup-Nui Ba National Park Management Board.
- (3) Other project counterparts to be assigned are composed of Bidoup-Nui Ba National Park, Department of Agriculture and Rural Development, Agricultural Extension Center at province and district levels, and the People's Committee of Lam Dong Province including relevant district and/or commune people's committees.

Note: Responsibility of each counterpart to be assigned will be determined according to the Plan of Operation.

2. Administrative personnel

- (1) Administrative staff
- (2) Secretaries/Typists
- (3) Clerks
- (4) Drivers
- (5) Other supporting staff necessary for the Project implementation



JK



(DRAFT)

ANNEX V: LIST OF BUILDINGS AND FACILITIES

The following will be prepared by the Government of Viet Nam for the Project implementation.

1. Buildings and rooms, and facilities
 - (1) Project Office including furniture in the headquarters of Bidoup-Nui Ba National Park
 - (2) Electricity, water supply and necessary telecommunication facilities including telephone, facsimile and e-mail services (domestic)



25



(DRAFT)

ANNEX VI: JOINT COORDINATING COMMITTEE

1. Function

The Joint Coordinating Committee will meet at least once a year or whenever necessity arises, and will work:

- (1) To monitor the progress of the Project activities according to the Plan of Operation (PO),
- (2) To review and examine the framework of the Project according to the Project Design Matrix (PDM),
- (3) To discuss and advise on major issues that arise during the Project period, and
- (4) To approve an Annual Plan of Operation (APO).

2. Member of the committee

The committee will be composed of the chair, the members and the observers. The chair may declare closed sessions against the observers. The rules and guidelines for the management of the committee will be determined at the initial stage of the Project.

(1) Chairperson

Vice Chairman, People's Committee of Lam Dong Province

(2) Vietnamese side

- Director General, Forest Protection Department, Ministry of Agriculture and Rural Development
- Director of Biodiversity Conservation Agency, Vietnam Environment Administration, Ministry of Natural Resources and Environment
- Director, Department of Agriculture and Rural Development in Lam Dong Province
- Director, Department of Planning and Investment in Lam Dong Province
- Director, Department of Culture, Sports and Tourism in Lam Dong Province
- Director, Bidoup-Nui Ba National Park Management Board
- President, Vietnam National Parks and Protected Areas Association

(3) Japanese side

- Co-management Advisor
- Coordinator/Community Development
- Experts appointed by the Co-management Advisor
- Resident Representative, JICA Viet Nam Office
- Personnel to be dispatched by JICA, if necessary

(DRAFT)

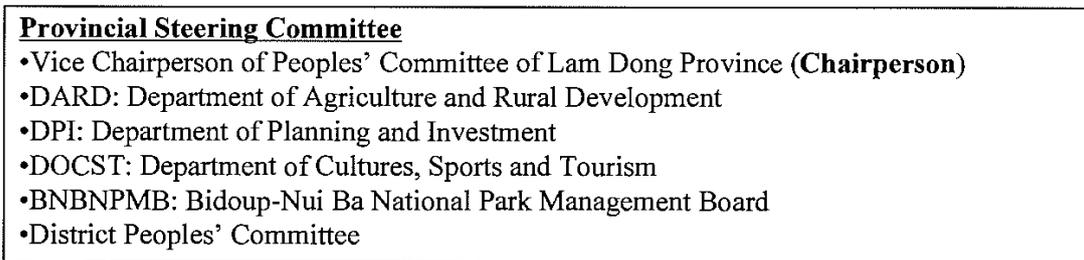
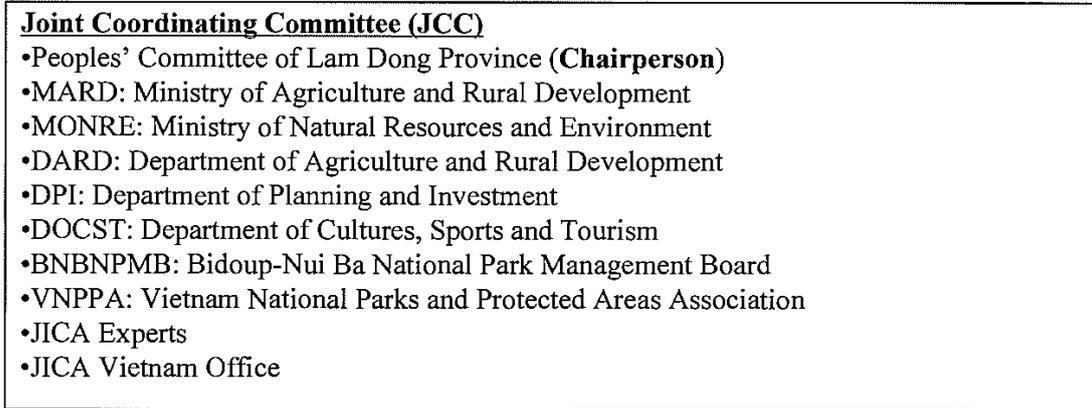
Note: Official(s) of Embassy of Japan may attend the Joint Coordinating Committee meeting as observer(s). The Chairperson can name new members or request the attendance of other participants, as necessary, upon agreement of the Committee.

25 m

27

AMEL

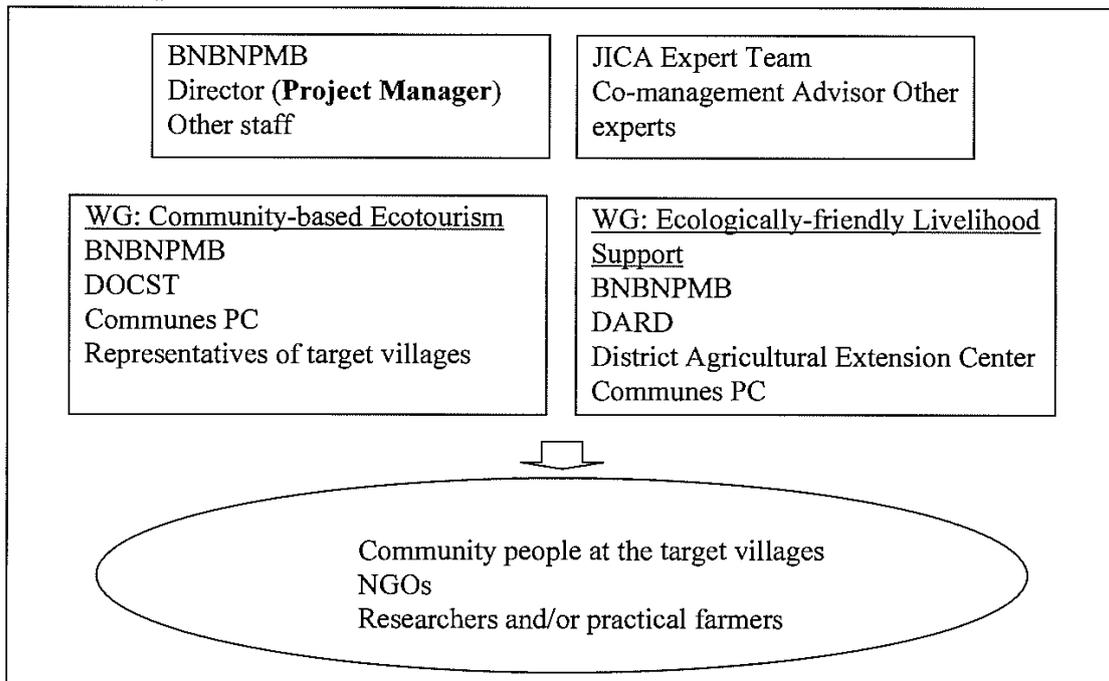
Project Management Structure



*1: JICA Experts will participate in the steering committee as observers.



Project Implementation Unit



RECORD OF DISCUSSIONS
BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
AND
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE SOCIALIST REPUBLIC OF VIET NAM
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION PROJECT
FOR
THE PROJECT FOR STRENGTHENING COMMUNITY-BASED
MANAGEMENT CAPACITY OF BIDOUP-NUI BA NATIONAL PARK

In response to the request of the Government of Viet Nam, the Government of Japan has decided to cooperate Japan-Viet Nam Technical Cooperation Project: the Project for Strengthening Community-based Management Capacity of Bidoup-Nui Ba National Park (hereinafter referred to as "the Project") in accordance with the Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the Government Viet Nam, signed on October 20, 1998, (hereinafter referred to as "the Agreement").

Accordingly, Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), the official agency responsible for the implementation of the technical cooperation project of the Government of Japan, will cooperate with the authorities concerned of the Government of Viet Nam for the Project. JICA and the Vietnamese authorities concerned had a series of discussions on the framework of the Project. As a result of the discussions, JICA and the Vietnamese authorities concerned agreed on the matters referred to in the document attached hereto.

Hanoi, 24 September 2009



Mr. Motonori Tsuno
Chief Representative
Viet Nam Office,
Japan International Cooperation Agency



Mr. Hoang Si Son
Vice Chairman
The People's Committee of Lam Dong Province



Mr. Le Van Huong
Director
Bidoup-Nui Ba National Park Management Board

THE ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION BETWEEN JICA AND VIETNAMESE GOVERNMENT

1. The Government of Socialist Republic of Viet Nam will implement the Project in cooperation with the Government of Japan.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan given in ANNEX I.

II. MEASURES TO BE TAKEN BY JICA

In accordance with the laws and regulations in force in Japan and the provisions of Article III of the Agreement, JICA, as the executing agency for technical cooperation by the Government of Japan, will take, at its own expenses, the following measures according to the normal procedures of its technical cooperation scheme.

1. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

JICA will provide the services of Japanese experts as listed in ANNEX II.

2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

JICA will provide such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project as listed in ANNEX III. The provision of the Agreement will be applied to the Equipment.

3. TRAINING OF VIETNAMESE PERSONNEL IN JAPAN

JICA will receive the Vietnamese personnel connected with the Project for training in Japan.

III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF VIET NAM

1. The Government of Viet Nam will take necessary measures to ensure that the self-reliant operation of the Project will be sustained during and after the period of Japanese technical cooperation, through full and active involvement in the Project by all related authorities, beneficiary groups and institutions.
2. In accordance with the provisions of Article IV of the Agreement, the Government of Viet Nam will ensure that the technologies and knowledge acquired by the Vietnamese side as a

result of Japanese technical cooperation will contribute to the sustainable economic and social development of Viet Nam.

3. In accordance with the provision of Article VI of the Agreement, the Government of Viet Nam will grant in Vietnamese privileges, exemptions and benefits to the Japanese experts referred to in II-1 above and their families.
4. In accordance with the provisions of Article VIII of the Agreement, the Government of Viet Nam will ensure that the Equipment referred to in II-2 above will be utilized effectively for the implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to in ANNEX II.
5. The Government of Viet Nam will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Vietnamese personnel from technical training in Japan will be utilized effectively in the implementation of the Project.
6. In accordance with the provision of Article V of the Agreement, the Government of Viet Nam will take necessary measures to provide at its own expense for the Project:
 - (1) Service of the Vietnamese counterpart personnel and administrative personnel as listed in ANNEX IV.
 - (2) Buildings and facilities as listed in ANNEX V.
 - (3) Supply or replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools other than the Equipment provided through JICA under II-2 above.
 - (4) Means of transport and travel allowance for Japanese experts for official trips required by the Vietnamese side in Viet Nam.
 - (5) Assistance to find suitable furnished accommodations for the Japanese experts and their families.
7. In accordance with the provision of Article VIII of the Agreement, the Government of Viet Nam will take necessary measures to meet:
 - (1) Expenses necessary for transportation within Viet Nam of the Equipment referred to in II-2 above as well as for the installation, operation and maintenance thereof.
 - (2) Customs duties, internal taxes and any other charges imposed in Viet Nam on the Equipment referred to in II-2 above.
 - (3) Running expenses necessary for the implementation of the Project.

IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. Vice Chairman of the People's Committee of Lam Dong Province, as the Chairperson of the Provincial Steering Committee¹, will provide necessary support and coordination with other organizations to facilitate effective implementation of the Project.
2. Director of Bidoup-Nui Ba National Park Management Board (BNBNPMB), as the Project Director, will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project. The Project Director will appoint the Project Manager who will be responsible for the managerial and technical matters of the Project.
3. Director of Department of Agriculture and Rural Development in Lam Dong Province will provide necessary assistance for the Project on any matters pertaining to the implementation of the Project.
4. The Japanese Co-management Advisor will provide necessary recommendations and advice to the Chairperson of the Provincial Steering Committee, the Project Director and the Project Manager on any matters pertaining to the implementation of the Project.
5. The Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to Vietnamese counterpart personnel on technical matters pertaining to the implementation of the Project.
6. For the effective and successful implementation of technical cooperation for the Project, a Joint Coordinating Committee will be established whose functions and composition are described in ANNEX VI.

V. JOINT EVALUATION

Evaluation of the Project will be conducted jointly by the two Governments through JICA and the Vietnamese authorities concerned, at the middle and during the last six months of the cooperation term in order to examine the level of achievement.

¹ The Provincial Steering Committee is to be established within Vietnamese side to direct, coordinate, supervise and facilitate the Project in order to ensure that the Project is to be implemented according to Vietnamese laws and terms of Japanese technical cooperation.

VI. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

In accordance with the provision of Article VIII of the Agreement, the Government of Viet Nam undertakes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in Viet Nam except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

VII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between JICA and Vietnamese Government on any major issues arising from, or in connection with this attached document.

VIII. MEASURES TO PROMOTE UNDERSTANDING AND SUPPORT FOR THE PROJECT

For the purpose of promoting support for the Project among the people of Viet Nam, the Government of Viet Nam will take appropriate measures to make the Project widely known to the people of Viet Nam.

IX. TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project under this attached document will be four (4) years from the first day of the dispatch of Japanese expert(s) to Viet Nam.

- ANNEX I MASTER PLAN
- ANNEX II LIST OF JAPANESE EXPERTS
- ANNEX III LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT
- ANNEX IV LIST OF VIETNAMESE COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL
- ANNEX V LIST OF BUILDINGS AND FACILITIES
- ANNEX VI JOINT COORDINATING COMMITTEE
- ANNEX VII PROJECT DESIGN MATRIX (PDM)
- ANNEX VIII PLAN OF OPERATION (PO)
- ANNEX IX PROJECT MANAGEMENT STRUCTURE

ANNEX I: MASTER PLAN

1. Project Title

The Project for Strengthening Community-based Management Capacity of Bidoup-Nui Ba National Park.

2. Objectives of the Project

(1) Overall Goal

BNBNPMB can manage natural resources in part of the national park with the target community groups of the target villages in a collaborative manner.

(2) Project Purpose

The capacity of BNBNPMB to manage the natural resources in the national park is enhanced through development of a co-management model at the target villages.

3. Outputs of the Project

- (1) Implementation structure for the two components to be introduced by the project (community-based ecotourism and ecologically-friendly livelihood options) is established.
- (2) Basic principles/rules in management of natural resources in the national park are developed and agreed on by the target community groups and BNBNPMB.
- (3) A trial run of community-based ecotourism (CBET) is carried out at the selected sites.
- (4) The ecologically-friendly livelihood options that can be accepted by the target community groups are developed and ready for dissemination among the communities.
- (5) Issues to be addressed and actions to be taken are clarified so that the target community groups will be able to continuously operate a community-based ecotourism and/or practice the ecologically-friendly livelihood options introduced by the project.

4. Activities of the Project

- 1-1 Organize working groups (WGs) for implementation of CBET and extension of ecologically-friendly livelihood options in the target villages
- 1-2 Provide training to the working groups (WGs) to enhance their capacity to implement the project
- 2-1 Assess, together with local communities of the target villages, the current situation of the target villages in a participatory manner
- 2-2 Develop, together with local communities of the target villages, rules and principles on use of natural resources in the target villages

- 3-1 Select a local partner or contractor that can implement the CBET component on the ground
- 3-2 Develop an implementation plan for a trial run of CBET at the target villages
- 3-3 Assess the potential environmental impacts and incorporate countermeasures into the implementation plan stated in activity 3-2 above.
- 3-4 Establish an institutional set-up for implementation of the CBET program and enhance the capacity of the organized community group to participate in the CBET component
- 3-5 Make a trial run of CBET
- 3-6 Evaluate the component implemented

- 4-1 Identify ecologically-friendly livelihood options to be introduced in the target villages
- 4-2 Develop a work plan to introduce ecologically-friendly livelihood options in the target villages
- 4-3a Organize hands-on training (Field Farmers' schools: FFSs) in the plots of the core members (If the proposed livelihood option is the improvement of agricultural production such as coffee)
- 4-3b Develop (a) demonstration plot(s) for reforestation program of indigenous tree species, in coffee plantations or degraded lands located within the boundaries of the national park (If the proposed livelihood option is the introduction of reforestation program in the national park)
- 4-3c Organize hands-on training on livelihood options (If the proposed livelihood option is the production of cottage industry, such as handicraft)
- 4-4 Evaluate the component implemented
- 4-5 Develop an/a extension plan/promotion plan to disseminate the same options to other villagers as well as other villages

- 5-1 Based on the results of the evaluation in [3-6] and [4-4], identify necessary supports for the target villages to continue the CBET and ecologically-friendly livelihood options components after termination of the project
- 5-2 Draft an agreement between BBNPMB and the target community groups on co-management of natural resources in the national park.
- 5-3 Draft a provincial government document(s) to support continuous implementation of co-management.

5. Target Area

The following five villages, which are administratively under the jurisdictions of three communes and one town, were identified as the potential target villages for the project.

- (1) Dung k'si village and Klong klan village in Da chais commune
- (2) Thon 1 village in Da sar commune
- (3) Bnor B village in Lat commune
- (4) Bang dung village in Lac dung town

The target villages will be selected among the potential villages based upon the results of a baseline survey that will be carried out in the beginning of the project.

Note: In case in which the Master Plan should be changed due to the changes of the situations/environment of the Project, both Governments will agree upon and confirm the necessary changes by exchanging Minutes of Meetings.

ANNEX II: LIST OF JAPANESE EXPERTS

The Project experts, who are in charge of the following fields, will be employed:

[Long-term assignment]

1. Co-management Advisor
2. Coordinator/Community Development

[Other experts]

The number and the field of short-term experts will be determined through the discussion between both sides whenever the necessity arises, within the framework of the Project.

ANNEX III: LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT

Part of machinery and equipment necessary for the effective implementation of the Project will be provided by the Japanese side within the budget allocated for technical cooperation. Main items of machinery and equipment to be provided are as follows:

1. Community-based Visitor Center
2. Vehicle
3. Motor bike
4. GPS
5. Binoculars
6. Personal computer
7. Photo copy machine
8. Printer
9. Projector
10. Transceiver
11. Generator
12. Others

Note:

- (1) Item and quantity are contingent upon available budget.
- (2) The use of these items is limited to the Project activities.
- (3) Detail contents, specifications and quantity of the above mentioned equipment will be decided through mutual consultations within the budget to be allocated for every Japanese fiscal year.

ANNEX IV: LIST OF VIETNAMESE COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. Vietnamese Counterpart

- (1) The Chairperson of the Provincial Steering Committee is to be assumed by a Vice Chairman of the People's Committee of Lam Dong Province.
- (2) The Project Director is to be assumed by the Director of Bidoup-Nui Ba National Park Management Board.
- (3) Other project counterparts to be assigned are composed of Bidoup-Nui Ba National Park, Department of Agriculture and Rural Development, Agricultural Extension Center at province and district levels, and the People's Committee of Lam Dong Province including relevant district and/or commune people's committees.

Note: Responsibility of each counterpart to be assigned will be determined according to the Plan of Operation.

2. Administrative personnel

- (1) Administrative staff
- (2) Secretary
- (3) Drivers
- (4) Other supporting staff necessary for the Project implementation

ANNEX V: LIST OF BUILDINGS AND FACILITIES

The following will be prepared by the Government of Viet Nam for the Project implementation.

1. Buildings and rooms, and facilities
 - (1) Project Office including furniture in the headquarters of Bidoup-Nui Ba National Park
 - (2) Electricity, water supply and necessary telecommunication facilities including telephone, facsimile and e-mail services (domestic)

ANNEX VI: JOINT COORDINATING COMMITTEE

1. Function

The Joint Coordinating Committee will meet at least once a year or whenever necessity arises, and will work:

- (1) To monitor the progress of the Project activities according to the Plan of Operation (PO),
- (2) To review and examine the framework of the Project according to the Project Design Matrix (PDM),
- (3) To discuss and advise on major issues that arise during the Project period, and
- (4) To approve an Annual Plan of Operation (APO).

2. Member of the committee

The committee will be composed of the chairperson, members and observers. The chairperson may declare closed sessions against the observers. The rules and guidelines for the management of the committee will be determined at the initial stage of the Project.

(1) Chairperson

Vice Chairman, People's Committee of Lam Dong Province

(2) Vietnamese side

- Director General, Forest Protection Department, Ministry of Agriculture and Rural Development
- Director of Biodiversity Conservation Agency, Vietnam Environment Administration, Ministry of Natural Resources and Environment
- Director, Department of Agriculture and Rural Development in Lam Dong Province
- Director, Department of Planning and Investment in Lam Dong Province
- Director, Department of Culture, Sports and Tourism in Lam Dong Province
- Director, Bidoup-Nui Ba National Park Management Board
- President, Vietnam National Parks and Protected Areas Association

(3) Japanese side

- Co-management Advisor
- Coordinator/Community Development
- Experts appointed by the Co-management Advisor
- Resident Representative, JICA Viet Nam Office
- Personnel to be dispatched by JICA, if necessary

Note: Official(s) of Embassy of Japan may attend the Joint Coordinating Committee meeting as observer(s). The Chairperson can name new members or request the attendance of other participants, as necessary, upon agreement of the Committee.

A small, stylized handwritten mark or signature in the bottom left corner.A handwritten signature in the bottom right area, consisting of a cursive name followed by a horizontal line.A small, stylized handwritten mark or signature in the bottom right corner.

Ver.1.0 24 September, 2009

ANNEX VII : PROJECT DESIGN MATRIX (PDM)

Project Title: The Project for Strengthening Community-based Management Capacity of Bidoup-Nui Ba National Park
Project Period: 2009 – 2013 (4 years)
Target Area: Five villages (tentatively identified) adjacent to the boundaries of Bidoup-Nui Ba National Park
Target Groups: Bidoup-Nui Ba National Park Management Board (BNBNPMB) , Department of Agriculture and Rural Development (DARD), Five Target Villages

NARRATIVE SUMMARY	OBJECTIVELY VERIFIABLE INDICATORS	MEANS OF VERIFICATION	IMPORTANT ASSUMPTIONS
<p>OVERALL GOAL BNBNPMB can manage natural resources in part of the national park with the target community groups in a collaborative manner.</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 Agreements between the target community groups¹ and BNBNPMB on management of natural resources in part of the national park are concluded within three years after the end of the project. 2 Provincial government document(s), such as decisions, guidelines, and plans, necessary for the community groups and BNBNPMB to co-manage natural resources in part of the national park are approved by PPC within three years after the end of the project. 3 The target villages continue to practice the activities introduced by the project. 	<p>Agreements</p> <p>Government documents</p> <p>BNBNP Annual Report</p>	
<p>PROJECT PURPOSE The capacity of BNBNPMB to manage natural resources in the national park is enhanced through development of a co-management model at the target villages.</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 Consensus on co-management is built between the target community groups and BNBNPMB, then draft agreements on management of natural resources in part of the national park are prepared by the end of the project. 2 Provincial government documents, such as decisions, guidelines, and plans, necessary for the community groups and BNBNPMB to co-manage natural resources in part of the national park are drafted by the end of the project. 3 More than xx % of the BNBNPMB staff who participate in the project understands how to implement the model of co-management of natural resources in the national park. 	<p>Project Report</p> <p>Project Report</p> <p>Interview/Questionnaire Survey in the beginning, mid-term review and terminal evaluation</p>	<p>1 There is no significant change in natural environment of the park.</p>
<p>OUTPUTS 1 Implementation structure for the two components to be introduced by the project (community-based ecotourism and ecologically-friendly livelihood options) is established.</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1-1 Working groups are formulated within 3 months after the commencement of the project. 1-2 The capacities of working groups members are enhanced through a series of training courses organized by the project as compared with those before the project. 	<p>Project Report/Decision Questionnaire Survey/Interview before and after the training</p>	<p>1 There is no significant change in upper level development plans, policies and laws.</p>

¹ "Target community groups" are the villagers' groups of communities/households who are living in the same village and willing to take part in the project.

NARRATIVE SUMMARY	OBJECTIVELY VERIFIABLE INDICATORS	MEANS OF VERIFICATION	IMPORTANT ASSUMPTIONS
<p>2 Basic principles/rules in management of natural resources in the national park are developed and agreed on by the target community groups and BBNPNMB.</p>	<p>2-1 Basic information of the target villages, including present resource map of the village, is gathered and prepared in a participatory manner within 9 months after the commencement of the project.</p> <p>2-2 Rules and principles on natural resource use in the park are developed in a participatory manner within 9 months after the commencement of the project.</p>	<p>Project Report / Map</p> <p>Project Report/Plan</p>	<p>2 There is no major change in the organizational structure, upper level plan, policy and regulations of BBNPNMB.</p> <p>3 Economic situation does not deteriorate dramatically in the local context.</p>
<p>3 A trial run of community-based ecotourism (CBET) is carried out at the selected sites.</p>	<p>3-1 Implementation plans of CBET at the selected sites are prepared within 12 month after the commencement of the project.</p> <p>3-2 More than XX % of the households who have engaged in the forest protection contract with BBNPNMB take part in the CBET component.</p> <p>3-3 Institutional and infrastructure set-ups are developed for implementation of a trial run of CBET model within 12 months after the commencement of the project.</p> <p>3-4 More than XX % of visitors / guests are satisfied with the contents of the CBET model offered by the component.</p> <p>3-5 Lessons learned and recommendations based on the evaluation of the trial run are shared with the relevant stakeholders.</p>	<p>Project Report/Plan</p> <p>Agreement made among three parties</p> <p>Project Report</p> <p>Questionnaire Survey/Interview</p> <p>Workshop Report</p>	
<p>4 The ecologically-friendly livelihood options that can be accepted by the target community groups are developed and ready for dissemination among the communities.</p>	<p>4-1 More than XX % of the members of the community groups are likely to accept the ecologically-friendly livelihood options introduced in the component.</p> <p>4-2 Lessons learned and recommendations based on the evaluation of the trial run are shared with the relevant stakeholders.</p> <p>4-3 An/A extension plan / promotion plan to disseminate the same options to other villagers as well as other villages is prepared</p>	<p>Questionnaire Survey/Interview</p> <p>Workshop Report</p> <p>Project Report/Extension plan</p>	
<p>5 Issues to be addressed and actions to be taken are clarified so that the target community groups will be able to continuously operate a community-based ecotourism and/or practice the ecologically-friendly livelihood options introduced by the project.</p>	<p>5-1 Issues to be addressed and necessary actions/interventions to be taken are reported by the project management in Joint Coordinating Committee (JCC) by the end of the project.</p> <p>5-2 An action plan with recommendations to the relevant organizations are approved by JCC by the end of the project.</p>	<p>Project Report</p> <p>M/M agreed by JCC</p> <p>Project Report</p> <p>M/M agreed by JCC</p>	

Ver.1.0 24 September, 2009

ACTIVITIES	INPUTS		Assumptions
<p>1-1 Organize working groups (WGs) for implementation of CBET and extension of ecologically-friendly livelihood development options in the target villages</p> <p>1-1-1 Clarify and define the roles and responsibilities of the relevant divisions and sections under DARD of Lamdong Province</p> <p>1-1-2 Select staffs who can work for the project from the relevant sections and divisions of BBNPMB, DARD of Lamdong Province, and DPC (e.g., District Agriculture Center)</p> <p>1-1-3 Organize working groups and define the roles and responsibilities of the members of the groups</p> <p>1-2 Provide training to the working groups (WGs) to enhance their capacity to implement the project</p> <p>1-2-1 Conduct a training need assessment to identify the training needs of the members of WGs</p> <p>1-2-2 Develop a training / capacity development program for the members based on the results of training needs assessment</p> <p>1-2-3 Implement a training / capacity development program</p> <p>2-1 Assess, together with local communities of the target villages, the current situation of the target villages in a participatory manner</p> <p>2-1-1 Develop the TOR for the survey and invite possible local resources to a bid</p> <p>2-1-2 Select a/ contractors for the work</p> <p>2-1-3 Organize and hold socialization and consultation meetings at the target villages to explain the project to local communities of the villages</p> <p>2-1-4 Select community members who would take part in the implementation of the project</p> <p>2-1-5 Conduct a household interview survey and PRA at the target villages</p> <p>2-1-6 Figure out the present natural and social conditions of the target villages, traditional knowledge and practices in natural resource use, issues in natural resources use and agricultural production, any development needs and potentials of the target villages</p> <p>2-2 Develop, together with local communities of the target villages, rules and principles on use of natural resources in the target villages</p>	<p>Japanese Side</p> <p>Japanese Experts (long-term)</p> <ul style="list-style-type: none"> Co-management Advisor Coordinator/Community Development <p>(Other experts will be determined during the course of the project as needed.)</p> <p>Equipment and machinery</p> <p>Provision of training</p> <p>Local expense</p>	<p>Vietnamese Side</p> <p>Counterpart Personnel</p> <ul style="list-style-type: none"> Chairperson of the Provincial Steering Committee Project Manager Staff of BBNPMB Staff of DARD Staff of District Agriculture Center <p>Facility and equipment</p> <ul style="list-style-type: none"> Project office building Office facilities <p>Administrational and operational cost</p>	<p>1 Economic situation does not worsen drastically.</p> <p>2 An extensive wildfire does not occur.</p> <p>3 There is no significant transfer of counterpart personnel in WG.</p> <p>4 There is no plan of resettlement for the target communes.</p>

ACTIVITIES	INPUTS	Assumptions
<p>2-2-1 Develop a present land use and resource map of the target villages by using aerial photos or satellite images covering the target villages</p> <p>2-2-2 Identify the potential natural resources that can be used for CBET or ecologically-friendly livelihood support</p> <p>2-2-3 Develop rules and principles on use and management of natural resources in the national park so that local communities can gain economic benefits from the resources in a sustainable manner</p> <p>3-1 Select a local partner or contractor that can implement the CBET component on the ground</p> <p>3-2 Develop an implementation plan for a trial run of CBET at the target villages</p> <p>3-2-1 Select local communities/households who will take part in the CBET component considering the resource used for CBET and organize the selected households into group(s)</p> <p>3-2-2 Identify necessary activities for implementation of the CBET component together with the organized community group</p> <p>3-2-3 Identify necessary facilities / equipment / other infrastructure set-ups for implementation of the CBET component and confirm site conditions where the listed facilities / equipment are to be installed/built</p> <p>3-2-4 Develop a work plan including a construction plan for the CBET component in a participatory manner</p> <p>3-2-5 Estimate the total budget required for implementation of the CBET component</p> <p>3-2-6 Build a consensus among all the stakeholders on sharing cost as well as responsibilities in implementation of the CBET component</p> <p>3-3 Assess the potential environmental impacts and incorporate countermeasures into the implementation plan stated in activity 3-2 above.</p> <p>3-3-1 Review the existing regulations on environmental impact assessment</p> <p>3-3-2 Identify the potential environmental impacts attributable to CBET component</p> <p>3-3-3 Assess the identified impacts from legal perspectives and non-legal perspectives (community value)</p> <p>3-3-4 Incorporate countermeasures as necessary</p>		

Ver.1.0 24 September, 2009

ACTIVITIES	INPUTS	Assumptions
<p>3-4 Establish an institutional set-up for implementation of the CBET component and enhance the capacity of the organized community group to participate in the CBET component</p> <p>3-4-1 Develop a training plan for the members of the community group so that they can take part in the CBET component</p> <p>3-4-2 Organize a variety of training courses for the members in accordance with the training plan</p> <p>3-4-3 Set up fees to be collected from a guest (e.g., payment to a guide, accommodation fee, etc.) in a participatory manner</p> <p>3-4-4 Build a consensus among the stakeholders on sharing benefits gained from implementation of the CBET component</p> <p>3-4-5 Construct/install facilities / equipment as planned in [3-2] by the project</p> <p>3-4-6 Make a rule on use of facilities and equipment provided under the CBET component and make an agreement among the community group, BBNPMB and the project</p> <p>3-4-7 Formulate a marketing strategy for a CBET model (e.g., preparation of simple advertising materials, namely brochure and flyer)</p> <p>3-4-8 Make a contingency plan in preparation of any accidents during implementation of the CBET component</p> <p>3-5 Make a trial run of CBET</p> <p>3-5-1 Assist the target community group in the implementation of a CBET model on trial</p> <p>3-5-2 Check the satisfactory level of guests by using a simple questionnaire</p> <p>3-5-3 Monitor the progress of the component periodically and provide necessary technical assistance to the community group as well as the NGO(s)</p> <p>3-6 Evaluate the component implemented</p> <p>3-6-1 Develop an evaluation plan to evaluate the CBET component together with the working group.</p> <p>3-6-2 Organize separate evaluation workshops with the community group and BBNPMB, respectively</p> <p>3-6-3 Draw lessons learned and present recommendations</p> <p>4-1 Identify ecologically-friendly livelihood options to be introduced in the target villages</p> <p>4-1-1 Assess the present constraints on agricultural production</p> <p>4-1-2 Short-list the possible livelihood options to be introduced in the target village based on the land use and resource map</p>		

ACTIVITIES	INPUTS	ASSUMPTIONS
<p>prepared in [2-2]</p> <p>4-1-3 Assess the possible options easiness, applicability, economic impact, environmental impact, and demonstration effect together with local communities</p> <p>4-1-4 Select the ecologically-friendly livelihood options to be introduced in the target villages</p> <p>4-2 Develop a work plan to introduce ecologically-friendly livelihood options in the target villages</p> <p>4-2-1 Select local communities / households who participate in the program and organize them into a group at each village</p> <p>4-2-2 Select core members for demonstration purposes and define the roles and responsibilities of the members of the groups</p> <p>4-2-3 Make a work plan including a hands-on training together with the community group defining responsible persons/bodies for each activity of the work plan and make an agreement among the community group, the work group and the project</p> <p>4-2-4 Facilitate the discussion of sharing benefits/products gained in the program among the members</p> <p>4-2-5 Estimate the total cost necessary for implementation of the component</p> <p>4-3a Organize hands-on training (Field Farmers' schools: FFSS) in the plots of the core members (if the proposed livelihood option is the improvement of agricultural production such as coffee)</p> <p>4-3a-1 Organize study tours for the community group as well as core members (In the case where only the core members are taken to a study tour, a feedback meeting should be organized to share the results of the study tour with other members.)</p> <p>4-3a-2 Organize a series of hands-on training courses (Field Farmers' Schools: FFSS) at the demonstration plots</p> <p>4-3a-3 Provide necessary materials so that other group members could introduce the farming techniques demonstrated in FFSS</p> <p>4-3a-4 Organize an annual monitoring work shop with each community group</p> <p>4-3b Develop (a) demonstration plot(s) for reforestation program of indigenous tree species, in coffee plantations or degraded lands located within the boundaries of the national park (If the proposed livelihood option is the introduction of reforestation program in the national park)</p> <p>4-3b-1 Identify indigenous tree species suitable for the area and</p>		

Ver.1.0 24 September, 2009

ACTIVITIES	INPUTS	ASSUMPTIONS
<p>procure seedlings</p> <p>4-3b-2 Make a three-year contract with the community group or core members for reforestation and maintenance of the plantation</p> <p>4-3b-3 Monitor the plantation and maintenance activities from time to time</p> <p>4-3b-4 Evaluate the survival rate of indigenous tree species planted in the demonstration plots</p> <p>4-3c Organize hands-on training on livelihood options (If the proposed livelihood option is the production of cottage industry, such as handicraft)</p> <p>4-3e-1 Organize study tours for the community group as well as core members (in the case where only the core members are taken to a study tour, a feedback meeting should be organized to share the results of the study tour with other members.)</p> <p>4-3e-2 Organize a series of hands-on training courses on the proposed livelihood options</p> <p>4-3e-3 Provide necessary materials so that other group members could introduce the techniques demonstrated in hands-on training</p> <p>4-3e-4 Conduct a research to market the products to be produced under the component</p> <p>4-3e-5 Organize an annual monitoring work shop with each community group</p> <p>4-4 Evaluate the component implemented</p> <p>4-4-1 Develop an evaluation plan to evaluate the ecologically-friendly livelihood support component together with the working group</p> <p>4-4-2 Organize separate evaluation workshops with the community group and BBNPMB, respectively</p> <p>4-4-3 Draw lessons learned and present recommendations</p> <p>4-5 Develop an/a extension plan / promotion plan to disseminate the same options to other villagers as well as other villages</p> <p>4-5-1 Identify potential difficulties in disseminating the options/techniques to other villages</p> <p>4-5-2 Develop a manual for application of the ecologically-friendly livelihood options so that other local communities in the target villages as well as other villages around the park could introduce such options/techniques in their own farms/plots</p> <p>4-5-3 Formulate a marketing strategy to sell NTFPs / handicrafts</p>		

125

Handwritten signature

Handwritten mark

ACTIVITIES	INPUTS	ASSUMPTIONS
<p>/ other products produced in the component (Simultaneously examine the possibility of the linkage with the CBET program, such as green tourism and souvenirs)</p> <p>4-3-4 Draft an extension/promotion plan for promotion of the ecologically-friendly livelihood options in the buffer zone of the park</p> <p>5-1 Based on the results of the evaluation in [3-6] and [4-4], identify necessary supports for the target villages to continue the CBET and ecologically-friendly livelihood options components after termination of the project</p> <p>5-1-1 Identify necessary government support (e.g., any legislative arrangement for allocation of long-term resource use rights to the communes, an investment plan to support the target community group as well as other communities to continuously apply the ecologically-friendly livelihood options, etc.)</p> <p>5-1-2 Identify necessary training or capacity development activities for the target community groups to continue the components and manage natural resources in accordance with the rules/principles defined in [2.2]</p> <p>5-1-3 Explore possible funding sources for the target community groups to continue the components</p> <p>5-2 Draft an agreement between BNBNTMB and the target community groups on co-management of natural resources in the national park.</p> <p>5-2-1 Formulate a drafting team consists of stakeholders</p> <p>5-2-2 Prepare an initial draft</p> <p>5-2-2 Conduct public hearing</p> <p>5-2-3 Finalize the draft</p> <p>5-3 Draft a provincial government document(s) to support continuous implementation of co-management.</p> <p>5-3-1 Formulate a drafting team consists of stakeholders</p> <p>5-3-2 Prepare an initial draft(s)</p> <p>5-3-3 Conduct public hearing</p> <p>5-3-4 Finalize the draft(s)</p>		<p>PRECONDITIONS</p> <p>1. Local communities who reside adjacent to the boundaries or currently use natural resources in BNBNP are willing to participate in the project.</p> <p>2. There is no plan of resettlement that makes all residents move out the park boundary.</p>

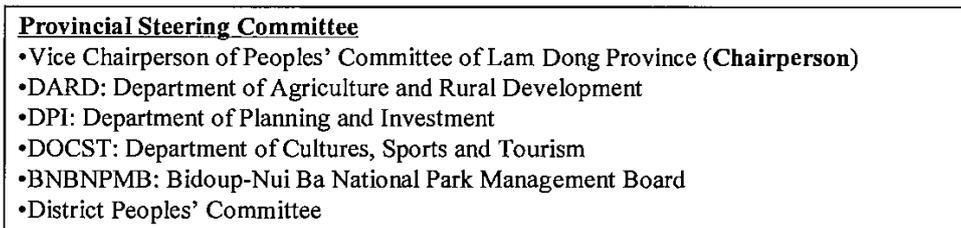
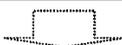
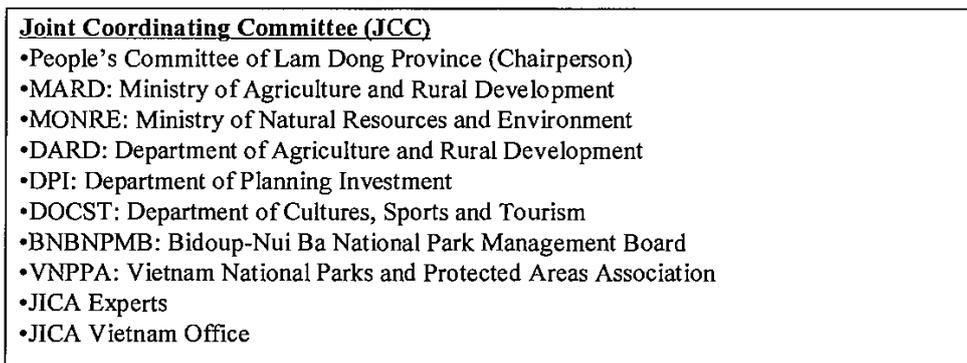
Ver.1.0 24 September, 2009

ANNEX VIII : PLAN OF OPERATION (PO)

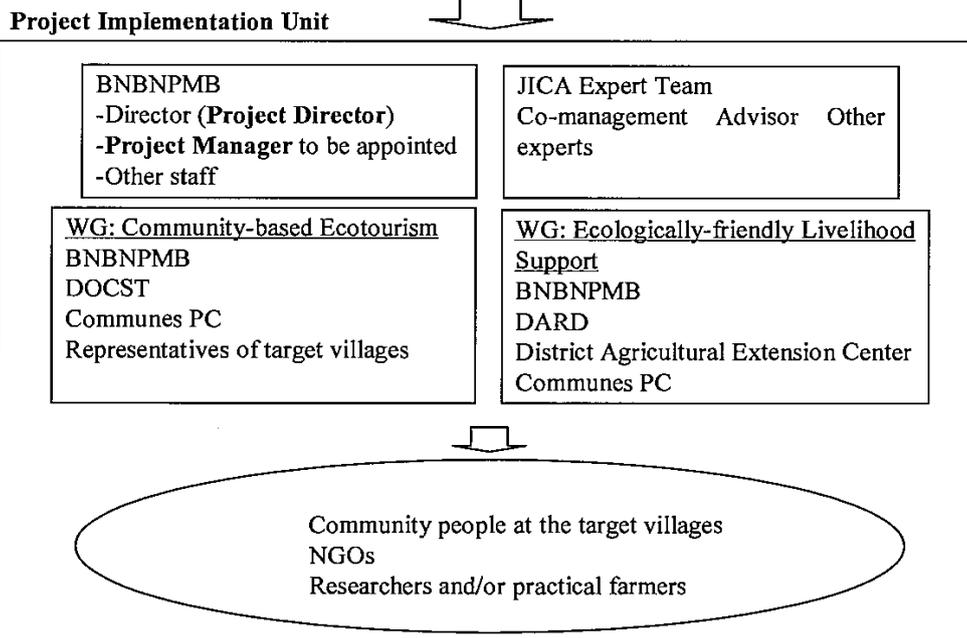
Outputs No. Summary	Activities No. Summary	Timeframe												Responsible agencies/bodies								
		1st year			2nd year			3rd year			4th year											
		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4					
1	1 An implementation structure for the two components (community-based ecotourism and ecologically-friendly livelihood options) is developed and enhanced for implementation of the project																					JICA Project Team, BNBPNPMB, DARD
	1-1 Organize working groups (WGs) for implementation of CBET and extension of ecologically-friendly livelihood development options in the target villages																					
	1-2 Provide training to the working groups (WGs) to enhance their capacity to implement the project																					JICA Project Team, DARD
2	Basic principles / rules in management of natural resources in the national park are developed and agreed on by the target community group and BNBPNPMB.																					JICA Project Team, BNBPNPMB
	2-1 Assess, together with local communities of the target villages, the current situation of the target villages in a participatory manner																					
	2-2 Develop, together with local communities of the target communes, rules and principles on use of natural resources in the target villages																					JICA Project Team, BNBPNPMB
3	A trial run of community-based ecotourism (CBET) is carried out at the selected sites.																					JICA Project Team
	3-1 Select a local partner or contractor that can implement the CBET component on the ground																					
	3-2 Develop an implementation plan for a trial run of CBET at the target communes																					JICA Project Team, BNBPNPMB, Contractor, Community groups
	3-3 Assess the potential environmental impacts and incorporate countermeasures into the implementation plan stated in activity 3-2 above.																					JICA Project Team, BNBPNPMB, Contractor, Community groups
	3-4 Establish an institutional set-up for implementation of the CBET program and enhance the capacity of the organized community group to participate in the CBET component																					JICA Project Team, BNBPNPMB
	3-5 Make a trial run of CBET																					JICA Project Team, BNBPNPMB, Contractor, Community groups
	3-6 Evaluate the component implemented																					JICA Project Team, BNBPNPMB, Contractor, Community groups

4	4 The ecologically-friendly livelihood options that can be accepted by the target community groups developed and ready for dissemination among the communities.	4-1	Identify ecologically-friendly livelihood options to be introduced in the target villages															JICA Project Team, BNBPNPMB, DARD	
		4-2	Develop a work plan to introduce ecologically-friendly livelihood options in the target villages																JICA Project Team, BNBPNPMB, DARD, Contractor, Community groups
		4-3a	Organize hands-on training (Field Farmers' schools: FFSs) in the plots of the core members (if the proposed livelihood option is the improvement of agricultural production such as coffee)																JICA Project Team, BNBPNPMB, DARD, Contractor, Community groups
		4-3b	Develop (a) demonstration plot(s) for reforestation program of indigenous tree species, in coffee plantations or degraded lands located within the boundaries of the national park (if the proposed livelihood option is the introduction of reforestation)																JICA Project Team, BNBPNPMB, DARD, Contractor, Community groups
		4-3c	Organize hands-on training on livelihood options (if the proposed livelihood option is the production of cottage industry, such as handicraft)																JICA Project Team, BNBPNPMB, DARD, Contractor, Community groups
		4-4	Evaluate the component implemented																JICA Project Team, BNBPNPMB, DARD, Contractor, Community groups
		4-5	Develop an/a extension plan / promotion plan to disseminate the same options to other villagers as well as other villages																JICA Project Team, BNBPNPMB, DARD, Contractor, Community groups
		5-1	Based on the results of the evaluation in [3-6] and [4-4], identify necessary supports for the target villages to continue the CBET and ecologically-friendly livelihood options components after termination of the project																JICA Project Team, BNBPNPMB, DARD
		5-2	Draft an agreement between BNBPNPMB and the target community groups on co-management of natural resources in the national park.																JICA Project Team, BNBPNPMB, DARD, Community groups
		5-3	Draft a provincial government document(s) to support continuous implementation of co-management																JICA Project Team, Provincial People's Committee, BNBPNPMB, DARD
5	Issues to be addressed and actions to be taken are clarified so that the target community groups will be able to continuously operate a community-based ecotourism and/or practice the ecologically-friendly livelihood options introduced by the project																		

ANNEX IX : PROJECT MANAGEMENT STRUCTURE



*1: JICA Experts will participate in the steering committee as observers.



事業事前評価表（技術協力プロジェクト）

作成日：平成21年9月11日

担当部・課：地球環境部

森林・自然環境保全第一課

1. 案件名

（和文名称）ビズップ・ヌイバ国立公園管理能力強化プロジェクト

（英文名称）The Project for Strengthening Community-based Management Capacity of Bidoup-Nui Ba National Park

2. 協力概要

（1）プロジェクト目標とアウトプットを中心とした概要の記述

本プロジェクトは、ベトナム国ラムドン省にあるビズップ・ヌイバ国立公園（以下、同公園とする）において、特に同公園の周縁にある候補となっている5つの村落を対象に、ビズップ・ヌイバ国立公園管理事務所（以下、BNBNPMB (Bidoup-Nui Ba National Park Management Board) とする）と対象村落住民が協働で同公園を管理するモデル事業の開発を支援し、BNBNPMB が同公園内の豊かな自然資源を持続的に管理する能力を向上させることを目的とする。

すなわち、住民による農地拡大等の人的活動の脅威にさらされている同公園を持続的に管理するためには、周辺住民の生計向上に配慮した自然資源の管理手法を新たに開発し導入する必要がある。そこで本プロジェクトでは、2つのコンポーネントの開発と導入に着手する。一つは、住民主導型のエコツーリズム（以下、CBET (Community-based Ecotourism) とする）の試験的实施であり、二つ目が、自然環境保全に配慮したコーヒー等の農業生産性向上や手工芸品の開発等の環境保全型生計向上手段の開発・導入である。これら2つのコンポーネントの実施を通じて、プロジェクトに参加する住民に新たな便益を提供しつつ、引き換えに同公園に対する人的脅威を緩和するための規制遵守を住民に求め、一連のプロセスを BNBNPMB と対象村落住民との協働管理モデルとして開発する。

この目標を達成するために、本プロジェクトは以下の具体的なアウトプットの達成を目指す。

- プロジェクトで導入する2つのコンポーネント（住民主導型エコツーリズム及び環境保全型生計向上手段）を運営する実施体制が構築される。
- 公園の自然資源管理に関わる基本的な原則及びルールが対象村落住民と BNBNPMB との間で合意される。
- 選定された地区において、CBET のモデル事業が開発される。
- 対象村落の住民に受け入れられる環境保全型生計向上手段が開発され、村落内への普及準備が整う。
- CBET 事業や環境保全型生計向上手段を中心とする協働管理を、対象村落の住民グループが継続的に実施するための対処すべき課題や必要な活動が明確にされる。

（2）協力期間

2010年1月～2013年12月（4年間）

(3) 協力総額（日本側）

約 3.1 億円

(4) 協力相手先機関

責任機関¹：ラムドン省人民委員会

実施機関²：ビズップ・ヌイバ国立公園管理事務所

(5) 国内協力機関

環境省

(6) 裨益対象者及び規模等

本プロジェクトは、①BNBNPMB 職員（約 100 人）、②ラムドン省農業・農村開発局職員、及び③対象村落の住民の能力向上に貢献するものである。特に、現在候補となっている 5 つの対象村落の計 669 戸の住民（約 3,300 人）が、本プロジェクトによって間接的な便益を受けると予想される。

また、将来的に、本プロジェクトで開発を目指す協働管理モデルの全国展開も期待され、そのための枠組みとして合同調整委員会に農業農村開発省及び天然資源・環境省が参加する他、プロジェクト活動としてベトナム政府関係者及びドナー関係者を対象にワークショップを開催することを計画しており、プロジェクト成果の広範囲への周知に努める。

3. 協力の必要性・位置付け

(1) 現状及び問題点

ビズップ・ヌイバ国立公園はラムドン省³の北部に位置し、総面積は日本の尾瀬国立公園の約 2 倍に相当する 64,800ha とベトナム国内でも有数の大きな保護区である。1986 年に自然保護区として指定された後、2005 年に国立公園に昇格⁴した。地理的に、周囲にある 3 つの自然保護区（北部に Chu Yang Sinb 国立公園、東部に Phuoc Binh 国立公園、南部に Lam Vien 景観保護区）の中心に位置することから、これら 3 つの保護区を結ぶ回廊としての役割も有し、この地域一帯の生物多様性保全にとって極めて重要な価値を持つ。

同公園は亜熱帯高山気候の典型的な森林生態系を有し、山地熱帯降雨常緑林、針広混交林、高山低木林、低山針葉樹疎林、コケ林、竹広混交林が分布する。その豊富な森林資源のために、同公園には多様性に富んだ動植物相が生息している。過去の調査結果によると、1,468 種の植物（内 97 種が固有種）と 385 種の動物（内 26 種が IUCN の絶滅危惧種リストに記載されている）が確認されている。また同公園は野鳥保護区としても有名で、地域固有種の鳥類が生息することで世界的に認められている 221 ヲ所の地域のうちの一つに指定されている。

世界的にも生物多様性が豊かなベトナム国⁵において、自然保護区の核となる国立公園を適切

に管理する能力の向上は、その貴重な生物多様性を保全する上で不可欠となる長期的な課題である。ベトナム国政府は、2003年に保護区管理のあり方を示す Management Strategy for a Protected Area System in Vietnam to 2010 を策定する他、2000年以降に18カ所の国立公園を指定する等、国立公園を中核に生物多様性保全のための具体的な施策を実施している。

しかしながら、政府による国立公園管理のための技術的及び予算的な支援は限られており、多くの国立公園では現場レベルでの管理を十分に行えているとは言えない。国立公園の生物多様性を脅かす要因は複数あるが、中でも公園内及び周辺に居住する地域住民による人的活動の脅威が大きな課題となっている。

ビズップ・ヌイバ国立公園の周辺においても、約3,300世帯（約17,500人）の住民が生活しており、その多くが少数民族に属し伝統的な農業により生計を立てている。地域一帯の土地は森林が多くを占め農業用地が少ないことから、1世帯当たりの農業用地は狭く、加えて農業生産性が低いために、住民の貧困率は70%を超えられている。

こうした貧困を背景に、森林の農地転用、特にコーヒー農園の拡大による住民の同公園内森林への侵入、野生動物の狩猟、違法伐採、薪炭材採取等は現在も続いており、同公園の生物多様性は地域住民による人的脅威にさらされている。

これに対しラムドン省人民委員会及びBNBNPMBは、地域住民との間に森林保全契約⁶を締結し、契約金支払いによる住民への生計支援を講じることで、同公園内の森林及び生態系に対する人的圧力の軽減を図っているものの、これら人的脅威を十分規制するには未だ至っていない。

従って、同公園の持つ豊かな森林や動植物相を持続的に管理するためには、周辺住民の生計向上に配慮した自然資源の管理手法を新たに開発し導入する必要がある。そこで本プロジェクトでは、2つのコンポーネントの開発と導入に着手する。一つは、住民主導型のエコツーリズム（以下、CBET (Community-based Ecotourism) とする）の試験的实施であり、二つ目が、自然環境保全に配慮したコーヒー等の農業生産性向上や手工芸品の開発等の環境保全型生計向上手段の開発・導入である。これら2つのコンポーネントの実施を通じて、プロジェクトに参加する住民に新たな便益を提供しつつ、引き換えに同公園に対する人的脅威を緩和するための規制遵守を住民に求め、一連のプロセスをBNBNPMBと対象村落との協働管理モデルとして開発することを基本戦略とする。

（2）相手国政府国家政策上の位置付け

後の5.（1）妥当性の項にて詳述するように、本プロジェクトはベトナム政府の現行政策及び戦略との整合性は高い。特に本プロジェクトは、下記の政府の戦略及び上位計画の達成に貢献すると見込まれる。

- 1) Management Strategy for a Protected Area System in Vietnam to 2010
- 2) National Action Plan on Biodiversity up to 2010
- 3) Social Economic Development Plan for 5 years (2005-2010)
- 4) Socio-economic Development Program for Communes faced with Extreme Difficulties

(3) 我が国および JICA の援助方針上の位置付け (プログラムにおける位置付け)

平成 21 年 7 月に策定されたベトナム国に対する国別援助計画において、「経済成長促進・国際競争力強化」、「社会・生活面の向上と格差是正」、「環境保全」および「ガバナンスの強化」の 4 分野を援助重点分野とすることを明記しており、この「環境保全」の項において、森林地域における住民の生活の向上、森林保全・違法伐採対策を含む持続可能な森林経営、生物多様性保全を含む自然環境保全が掲げられており、本プロジェクトはこの援助方針に合致している。

また JICA の協力プログラムにおいても、本プロジェクトは、重点分野・環境保全、開発課題・自然環境保全のコンポーネントの一つである自然環境保全プログラムを構成するものであり、JICA の現在の援助方針における妥当性もきわめて高いといえる。

(4) 他ドナーとの関係

現在、以下に示す事業が、ラムドン省にて関連ドナーの支援を受けて実施中である。

- ① Co-management of Forests and Wildlife, Bidoup-Nui Ba National Park (WWF)
- ② Vietnam Conservation Fund Project (GEF, EU, TFF⁷)
- ③ Piloting an Approach to Multiple-Use Forest Management in Lam Dong Province (FSSP⁸)

中でも、①の WWF による事業が本プロジェクトとの関連性が高い。WWF は、住民と BNBPNMB の協働管理メカニズムの確立を通じて、森林と野生生物の適正管理を目的に、同公園のバッファゾーンに居住する住民をターゲットに活動を実施中。現在 1 年目を終了し、社会調査を踏まえ将来の活動計画を検討中。想定される活動は、小規模エコツーリズムと非木材林産物の導入。WWF ハノイ事務所と協議した結果、WWF プロジェクトも小規模なものであることから、JICA と情報を共有し、相互の重複を避けつつ協調しながら共通の課題に取り組むことを確認した。

また、同公園が対象の事業としては、②が 2006 年から 2 年間にわたり BNBPNMB 職員の能力向上、地域住民に対する森林保全に関する啓蒙普及、地域住民との協働パトロールを実施している。実施した研修や啓蒙普及活動は、本プロジェクト実施に際しての参考とする。

この他、ラムドン省内の事業として③が実施されており、省内の貧困で森林依存度の高い村落を対象に、貧困削減と生態系保全が調和した多目的利用森林管理アプローチの確立と展開を目的としたパイロットプロジェクトを実施している。特に、地域住民と森林管理局の間で住民主導型森林管理に関わる合意に基づいた協働管理及び分収制度の導入を成果の一つとしているため、本プロジェクト実施に際しての参考とする。

4. 協力の枠組み

本プロジェクトは、BNBPNMB と村落住民による協働管理モデルの開発を行い、BNBPNMB の同公園内に賦存する自然資源の管理能力を向上させることを目的とする。

〔主な項目〕

- (1) 協力の目標 (アウトカム)

1) 協力終了時の達成目標（プロジェクト目標）と指標・目標値

【プロジェクト目標】

ビズアップ・ヌイバ国立公園管理事務所の国立公園の自然資源管理能力が、対象村落での協働管理モデルの開発を通じて強化される。

【指標・目標値】

- ・ プロジェクト終了時まで、対象住民グループと BNBPNMB の間（もしくは第三者機関を含む）で、公園の自然資源の協働管理に関わる合意が成され、合意文書が草案される。
- ・ プロジェクト終了時まで、対象住民グループと BNBPNMB が公園の自然資源の協働管理を進めるために必要な省レベルでの政府文書（Decisions、ガイドライン、計画など）が草案される。
- ・ プロジェクトに参加した BNBPNMB 職員の xxx%が、公園内の自然資源の協働管理モデルの実施方法について理解を深める⁹。

2) 協力終了後に達成が期待される目標（上位目標）と指標・目標値

【上位目標】

ビズアップ・ヌイバ国立公園管理事務所が、対象村落の住民と協働で、公園の一部の自然資源を管理することができる。

【指標・目標値】

- ・ プロジェクト終了後から3年以内に、BNBPNMB と対象住民グループが公園の自然資源の協働管理に関わる合意がなされ、合意文書を締結する。
- ・ プロジェクト終了後から3年以内にラムドン省人民委員会が、BNBPNMB と対象住民グループにより公園の自然資源の協働管理を進めるための政府文書を承認する。
- ・ 対象住民グループが本プロジェクトによって導入された活動を継続する。

(2) 成果（アウトプット）と活動

1) アウトプット1、そのための活動、指標・目標値

【アウトプット1】

プロジェクトで導入する2つのコンポーネント（住民主導型エコツーリズム及び環境保全型生計向上手段）を運営する実施体制が構築される。

【主な活動】

- 1-1 住民主導型エコツーリズム（CBET）の実施及び環境保全型生計向上手段の普及に関わる作業グループを形成する。
- 1-2 形成された作業グループメンバーに対し、事業実施に必要な研修を実施する。

【指標・目標値】

- ・ プロジェクト開始後3ヶ月の間に、作業グループメンバーが関係者間で周知される。
- ・ プロジェクトによって実施される一連の研修を通じて、作業グループの能力がプロジェクト実施前と比較して向上する¹⁰。

2) アウトプット2、そのための活動、指標・目標値

【アウトプット2】

公園の自然資源管理に関わる基本的な原則及びルールが対象村落住民と BNBPNMB との間で合意される¹¹。

【主な活動】

- 2-1 対象村落の住民と共同で、村落の現状に関し参加型手法を用いて評価・分析する。
- 2-2 対象村落の住民と共同で、自然資源の利用に関する基本的な原則及びルールを作成する。

【指標・目標値】

- ・ プロジェクト開始後 9 ヶ月の間に、村落の資源図を含んだ対象村落の基本情報が、参加型手法を用いて収集・整備される。
- ・ プロジェクト開始後 9 ヶ月の間に、対象村落住民の参加により作成される基本的な原則及びルールが BNBPNMB により承認される。

3) アウトプット3、そのための活動、指標・目標値

【アウトプット3】

選定された地区において、CBET のモデル事業が開発される。

【主な活動】

- 3-1 現場にて CBET モデル事業を実施するパートナーを選定する。
- 3-2 対象村落での CBET の試験的实施に関わる実施計画を策定する。
- 3-3 潜在的な負の環境影響について評価・分析し、必要に応じて講じるべき対策を実施計画に反映する。
- 3-4 CBET モデル事業実施に関わる体制を構築すると共に、組織化した住民グループが CBET モデル事業を実施できるよう能力強化を図る。
- 3-5 CBET の試験的实施を行う。
- 3-6 実施されたモデル事業を評価する。

【指標・目標値】

- ・ プロジェクト開始後 12 ヶ月の間に、選定された対象村落における CBET の実施計画が作成される。
- ・ 対象村落において、BNBPNMB との森林保全契約に基づいて森林保全活動に従事している住民の XX %¹²が、CBET モデル事業に参加する。
- ・ プロジェクト開始後 12 ヶ月の間に、CBET の試験的实施に必要な組織体制及び施設整備がなされる。
- ・ 訪れた観光客の XX %¹³以上が、CBET の試験的实施の内容に満足する。
- ・ CBET の試験的实施の評価結果を基にした教訓と勧告が、関係者間で共有される。

4) アウトプット4、そのための活動、指標・目標値

【アウトプット4】

対象村落の住民に受け入れられる環境保全型生計向上手段が開発され、村落内への普及準備が整う。

【主な活動】

- 4-1 対象村落にて導入できる環境保全型生計向上手段を同定する。
- 4-2 環境保全型生計向上手段を導入するための作業計画を策定する。
- 4-3a (農業生産向上などが手段の場合) 篤農家の圃場にて実地研修 (Field Farmers' Schools: FFSs) を実施する。
- 4-3b (植林プログラム¹⁴の導入を想定した場合) 公園内のコーヒー農園又は裸地に、郷土樹種の植林プログラムの展示圃場を設置する。
- 4-3c (手工芸などの家内工業を手段とした場合) 生計向上手段に関わる実地研修を実施する。
- 4-4 実施されたコンポーネントを評価する。
- 4-5 導入した手段を他の住民に普及するための普及促進計画を策定する。

【指標・目標値】

- ・ 対象村落の XX %¹⁵以上の住民が、導入された環境保全型生計向上手段に賛同する。
- ・ コンポーネントの評価結果を基にした教訓と勧告が、関係者間で共有される¹⁶。
- ・ 対象村落内での普及促進計画が関係者間で共有される¹⁷。

5) アウトプット5、そのための活動、指標・目標値

【アウトプット5】

CBET 事業や環境保全型生計向上手段を中心とする協働管理を、対象村落の住民グループが継続的に実施するための対処すべき課題や必要な活動が明確にされる。

【主な活動】

- 5-1 [3-6] 及び [4-4] での評価結果を基に、CBET 及び環境保全型生計向上手段を、対象村落が事業終了後も継続的に実施するために必要な支援活動を明らかにする。
- 5-2 公園の自然資源の協働管理に関わる BNBPNMB と対象住民グループ間の合意文書案を検討する。
- 5-3 協働管理の継続的な実施を支援する省レベルでの政府文書案を検討する。

【指標・目標値】

- ・ プロジェクト終了時まで、CBET 事業や環境保全型生計向上手段を、対象村落の住民グループが継続的に実施するための対処すべき課題や必要な活動が、プロジェクトマネージャーによって合同調整委員会 (JCC: Joint Coordinating Committee) に報告される。
- ・ プロジェクト終了時まで、関連機関への勧告を含んだ活動計画が JCC によって承認される。

(3) 投入 (インプット)

- 1) 日本側 (総額約 3.1 億円)

【専門家派遣】

長期専門家 ・ チーフアドバイザー／協働管理 (日本人)

- ・業務調整／村落開発（日本人）
 - ・住民主導型エコツーリズム（現地専門家）
 - ・生計向上（現地専門家）
- 短期専門家
- ・コーヒー生産等の複数分野（日本人もしくは現地専門家）

【研修員受け入れ】

本邦研修：年間4名程度

【供与機材】

車両、モーターバイク、GPS、双眼鏡、事務機器一式、トランシーバー/無線機、発電機

【在外事業強化費】

ベースライン調査、PRA 調査、CBET パイロット事業の試験的实施、環境保全型生計向上手段の開発と普及、コミュニティーベース・ビジターセンター設置等

2) ベトナム側

- ・カウンターパート配置
- ・ラムドン省ステアリング委員会の設置
- ・プロジェクト事務所
- ・事務所施設
- ・事務管理経費

(4) 外部要因（満たされるべき外部条件）

【活動から成果に至るまでの外部要因】

- ・ 作業グループのカウンターパートに大幅な入れ替えがない。
- ・ 対象村落に移転が発生しない。

【成果からプロジェクト目標に至るまでの外部要因】

- ・ BBNPMB の組織体制、上位計画、政策、規則に大幅な変更がない。

5. 評価5項目による評価結果

(1) 妥当性

本プロジェクトは、以下に示すように、ベトナム政府の関連セクターにおける既存政策及び戦略、並びに JICA の援助方針に対して整合性を有し、極めて妥当なものと判断する。

1) ベトナム政府の政策及び戦略との整合性

本プロジェクトは、以下の点からベトナム政府が掲げる戦略及び上位計画の達成に貢献するものと判断する。

- 「Management Strategy for a Protected Area System in Vietnam to 2010」では、自然管理及び生物多様性保全を強化することを戦略の一つとして掲げ、その達成のために以下の活動を含む「実施すべき活動」を定義している。
 - 村落における自然資源保全と生物多様性保全に関する合意書の作成

- バッファー・ゾーンにおける持続的な社会経済活動モデルの開発
- エコツーリズムからの収益の分収に関する合意形成
- 森林の農業転換の抑制

これらの活動は、本プロジェクトの成果の達成や活動の実施を通じて、達成されると予想される。

- b. また同管理戦略では、自然保全分野の人材育成を6つの主要戦略の一つと定義している。本プロジェクトは、同管理戦略が掲げる人材育成に関する目標の内、以下の2つの目標達成に貢献する。
 - 2010年までに、全ての森林官に対して生物多様性保全に関する研修・訓練を実施する。
 - 2010年までに、自然保護地区に対して人的プレッシャーの脅威を与えている全ての村落のリーダーや長老に対して、生物多様性に関わる研修・訓練を実施する。
- c. 本プロジェクトは、「2010年に向けた生物多様性に関わる国家活動計画」において目標とされた「生物資源の持続的利用」と「生物多様性とバイオセイフティーに関する国家管理能力の強化」の達成に貢献する。
- d. 本プロジェクトにおいて計画されている GBET 事業の開発やコーヒー生産の改善、植林活動、手工芸品の開発などの活動は、ラムドン省の社会経済開発5カ年計画(2005-2010)の内容と十分整合性がある。
- e. 本プロジェクトは、少数民族の社会経済状況の改善を目指しており、それは山岳部の少数民族や貧困村落に対して支援を行うという政府の現行の政策に沿ったものである。実際、本プロジェクトの効果を高めるために、現在政府が実施中の支援プログラム(135プログラム)と協調することが望ましい。

2) JICA 戦略との妥当性

本プロジェクトは、ベトナム国に対する JICA の援助方針における自然環境保全分野の包括的プログラムの達成に直接的に貢献するものである。具体的には、地域住民と BNBPNMB による公園の自然資源の協働管理に関わる仕組みを確立することを通じて、「自然環境保全プログラム」に貢献する。従って、JICA の現在の援助戦略における妥当性も極めて高いと言える。

3) その他

また本プロジェクトは以下に示すように、事業実施の必要性が高いと判断される。

- a. 対象候補村落として選定された公園に接する5つの村落は、バッファーゾーン(公園境界外の周辺を緩衝帯としてのバッファーゾーンが囲んでいる)に位置するものの、その住民の多くは公園内に農地を有し、現在も農地として利用している。更に、一部の住民は公園内の森林に侵入し、コーヒー園を拡大させていることから、本プロジェクトを通じて、地域住民が公園の自然資源の協働管理に参加することは極めて重要と判断する。
- b. 本プロジェクトの実施期間中に確立される協働管理メカニズムは、将来的には同公園の他の場所又は他の国立公園にて適用されると予想される。従って本プロジェクトの成果は、ベトナムの保全地区における生態系保全に極めて重要であると判断する。

- c. 同公園は3つの保護区（2つの国立公園及び一つの景観保護区）の中央に位置する。同公園はそれらの特別利用林区に生息する野生動物にとって重要な回廊となっており、公園内の森林保全是、公園内に生息する野生動物だけでなく、周囲の特別利用林区に生息する野生動物にとっても極めて重要である。

（2）有効性

本プロジェクトの5つのアウトプットとプロジェクト目標の因果関係が明確であることから、有効性は高いと見込まれる。

つまり、アウトプット1「プロジェクト実施体制の整備」は、アウトプット2～4のための前提条件として位置付けられ、アウトプット2「公園内の自然資源管理に係る基本的な原則及びルール」は、アウトプット3「住民主導型エコツーリズムの実施」及びアウトプット4「環境保全型生計向上活動の実施」が、自然資源の保全と調和するための基礎となるものである。そしてアウトプット2、3及び4の結果を基に、アウトプット5の「今後の課題と必要な対策」が明らかになると期待される。

これらのアウトプットが達成されることによって、「住民グループとの合意文書の草案」と「協働管理に係る政府文書の草案」が作成され、BNBNPMBの能力向上を図るというデザインになっている。

以上のことから、5つのアウトプット間の関係、並びにプロジェクト目標との因果関係は明確であり、本プロジェクトの有効性は高いと見込まれる。

（3）効率性

計画では、できる限り現地リソースを活用することを想定していることから、本プロジェクトの効率性は高くなるものと見込まれる。

具体的には、以下の活動を現地の機関に委託して実施する。

- ベースライン調査
- PRA 調査
- CBET の試験的運用
- 環境保全型生計向上手段の導入（環境保全型生計向上手段に関わる研修の実施）

更に、本プロジェクトは以下の専門家をベトナムにて調達する計画である。

- 住民参加型エコツーリズム専門家
- 生計向上専門家
- コーヒー専門家

これらの調整によって、本プロジェクトに関わる経費は、国際的又は日本のリソースを活用した場合と比較して大幅に低くなる。

（4）インパクト

- 1) 以下の観点から、プロジェクト目標達成の後、3～5年以内には上位目標は達成可能なものであると考える。

a. 因果関係

上位目標とプロジェクト目標は直接的な関係にあると言える。上位目標は、BNBNPMB が協働管理モデルの適用により自然資源を管理することを目指す表現となっており、明確であるといえる。

また、上位目標の指標は「住民グループとの合意文書の締結」「協働管理に係る政府文書の承認」「住民グループと BNBNPMB による活動の継続」という上位目標の最も主要なコンポーネントにつき測定するものであり、目標の内容を的確に捉えていると考えられる。

2) その他の潜在的インパクト

CBET の試験的实施は、公園の自然環境と対象村落の社会環境に悪影響を及ぼす可能性があるかもしれない。従って CBET の実施前に、潜在的な環境影響について評価・分析すると共に、必要に応じて緩和策を CBET の実施計画に盛り込むことを計画している。なお CBET の実施に際しては、以下の原則を守ることを念頭に置く。

- 住民の組織化と CBET の作業計画の策定は住民参加の下で実施する。
- トレッキング歩道や案内所等の施設整備は、地域住民が運営・維持管理できるよう、最小限又は適正なものとする。
- 国立公園の自然環境に影響を与えないかなる活動（例えば外来種の導入など）も実施しない。

(5) 自立発展性

1) 政策支援

本プロジェクトのプロジェクト目標及び上位目標は、国家戦略に沿ったものであることから、プロジェクトの成果を他の地区や他の公園に適用する際には、政府の政策支援が期待できる。また上位目標の指標に示したように、協働管理メカニズムの対象村落以外への適用に関わる省レベルでの政府文書が承認された場合は、プロジェクト終了後も BNBNPMB は継続的な政策的な支援が得られると考える。

2) 財務的観点

BNBNPMB の財務支援を確保することが、プロジェクト活動の持続性を確保する上での重要な事項となる。もしも BNBNPMB が、持続的な協働管理の成功事例を省政府にプロジェクトを通じて提示することができれば、省政府からのプロジェクト活動継続のための経費捻出も容易になると考える。

3) 技術的観点

当該プロジェクトでは、BNBNPMB 職員がプロジェクト実施に主体的に関わることができるよう、職員に対して様々な研修を実施する予定である。またプロジェクトに参加した職員は、CBET の試験的实施と環境保全型生計向上手段の普及に関わる全ての活動を経験することができる。つまり、対象村落以外への協働管理の適用のための全ての活動を、プロジェクトを通じてカウンターパートは経験することができる。これは、BNBNPMB がプロジェクト終了後も活

動を継続することを可能にするものである。

4) 住民グループの能力向上

住民主導型の活動の持続性を確保するためには、住民グループの能力向上は欠かせない。特に以下の事項に関わる能力を強化する必要がある。

- 組織内の利害調整（コンフリクト管理）
- 組織の財務管理
- 資材管理
- 交渉能力
- モニタリングと評価
- 年間計画策定

それらの多くは、組織やビジネス管理に関わる事項であり、また実際の経験を通して学ぶべき事項である。従って、3~4年間の期間で全ての事項について取り扱うことは難しい。そのため、事業終了後も地域住民が必要な研修を受けることができるよう、BNBNPMBが関係機関と協調し能力強化活動を行うことが望ましい。

6. 貧困・ジェンダー・環境等への配慮

本プロジェクトは、国立公園の自然保全と公園内外に居住する少数民族の生計改善に直接的に貢献する。またプロジェクトでは、参加型手法の下で幅広い住民との協議を通じて、住民主導型エコツーリズムや環境保全型生計向上に関わる活動コンポーネントの立案をすることから、計画立案時に社会的弱者や貧困層並びに女性グループに対しても十分配慮することが可能になると考える。

7. 過去の類似案件からの教訓の活用

本プロジェクトは、国立公園等管理能力向上国内研修（2006年7月-2009年3月）の後継案件として、右プロジェクトで得られた研修計画実施体制整備や、環境教育・エコツーリズム企画立案・管理能力向上に係る教訓や成果を踏まえて実施することとする。

また、JICAでは、2005年から「ベトナム中部高原地域持続的森林管理・住民支援プロジェクト」を実施している。右プロジェクトのコンポーネントは、本プロジェクトで計画する公園内外の住民への生計向上支援に関わるコンポーネントとの類似性が極めて高い。従って、右プロジェクトを通じて得られた教訓や成果などを十分考慮した上で、本プロジェクトの環境保全型生計向上手段の立案を行うこととする。

更に、ラムドン省又はベトナム国内においても、類似性の高い事業が他の国際機関によって実施中であることから、それらの先行事業とも協調し、今後抽出される教訓を本プロジェクトに反映するよう努める。

8. 今後の評価計画

中間レビュー：2011年12月頃

終了時評価：2013年5月頃

事後評価：協力終了3年後を目処に実施予定

¹ プロジェクト実施の全般的な責任を負う。

- ² プロジェクトの管理および技術的な観点に関する責任を有する。
- ³ 省都のダラットは、ホーチミンの北東約 300km に位置し、高原の避暑地としてフランス植民地時代に開発された。
- ⁴ ベトナム全土には 126 カ所の保護区があり、国土の 7.6% を占める。そのうち国立公園は 30 カ所。
- ⁵ 例えば、国際 NGO のコンサベーション・インターナショナル (CI) は、「地球規模で生物多様性が高いにも関わらず、破壊の危機に瀕している地域」として世界 34 カ所の生物多様性ホットスポットを発表し、ベトナムはその一つである Indo-Burma 地域に含まれる。
- ⁶ 住民からの聞き取り調査によれば、この地域における一戸当たりの平均契約面積は約 30 ヘクタール。同公園内の火災及び違法活動に対するパトロールが主な保全活動。尚、住民に支払われる 1 ヘクタール・年あたりの契約金は、VND 100,000 (ベトナム・ドン) (2009 年 4 月現在、JPY1≒VND177)。
- ⁷ TFF については、下記脚注 8 を参照。
- ⁸ 森林セクター支援ドナー協議会 (Forestry Sector Support Program and Partnership: FSSP) は、2001 年 11 月に締結された覚書に基づくドナー間の協議会であり、ベトナム政府のほか、24 余りの援助機関が参加している (JICA は加入していない)。また、FSSP の枠組みの下、2004 年 6 月に森林信託基金 (Trust Fund for Forests: TFF) が設立された。
- ⁹ BNBPNMB 職員の協働管理モデルに関する理解度の把握は、プロジェクト開始、中間レビュー及び、終了時評価時点において、インタビュー及び質問票にて確認することを想定している。
- ¹⁰ ここで言う作業グループの能力向上を確認する方法として、実施する研修内容 (CBET 及び環境保全型生計向上手段) の習得度を把握できるように、研修実施前と研修実施後に簡易テスト及びインタビューを行う。
- ¹¹ ここで合意される基本的な原則及びルールとは、プロジェクト目標の指標として言及した「協働管理に関わる合意文書 (案)」の原型となるもので、なんら法的拘束力を持つものではないが、対象村落住民と BNBPNMB が本プロジェクト実施のために認識を共有すべき基本事項からなる。具体的には、ベースライン調査等の結果明らかとなる対象村落の土地利用や自然資源の現状と課題を背景に、例えば、長期的なヴィジョン及び戦略、参加者の資格及び範囲、参加者の権限と責務、交渉 (話し合い) 及び意思決定のルール、利用制限が想定される土地及び自然資源の範囲、住民の生計向上のために活用が期待できる土地及び自然資源の範囲、などから構成される。
- 一方で、プロジェクト目標の指標として言及した「協働管理に関わる合意文書 (案)」は、本プロジェクトで導入する 2 つのコンポーネント (住民主導型エコツーリズム及び環境保全型生計向上手段) の実践結果を反映し、上記の原則及びルールを必要に応じ修正し、更に詳細化したものとなる。すなわち、導入する 2 つのコンポーネントの内容と成果を基に、地域住民に対して、国立公園内の土地・森林の持続的な利用・管理を省政府として認める文書 (案) になると想定する。
- ¹² XX% の具体的な数値は、ベースライン調査結果を踏まえ、プロジェクト開始後 6 ヶ月の間に決定する。
- ¹³ XX% の具体的な数値は、プロジェクト開始後 2 年目が終了する前まで (CBET の試験的实施 1 年目が終了するまで) に決定する。
- ¹⁴ ここで言う植林プログラムとは、既存の森林保全契約と同様に、BNBPNMB と住民の間の契約に基づき植林活動が住民により実施され、契約金が支払われることを想定している。
- ¹⁵ プロジェクト開始後 12 ヶ月の間に環境保全型生計向上手段が同定され、この時期までに XX% の具体的な数値を決定する。
- ¹⁶ ワークショップの開催等を通じ「関係者間で共有される」ことを促し、評価結果 (教訓、勧告) に対するコメントをワークショップ参加者からアンケート等により取り付けることで、「共有される」程度を把握する。
- ¹⁷ 脚注 16 と同様の手法により、「関係者間で共有される」程度を把握する。

